

姓名學極祕傳書

特259

908



始



特259
928



開運靈理

姓名學極祕傳書



靈理學派
姓名研究會編纂



滿蒙學校長 陸軍中將 堀内信水閣下 題字

名是命

自一九二二年

若原 信水閣下



皇紀二千六百
年
國家奉祝紀念版



編著代表 根本圓通 小照

卷 頭 辭

孔子曰く「必也正名乎名不正則言不順言不順則事不成……」と。之を約言すれば、成功の基は名を正すに在り。我等同人が力を盡して姓名學を講ずるは、全く斯の精神に外ならず。又特に我が靈理學派に於ては、會長が神佛尊崇の篤信に依つて授けられたる、我國開闢以來の新發見なる夫婦名の吉凶あり。兼ねて三代名相關の靈理を説く所、他の追隨を許さざるものあり。

今や 皇軍聖戰四年、外に忠勇將士の寒暑を犯して、殉國の大義を宣するあり。内に銃後の護りを爲す者、正業盡瘁の赤誠なかるべからず。國民精神總動員の彌々益々強調せらるゝ時恰かも紀元二千六百年に會し、朝鮮の人々に創氏・改名法實施せられ、盟邦暹羅は泰國と改稱せらる。斯學上實に有意義也。此の際斯の時、會長が三十八ヶ年の研究と、本會創立以來滿七ヶ年餘に互る會員の研究事項とを併載し、正確なる命名字典を附けて、本書を編纂するは實に皇運扶翼の大慶事と自信するものなり。

校了に當り、第一火災海上保險會社營業部長望月一實氏の幹旋に依りて、堀内中將閣下の題字を戴き、卷頭を飾り得ること洵に欣快とする所なり。一言以て卷頭辭となす。

昭和十五年庚辰三月二十一日
春季 皇 靈 祭 佳 辰

靈理 學派 姓名研究會同人



目次

題字 小照

卷頭辭……………一 自序……………七

運命に就て……………一〇

本書の用字に就て……………一二

命名の尊嚴……………一三

靈理學の創見……………一四

名は運命の支配者……………一六

第一篇 姓名學

第一章 姓名の貴重……………一

命名と建築……………三

先哲の命名觀……………五

基督教と姓名……………九

靈魂は姓名……………一

名稱と音韻……………二

命名は姓名學……………四

姓名學界の現状……………四

(大別すれば四派)……………五

第二章 姓名學五大原則……………一七

第一原則 姓名の意義……………一八

姓名の意義に就て……………二一

第二原則 天地の順逆……………二三

天地を見る時……………二三

天地順數の一例……………二五

天地不順の凶格……………二五

天地不順凶運の實例……………二七

天地の差の大小……………二九

姓名全畫の關係……………二九

天地の一畫多きは……………三〇

小祝副會長……………三〇

第三原則 陰陽の調和……………三一

▲陰陽凶格五ヶ條……………三一

一 無調和……………三一

二 挾擊……………三二

三 別々……………三三

四 偏多……………三四

五 中折……………三五

○陰陽の良格……………三七

○陰陽良格の一例……………三八

第四原則 五行の所屬……………四〇

五行の歌	四一
字性の定め方	四二
病根に就て	四三
五行の特性(其の表)	四四
五行の生剋	四五
異音の文字	四六
國字の字性	四七
字性と性格	四七
火水の相剋	五〇
■鼻音の字性	五一
生半の五行と命名の五行	五一
五行一種凶惡の例	五一
五行二種凶惡の例	五二
五行凶格の大意	五三
五行中折凶惡の實例	五三
五行三一の吉凶區別	五五
内閣總理大臣の五行	五五
◎五行三種名譽の實例	五六
◎五行四種名譽の實例	五六
◎五行全有良格の實例	五六
▲大運神の靈動	五八

第五原則 字畫の運數	五九
姓名學	六〇
易占學	六〇
文字の構成と其の書體	六〇
字畫算定の正邪	六二
我等が『字畫の正見』	六三
之を3畫とするもの	六三
貫を12畫とするもの	六四
貫を15畫とするもの	六四
實を15畫とするもの	六四
字畫正見の大略	六四
政は九畫也	六四
『新字畫』	六五
垂は九畫が正見也	六五
充の字は六畫也	六六
運數の見解	六六
運數の吉凶	六六
1	六七
■三十二畫は最大凶惡數也	七二
國家と個人との相違	七三
姓の畫數に就て	八七
姓に對する名前の吉數	八八

選名の文字に就て	九〇
外國人の名に就て	九〇
犯罪者小管見	九一
第二篇 姓名學大義	九一
第三章 命名注意條項	九五
一	一八
◎音韻の大切なる事	一一
(附記) 三代名相關の事	一一
第四章 凶名の吉化	一五
凶名吉化の實例	一八
第五章 商店家號の吉凶	一九
三十二畫の數々	二〇
商品名に就て	二一
第六章 夫婦名の吉凶	二二
現今はラヂオ	二三
靈理學も同理	二三
我等の信念	二四
男女にも爺婆にも	二五
夫婦の祖先	二六
命名の祖先	二七

夫婦名の六善	一一八
吉凶の發現	一二〇
吉凶對照表	一二〇
國家の大事	一二一
靈威	一二二
吉凶の實際	一二九
(外國人でも)	一二九
小説と實際	一三七
子の名凶格の爲に	一三八
子の名は善良でも	一三八
二度目の夫婦	一三九
改名して凶運の例	一四〇
奏任校長夫人撲殺事件	一四二
妙子さんの母自殺す	一四二
◎相性の夫婦	一四三
統計確實	一四五
第三篇 破邪顯正	一四五
第七章 破邪門	一四六
一 三十二畫を大吉とする事	一四六
四六 姓名學字典に就て	一五九

第八章 顯正門……………一六一

一 名士の改名……………一六一

二 改名後の實際……………一六一

靈理學の靈威……………一六二

我等の經驗……………一六三

三 正學の良書……………一六四

四 姓名學上の大信念……………一六六

數は天意也……………一六六

五 姓名學上の五大發見……………一六八

1 三十二畫大凶の理……………一六八

2 二十七畫は吉數也……………一六九

3 姓名學三大約則……………一七〇

4 五行三一にも吉運あり……………一七一

5 鑑別法五則の起原(禮記禮運篇)……………一七二

六 天來の救濟主……………一七六

病氣 疾病 病症……………一七六

本復 平癒 全快……………一七六

改名全快の實例……………一七八

(附) 改名上の注意……………一八〇

一夫は凶名なるか? (研究問題)……………一八二

姓名學の定義及び五行の記述に就て……………一八三

高井蘭山先生の『名乗字引』……………一八六

夫婦七代の陰陽……………一八七

開運命名字典

一畫……………三十畫(一一〇〇字)……………一

1 同字異義(反對)の例……………二六

2 同字異義(異音)の例……………二六

3 同字異義(異性)の例……………二六

異音同義(異性)の例……………二八

命名の讀み方……………二八

下の一音を省くべきもの……………二八

其の他……………二九

女子の命名に就きて……………二九

五十音圖……………三〇

以上……………三〇

(附錄) 會則、會員並に寄附者芳名錄……………通計二四一

自序

近來姓名學の隆盛に伴れて、この道に従事する者、全国にては萬を以て數ふべく、著書の發行亦頗る多く、我等の見たるものばかりも實に一百七十餘種の多數に達す。さりながら我等より之を見れば、何れにも謬見が多數にあるので、不幸にして其の謬見の箇所に出會うた者は、無意識命名よりも却つて凶運に陥るに至る。孟子が『悉く書を信ぜば書無きに如かず』と言ひたる、實に痛切に感ぜらる。

國家の根源たる一家に取りては、夫婦名の相性が一番に大切なるに、從來の姓名學書には、其の記述の無いために、イハニル姓名學者は、改名には必ず夫婦名頭字を、陽々又は陰々にするので、改名されて後ますます凶運となる者の多數ある事、實に氣の毒である。

其の他、爲にする所ありて、種々の説話をなす者、人格説を最として、名頭字の三五九、金土接續、生命の有無説、韻鏡式命名、八拂六拂法……の如きに出會うて、其の妄説に迷はさるゝが如き、實に々々慨すべきである。

從來の書には兄弟逆名の注意は載せられず、二種大吉説は陰陽の處にいふべきを、五行の處に御門戸違ひしたるものであり、また姓名學の起原たる左傳卷二の記事に『大物ハ以テ名トナスベカラズ』とあるを知らぬものから、大日本神國や、妙法蓮華經の陰陽は○○○○であるとして○○○○及び○○○○の配置の姓名を大吉也とする者あり、又特に日本の九畫も人名としては大凶となり、大日本の十二畫も人名とすれば大凶となるが如くに、大日本帝國の三十二畫も、普通人の名前又は姓名とすれば、大凶となるを知らぬは蒙昧の甚だしきものである。三十二畫は大日本帝國といふ無上大物には大吉にして、個人には大凶なる事、夫婦相和といふ三十二畫は國家國民

全體に關して大吉であり、武運長久の三十二畫は皇國軍人の全體に關して大吉となり、又特に、共存共榮といふ三十二畫は、人類全體否宇宙全體に關して大吉となる事、「大物ハ以テ名トナスベカラズ」を換言すれば「神佛ノ御名前ヤ高貴ノ御名前ヤハ其ノ吉凶ヲ論ズル勿レ」となるので、我等は昭和八年の夏「實用姓名學」六頁及び一二頁に於て業に已に述べておきたる次第である。また昭和十四年の夏、徳田理事が發表したる縣知事、師團長、旅團長各三十二畫、大教育家三十二畫、大宗教育家三十二畫である事も即ち名詮自性にして、一國隆昌（三十二畫）の爲に大々的に款待すべきであり、尙ほ良名吉運（三十二畫）の四文字は靈理學を道破したりとも謂ふべきである。

本書は「衆知ヲ集メテ日本一確實ノ大成ヲ期スル」を標榜する我等同人が、實に國家國民を思ふ赤誠よりして、是迄の姓名學書に無かつた色々事項を、筆者が明治三十六年二月以降三十八年間にわたる研究と、我等同人が滿七ヶ年餘に互る研究事項との大要を洩さず掲載したるものであるから、斯學研究者が見られたならば、得る所頗る大なるものがあらうと信するものである。

しかるに或る人我等の靈理學を評して、餘りに複雑に過ぎると言うたる由。そこで我等は言ふのである。藥種商店でも抽斗の多いほど藥品が澤山あつて、如何なる病ひでも治す事が出来ると同理である。複雑を厭ふは姓名學者の資格無きものであると。

我が靈理學派の會員は、悉く國民幸福を念とするものゆゑ、會長大發見の夫婦名の五善は何れにも記してある。即ち本會發行の「實用姓名學」「男女の相性」小説小林共著の「正しき姓名學・開運の鍵」徳田理事著述の「趣味の姓名學」(最も正しい・名前の付け方)や其の他の著書等々皆さうである。

就中、本書發行同人平素の説話宣傳が、近來高位高官の間に、斯學の眞價を認められ來りたるを賀すべく、又特に、富國強兵名付會の名稱を用ひて、多數人士に信頼さるる林雅道や、正名閣東京支部長今井浩一郎が、説話の確實と懇

切によつて、半ヶ年にして數百の會員を得られたる事や、新年毎に、夫婦名の吉凶(會長發見の由記載)を印刷宣傳する田原照實や、旅行には必ず印刷物を携へて弘通に努むる板間南龍や、秩父新聞社姓名學顧問としての佐藤紳親が同紙上に姓名學の發表や、小説副會長が、淺草公園消防署前に於て、二十餘年間、直接公衆に對して、斯學の講話を續行し居る、其の功勞は没すべからず。

而かも我等は、如上の事項を以て決して満足するものにあらず、會員並に讀者各雅の信仰努力によつて、彌々益々我が靈理學の國民間に普及するを熱望するものにして、一言にして之を盡せば、本書の記述以外には、本會徽章



佩用者の宣傳説話を御信用下されたく

國民を融ひする譯見の姓名學は、國家發展上、あくまで排斥せねばならぬと絶叫する。

昭和十五年二月吉辰

靈理學派 姓名研究會同人

本書發行直前、米子市車尾野々村學堂が早稻田商學士にして、日本大學法學士なるを知りたる事並に神戸商業大學 堀託浦久米雄、元佐世保市警察署長警視從七位にして現佐世保市厚生課長三宅康道兩氏の入會は特に有意義に感ず。

運命に就て

根本圓通

10

「運命」の語を字典で見ると、人の身の上をめぐる吉凶禍福。まはりあはせ、運氣、運勢。とあり。簡野道明先生の「字源」にはその説明の次に、魏の李康の運命論に曰く「治亂は運也、窮達は命也、貴賤は時也」と書き足されてある。

今其の最後の一字を取りて、併せて之を見るならば、運命は時也といふ事になり、「勝負は時の運」の諺も首肯される。而かも時の運の文字から考へると、日々にお寺を信仰しての地上の軍（イクサ）といふ事にもなる。

（昭和14.17）新年會席上、向理事の靈斷（あぶり出し）に於て余は國民の爲めにと祈つた處が「勝負は時の運」と出た。會後、別席の或る人其のあぶり出しを見て、

勝負は時の運か？ 實力であらうな！！

と疑問を挟んだ。超えて十五日に國技館大鐵傘下に於て、六十九連勝の双葉山が安藝の海に破られて七十連勝を得る事は出来なかつた。常識的に解すれば安藝の海の手が双葉山に勝るとは思はれないというて、先きに疑問を挟んだ其の人が、實際に「勝負は時の運ですネ」とその靈斷に服したのである。というて

實力の養成を怠つてはイケナイ

一體、運といふ字は軍とシクネウで作られる。軍はイクサ、シクネウは道路（地上）の意味で、人の通るべき行くべき道であるので、遠近 進退 運送 通達 遣送 逢送 逐逼……に至るまで皆シクネウに従ふ。

そこで運の字は道路上（地上）のイクサの意味であるから、時によりて運は定まる。

時の字は日偏に寺である。言ふまでもなく本字（漢字）は支那で作られたもので、文字作成の頃、時（時刻）は毎日

毎日寺で報告したので、時間の時の字は日偏に寺をかゝれるのである。時節時世時代の時の字に日本のお寺の意味があるというても無理ではなく、更に換言すれば時の運とは日々にお寺を信心する人々の地上のイクサといふ事である。

寺のつく文字

侍（最初は寺に奉仕する人をいうたが後には主君に奉ずる武士の事になつた。それにしても侍は信仰奉仕の精神に充ち満ちた人である。）

待（優待、款待、待遇、招待等の待の字は人を取り持つことである。待つとよむときは時間を費しても款待の精神で忍ぶべきである。）

峙（そばたつとよむ、山の高さ姿） 持（手偏に寺、良意義の文字也）

特（牛偏に寺、特別は心地良し） 等（ひとしとは同等の意味、等級と）

時（まつりのはとよむ、天神） 痔（とくに重い病ひである。早く）

詩（詩を作ることを寺で修養をつんだ人でなくては不能也。昔は教育は寺でやつたので、特にこの字が出来た。）

持（持はたのむとよんで當てになる事であり、恃持とは父母の事である。それにつけても心を立てるといふ立心偏に古寺と書いた文字が父母の事であるは、佐竹寺十一面觀世音（一名子安觀音）に發祥したる夫婦名の陰陽を根基とする靈理學は我れながら實にたふとさを感じる次第也。

他は略すが「勝負は時の運」とは前記を綜合して（時の字と運の字から見ても）信仰の篤き者が勝つ事であると我等は向理事の靈斷を實にたふと感ずるものであつて、換言すれば信仰の強き者が運命に勝ち、信仰の弱き人が運命に負けるといふ事に歸する。向理事が五十八枚中に二枚のくられたものを、淨行寺住職なる板間理事と余とが引き當てたるは、實に御佛の御精神と向氏の精神と我等の精神と合致して、日々お寺を信仰して地上のあらゆる軍に勝つこと

の信念を益々以て高むるに至り、正義の人士の御賛同を希ふ次第也。謹言。

本書の用字に就て

我が國 我國、基き 基づき、従うて 従ふて、向うて 向ふて、明か 明らか、尊し 尊とし、就いて 就て、異る 異なる、差支 差支へ、用ひ 用ひ、爲に 爲めに、表札 標札、記念 記念、排列 配列、礙 碍、障礙 障礙、熊崎式 熊式、豊 豊、獻 献、體 體、強 強、即 即、決 決、歳 才、恆 恒……等々の諸文字必ずしも一定せず。あらかじめ御用合を願つておく。但し神祕、秘密、秘傳、などのヒとよむ字は示偏が正で、禾偏の秘は俗字ゆゑ使はぬつもりなれども、見落してあるかも知らぬ。御容忍下さい。

調査人員数が前頁の記事よりも後頁の記事の少い事もあるが、それは其の事項の執筆年月による。怪しまぬように願ひたし。また本會役員名に改めたる所あり、唯姓名にしたる所あり。今の審議員が理事であつた時の原稿其のまゝなるもあり。必ずしも一定せず。また他の人々の敬稱を省略して唯氏名のみを掲げ、年齢に括弧をつけたると、つねとあり。併せて御海容を希ふ。

記事中、括弧内の数字は昭和年月日にして、例せば(14 10 1)は昭和十四年十月一日、

日 東京日日新聞 朝 東京朝日新聞 よ 讀賣新聞 茨よ 茨城讀賣 ホ 報知新聞
いは いはらき 各 諸 新聞 直 直 話 來 來 狀

他は類推せられたく、特に國名に就いて、大日本皇國でなくてはイケナイと論ずる者あり、また大日本神國と書くべしと唱ふる者もあり。(11 5 31)各新聞の夕刊には、大日本帝國と定められた事が報道されてあつた。それで編者は其の何れをも非なりとはせず。皇國、帝國、神國共に宜しく思ふものである。

尙ほ本書の記事中に、誤字誤植等發見の御仁は、何卒御通知下され度、御願ひ申上げます。

命名の尊嚴

審議員 正名大學士 板間 南 龍

先聖説く所あり、曰く萬物は流轉すと。是れ明らかに歴史の證する所なり。然れども若し夫れ一切は流轉して止まずとすれば、我等は遂に一物一理の據るべきものを知らないのである。果して一切は流轉して人生は空無に歸するであらうか？ 否然らず、流轉の中に自ら不變の準則を存し、無常の中に永劫の眞理を藏するのが人生である。然らば人生に取つて最も重大なる安心の準則、學び得ねばならぬ學問は何にか。

人生は姓名ほど大切なるものはない。従つて姓名學ほど尊いものはない。然るに世人の多くは姓名學は易者の仕事、大道易者の類と心得て居るらしいが、其の實際は正しき姓名學を知りたい心で一杯であるのである。

眞理は神に在り、之を眞實にするは人に在り。中道の妙法明理、一切萬物の心性は中道に在りて、この妙用を觀世音大勢至或は文殊普賢と名づくことあり。釋迦は之を超越して如是々々と仰せらる。老子言へるあり、大道名無し、強ひて名づけて道と云ふ。中道は自然なれども、何事も只々運命と諦められぬ處に如是々々の妙法があるのである。

誠は天の道なり、之を誠にするは人の道なりと中庸にあり。而かも天道に従ひ、正道を盡さんとしても、我觀の靈理に叶はざる姓名の所有者は、胸裡に抱く正義正道を、國家的、社會的、人道的に實現する事能はずして、或は中途に斃れ、或は種々の凶運に終始するに至る。

之に反して、健康長壽、成功名譽、子孫繁榮の慶賀は、何れも善良姓名者にして、又夫婦名の相性に基因す。夫婦名の吉凶は實に我が根本會長の發見にして、姓名學上の一大偉勳と稱すべきである。而かも佛教の『非二因俱生一聲』の訓言を尊重して、我等の命名には特に音韻に留意すべく『照鑑神明にあり』の信仰に生きて、各自職責を盡し、皇運扶翼の御爲に粉骨碎身すべきである。(昭和14 5 12草)

靈 理 學 の 創 見

理事 正名學士 岡 部 有 耕

唯物教育を受けつゝある諸々の人々の中に、姿勢を正して「何故に改名に依つて運命が吉に轉ずるや」と問ふ者あり。五感を唯一の生命と観る科學界に於て問ふものなり。目に見えざる神祕は彼等の世界には無し。これを科學的に立證するの、正しき理論と實際とが即座にほしかつた。

私はこの間に「大いなる解答」を信じて六月以後その理論に頭を向けた。しかし科學的に、數量的に、説明して欲しい彼等には、理解し得るだけの材料と、その眞理の創造は少なくとも、私にとつて今後十年の研究が必要になつた。その意味に於て、此の眞夏に大いに努力して數十日は過ぎた。或は思ひ付きのまゝ古本屋の主人公と會話をなし、讀書して、その日その日は樂しかつた。

『生命學と佛教』も『人間』もよかつた。ジーンズ作『神祕な宇宙』もまた彼等のものする『科學は何處へ』の著書も。

そして最後に志したのは天文學であり、その第一歩として、支那古代の陰陽五行説の研究に就いた。何故ならば私達が支那古代思想を検討するとき、其の全部を蓋ふところの哲學は、陰陽五行説であることを發見したからである。

而してこの哲學説は、希臘の古代の哲學と同じ様に、物理學と分れてゐないし、またそれは宇宙生成の理論でもあり、人間道德の原理を説くにも、神を説くにも、之を用ひたと聞いては、尙更の興味を覺えたわけである。ヤハリ運命學の基礎は天文學であらう。

愈々茲に大哲數理學者ピタゴラスの數理を思ひ、萬物の有する靈と數との發現と陰陽五行説の感應の哲理に續い

て、人間の運命を支配するてふ偉力の正體認識論が完成されさうに思つた。

この時我が會長の御唱道になる「正しき姓名學」の發生價値があり、而かも高遠なる理念の究極するところ、「人知に與へられたる靈理學」は彌が上にも崇められねばならぬと思つた。即ち姓名學の「文字創成の眞理」に準じて、一定の數位に還元すること、其の「數位即ち姓名」を通じて、宇宙の數靈が氣息を通じて、其の暗示誘導力により、吉凶禍福を表はすこと、また所謂五行音の相生相剋が、姓名學上必要な所以も明かであり、斯くて「人間と姓名學との關係」に深き神祕性の存在することを思ひつゝ、今一段の努力と其の記録に餘念の無い私であることを信じて下さい。(昭和14 8 11章)

名は運命の支配者!!

理事 名相大學士 福島 瑞峰

大宇宙森羅萬象悉く名あり。無象心象と雖も皆名あり。

一々の文々皆悉く名ならざるはなく、運命も亦名である。

而して宿命も運命であり、失意も運命であり、成功も運命である。失敗も運命であり、病氣も運命であり、死も亦同じく運命である。

大宇宙自然力の大靈理たる大機關車は、無始より無終に、凄まじき勢ひを以て運行してゐる。

人は時には此の大機關車のために弾ね飛ばされるのである。此の機關車に良く乗り得たるものが、即ち吉祥慶福、萬事成功發達を示し、智謀明敏にして頭領の徳を有し、自然の幸福を享け、名望利益共に完く、大事業を遂行し、有望榮進、名譽成功、人生至大幸運の道に發展し、彈ね飛ばされたものが、即ち逆運短命、慘憺悲痛絶えず、病弱にして物事不如意、不具、遭難、貧苦、災害、孤獨、刑罰等の人生落伍不運の道に陥るなり。

運命！とは畢竟この運行の廻り合せである。されば悲しんでも、悶えても詮がないのである。唯だ此の大自然力たる靈理を出来るだけ支配し、出来るだけ利用してゆくのが、人間の力であり技術である。

假りに大自然が山岳を以て人間を閉ぢ込めても、海洋を以て人類を引き放しても、科學はトンネルを開き汽車を通じて、其の抑壓を受けず、或は汽船を走らして却つて交通を容易ならしむ。現代科學の進歩は、斯の如く大自然を支配し、自然を利用してゐるのである。

然しながら、古今幾千載に涉り、尙ほ且つ人類は到底運命に制せられ、之れに服従せねばならぬと言ふ事實は依然

として存するのである。我等は力強く再言す、大宇宙自然力たる靈理の大機關車に乗り得たるものが即ち絶望から希望へ！ 悲觀から樂天へ！ 煩悶から歡喜へ！ 病弱から健康へ！ 家庭の不和から圓滿へ！ 短命から長壽へ！ 希望の新天地へ！ 理想の實現へ！ 衰運萎微から伸運發展へ！ 子供の繁榮へ！ 明朗の人生幸運へ躍進するのである。彈ね飛ばされたものが即ち刻々と光り無き奈落のドン底へ！ 不運の人生へと轉落して往くのである。

運命！とは人類の吉凶禍福を左右すべき偉大なる力である。其の運命を自分に幸福であらせらるには、決して運命そのものの支配に任せる譯にはゆかぬ。要は即ち幸福なる運命を得べく、靈理の大機關車に乗り得べく、平素日常の萬般の行爲に、眞面目で、親切であらねばならぬことが必要である。總てに人事を盡すことが肝腎である。

蓋し用意周到、これなら屹度やれると思つてゐても病氣になり、短命に終る時は折角の事業も水泡に歸し、中途にして廢絶させてしまふ。死生命あり、富貴天に在りである。此の天とは即ち神の意であり、神とは即ち大宇宙の絶對力を名づけたのである。宇宙の大靈と云ひ、宇宙の大生命と云ひ、神の攝理と云ふも、久遠の本佛と云ふも、皆悉く天道理法、靈理名相の哲理即ち是なり。

幸福と言ふことは即ち死生命、富貴天、神意は皆天道理法、靈理の大機關車にあるのである。

これを得ると得ざるとは、天道理法、即ち靈理の大機關車に乗り得たるものと、乗り得ざるものと即ち運命である。天に順ふ者は榮え、天に逆ふ者は滅ぶとは、聖人孔子の教へである。宗教の信仰歸趨も亦運命の眞意義を知つて之れを楽しみ、是れに感謝する時に存するのである。運命の眞意義を知らぬものは、要するに迷へる人である。醉生夢死の人である。

ところで運命に服従することは、大宇宙大自然力を！ 宇宙の絶對力を出来るだけ支配し、利用することである。

开は天道理法、開運靈理名相の哲理を信奉し利用し順從し、順應せる完全なる命名、選名を行ふにあり。かくしてこそ到底宿命に服従せねばならぬ運命を持つてゐる人間も眞に幸福になり得られるのである。靈理即ち靈は神なり。理とは法なり、法とは宇宙の法即ち眞理である。靈理は即ち無限の大生命である。無限の大生命に一如する時に、無限の大生命に歸一する事に依つて、總ての人類は眞の幸福を得られるのである。心からの安心立命をなし得られるのである。

人生が有史以來幾千年間、人類は宿命より一步も脱却することの出来ないものであるといふ、呪縛的的人生觀に立脚する、何等の活力、活動力なき消極的なる宿命觀より離脱して、既成宗教の説く處の、過去現在未來三世を貫く因縁因果とか、劫禍とか云つた様な一切の作惡の原因を清算し、無明の世界より光明の世界へ、自由の人生觀へ、積極的後天的運命觀へ、明朗の新天地へ開導してこそ、運命學の一大權威も意義も存するのである。

吾等が提唱する天道理法、開運靈理名相の哲理こそ運命學の王座を確保するものであると深く信する處である。

人事を盡して 天命を樂しむべし

瑞 峰

開運靈理 姓名學極秘傳書

靈理學派 姓名研究會同人編著

第一篇 姓名學

本書は『衆知ヲ集メテ日本一確實ノ大成ヲ期スル』をモットーとする、我等同人の編著である。國家發展の爲に、精讀實行の舉に出でられんことを希ふ。

第一章 姓名の貴重

宇宙間の萬物は、一として名稱無きものはない。形體有るものは勿論、たとへ形體無きものでも總て名稱無きものはない。名稱無ければ用を辨することが出来ぬからである。

そこで昔から「人は萬物の靈長也」といはれて居るに依つて、我等は萬物の靈長たるに相應する名稱即ち姓名を有

たねばならぬ。

實は姓名といはずに氏名といふべきであるが、世間では普通に姓名といふ人が多いため、我等もやはり姓名というて居る。

嚴密にいへば、姓と氏とは異なるもので、大昔は中臣連、猿女君、忌部首、賀茂縣主……の如く、やゝ後れては大伴宿禰、清原真人、源朝臣……の如く、中臣、猿女、忌部、賀茂、大伴、清原、源等は氏で、連、君、首、縣主、宿禰、真人、朝臣……は姓である。(生田目經徳先生のお話)

後世には氏族の比較的大いなる源平藤橘を四姓というたが、姓は四つには限らず、他にも多數にあるのである。最も通俗的に見るならば、

源姓には、新田氏、足利氏、北畠氏、今川氏、武田氏、松平氏、徳川氏、池田氏、淺野氏等があり、

平姓から、北條氏、伊勢氏、梶原氏、千葉氏、三浦氏、長尾氏、畠山氏、織田氏等が出て、

藤原姓から、近衛氏、鷹司氏、一條氏、二條氏、九條氏、菊池氏、安達氏、三條氏、四條氏、日野氏、西園寺氏等

が分れ、

橘姓には、楠木氏、和田氏、大石氏等があり、

菅原姓には、前田氏、高辻氏、清岡氏、久松氏等があり、

毛利氏は大江姓から出で、蘇我氏、葛城氏は紀姓から出たが、今いふ大江、紀などは、小野、服部、錦織等と共に姓であると同時に氏でもあるといふのである。

齋藤、伊藤、遠藤、近藤、佐藤、加藤……の如く、下に藤の字のつく諸氏、藤岡、藤田、藤井、藤沼、藤澤……の

如く、上に藤の字のつく諸氏や、紋所に藤を用ふる諸家は藤原姓から出たが如き、姓氏と紋章までに及ぶときは、姓名の範圍は實に々々廣汎に互り、それは小冊子の盡せぬところであるが、我等が世人と交渉するには、全く姓名に依るものにして、姓名を取り除いたならば、誰が誰やらサツパリ判らず、世人と交渉することは全く不可能となつて了ふ。されば姓名の貴重なる今更に言ふまでもない事である。

命名と建築

我等の信條は「命名は猶ほ建築の如し」(今までに無かつたものを作るが故である)建築腕裏の家屋は變に遭つて倒潰の患ひあり、命名不合理者は難を受けて凶運に終る。故に「建築は堅固を要し、命名は合理を欲す」といふのである。語を換へて平易に言ふならば、善良姓名者は目的地に向ふに、平坦なる良い道を往くが如く、凶悪姓名者は泥濘の悪路を通るが如く、泥濘の悪路を通る人が、必ずしも全部下駄や足袋や汚すには限らぬけれども、下駄や足袋や汚した人は泥濘の悪路を通つて來たと知れるが如くに、凶悪姓名者が必ずしも全部凶運になるとは限らぬけれども凶運者は必ず凶格姓名であるので、すでに短命に終つた者などは何とも致し様はなく、只我等の鑑戒に供する外はないが、現に不如意に苦しみ、病魔に悩まされ、煩悶絶えず、不運を嘆いて居る者の如きは、其の泥濘の悪路を轉じて平坦なる良い道を歩むべきが如くに、戸籍名の凶格者は良格の通稱、雅號を用ふるが良い。

人の運命は戸籍名には因らず、平素に使用する姓名に依るものであつて、通稱雅號の使用は法律上毫も差支無きのみならず、萬事に對して有效だからである。

通稱使用を偽名と思はれはせぬかと心配する人があるが、通稱とは世間多數の人々に知らるゝ名前。偽名とは一夜

泊りの宿帳などに付けるもので、全然異なるものである。但し郵便物が不着になつては一番に困るから、其の使用する姓名は必ず郵便局には届けておき、表札を掲げておくべきである。用紙や書式は一定して居るものでないから、改名使用の意味さへ判れば宜しいのである。

表札に舊名を記すものもあるが、それでは元の凶名を忘れずに、いつまでも思うて居る事になるから、表札には現名のみを記すがよろしく、舊名を記す事を、自分は常に冗談的にいふのである。それは丁度元は窃盜強盜、今は正直勤勉といふに等しいと。それで名刺を作つて之を使用し、公文書以外の信書の往復、物品の贈答等には必ず改名の良格のみを使用し、其の良名を世間多數の人々に知らるゝ様にするが肝要である。又氏神様と菩提所には必ず奉告すべきである。其の方法は神官(神職)及び住職に申出で、然るべく取扱つて戴くが良し。

昔から「名體不離」「名詮自性」「名は實の賓」「人は一代名は末代」「虎は死して皮をのこし人は死して名をのこす」「敵に後ろを見するは武士の名折なるぞ」などの語は何れも姓名尊重の大義を言ひ表はしたものであるが、これとて法律上の戸籍名を指したるものではなく、其の人の使用して世人に知らるゝ其の名をいふので、秀吉、家康、博文、有朋、重信、希典、平八郎、家達……等何れも改名したものであり、文士、俳優、力士……の如き世人に知らるゝは十中八九は戸籍名でない。

講談師松平學圓は本名神田虎太郎であるが、松平學圓の名刺を作りて之を用ひ、また表札にも掲げておくので、何等差支なく、東京淺草區會議員泉忠と申す方は戸籍名は泉留吉であるが、泉忠の通稱ですべてを何等差支無く運んで居る。農工商漁の人々でも通稱を用ひて差支無き事を此處に明言す。帝國臣民は帝國憲法の條章に依つて、信仰の自由を有するからである。

先哲の命名觀

本會理事小貫紹道は大聖日蓮の大篤信家で、古今萬卷の書を通讀せられ、其の中より特に命名に關するもの幾百事項を書き留めておかれたを、小祝副會長が借覽せられ、更に編者が借覽して、其の中の五六を抜書して讀者各雅に御目に懸けらるゝは實に斯學の欣快である。

小貫理事は十七歳の時「名は運命の鍵、書は心象の鏡」と唱道せられ、座右銘的に之を書齋に掲げられたさうだが、命名尊重の識見、斯學の爲にまことに有り難き次第である。

○人生有限名無盡

○名號は是れ萬徳の歸する所

○孔子曰名不正則言不順。蓋一物糺繆。民有不得其所者焉。可不慎乎。

(編者曰く) 有の字を生にして見ると、この文はよく判る。また言は事と同様に見るべきである。

孔子曰く「名正しからざれば言順ならず」と。蓋し一物糺繆すれば、民其の所を得ざる者を生ず。愼まざるべけん乎。

孔子の仰有るには、名が正しくないと物事は順序よく出来ない。蓋し(大凡)一物に糺繆があると、幾萬の民の中には、其の所を得ずというて、思ふ様にならず、事志と違ふ者が出来る。それ故にすべての物事に名前をつけるといふ事は愼まなければならぬ。(愼重に考慮して命名せねばならぬ)特に兄弟姉妹の逆名などは其の家庭運を破るを深く々々心得おくべきである。

東郷平八郎

撰集 第三章

辨名卷一 物徂徠

(昭和10.8.12)永田鐵山中將を殺害して(11.7.3)死刑を執行せられた、元歩兵中佐相澤三郎は實弟に小次郎といふがある。(東朝や東日の記事)我が靈理學よりいへば、小次郎は二男で三郎は三男の意味であるを、兄が三郎で弟が小次郎は正しく兄弟の逆名にして、中佐が殺人罪、死刑の汚名を蒙るに至つたは實に々々遺憾千萬である。

又曰く、中佐夫人名をよねといふ。平假名の女性は、運命を見るときには片假名にするので、相澤ヨネ 25.7.32は三十二畫で、日本一の大凶悪名であつた。呪はしいかな、三十二畫!!

○名與レ物 不レ舛 而 後 聖 人 之 道 可 得 而 言 焉 已。 同 上

(編者曰く) 不レ舛はたがはずと讀んでも、みだれすと讀んでもよろしい。名と物とたがはず而して後、聖人之道得て焉を言ふべき已。

名前と物とが舛ふたならば(舛れたならば)聖人の道も行はれなくなつて了ふ。

我等は直言す。嘗て床次竹二郎氏が政友會から脱出して、政友本黨と名のつた事、如何です? いはゞ親の膝下から逃げ出した息子が『何々本店』と名のるが如く、床次氏が政友黨人中稀れに見る偉大なる識見を有しながら……後には民政黨に走り、政友本黨は自然消滅となり、新聞紙上にはお竹さんなど、ヒヤカサレ、遂に首相の印綬を拜する事の出来なかつたは、全く政友本黨といふ實物と舛うた命名の靈訓であつた。

○名を諱みて姓を諱まず、姓は同じくする所、名は獨りする所なり。孟子卷四 盡心章句下

○明かなる事日月に過ぎんや、淨き事蓮華に勝るべきや、法華經は日月と蓮華となり、故に妙法蓮華經と名づく、日蓮また日月と蓮華との如くなり。

四條金吾女房御書 六七二

(編者曰く) この一條はすべての命名の識見として見るべく、姓名の意義として見るべく、日本男子は誰しも斯の

意氣なかるべからずである。

○設ひせんたりとも義分あたれりといふとも先づ名をいむべし 十章鈔 六七七

善であつても義であつても、命名が凶悪ではいけないといふ意味である。

○名を惜む故に恥を思ふ故につひに慚したることなし 寂日房御書 一、八七四

恥を知らぬ人間ほど厄介なものはない。恥を知らぬから、詐欺も、ゴマカシも横領もするのである。自己の良心を欺きて事をする恥知らずの奴輩は此の文に愧死せよ。

○命をば法華經に奉り名をば十方の淨土にながすべし 一谷入道御書(縮遺一、一七六)

生命をば國家に奉り、姓名をば後人に尊ばるゝ様にすべし。

○實に依り義に従ひて名を立つ 大涅槃經純陀品

○名 即 是 身 密嚴經賴耶即密嚴品偈

○たゞ名字あるが故に謂て菩提と爲したゞ名字あるが故に謂て菩薩と爲したゞ名字あるが故に謂て空となす名字は是れ因縁和合の作せる法云々 大般若經

(編者惟ひらく) たゞ名字あるが故に其の人の功績が世に傳はるのである。名字なくんば死滅したる肉體如何にして蹟を留めんや。貴いかな姓名。残すべきかな芳名。

○名の内に其佛の種々の徳を具へたり 報恩鈔 一、五〇〇

手力雄命は手に力ありて雄々しき神様、不動明王は大火にあうても動ぜずして明らかなる王様、辨財天は財を辨する天女、子安觀音、子育稻荷……何れも其の名の内に其の御徳を有する、有り難き次第である。

○日本と申す名の内に六十六ヶ國あり出羽も奥州も金も珍寶も人畜乃至寺塔も神社もみな日本と申す名の内に攝まれり。

(編者曰く) 攝の字はをさむとよむ、攝納修治收理攻亂斂藏……皆をさむ也。おさむと書くは正格でないが、通俗文章には許すべきであらう。

伊藤博文といふ名の内に、赤誠を捧げて拔群の勢力を傾注し、國家の文化を博め、首相となり、樞相となり、恩賜の邸宅に起臥して、韓國統監となりたる、名譽の從一位大勳位公爵がふくまれ、

乃木希典といふ名の内には、陸軍大將に陞進し、死を欲して生を求めず、敵が難攻不落と誇れる旅順の堅城を陥れ凱旋後は學習院長に親任せられたる純忠無比、功一級伯爵の榮典を授けられ、夫婦揃うて 明治大帝に殉死し奉り、夫婦揃うて、乃木神社の祭神と崇めらるる萬世不朽の大名譽がふくまれ、

東郷平八郎といふ名の内には、泰然自若として動かざる事山の如く、而かも見機如神の明あり、皇國の興廢此の一戰に在り各員一層奮勵努力せよとの信號を掲げ、バルチック艦隊を撃滅して、皇軍忠誠の威武を四海に發揚し、元帥海軍大將從一位大勳位功一級伯爵の顯官を以て、宮中席次第一位の光榮がふくまれて居るのである。

人は誰しも總理大臣となり、元帥となり、陸軍大將となれるものではないが、國民としては決して人後に落ちざる至誠勤勉の人物となるべきこと、赤穂義士の一人矢頭右衛門七が、千五百石取る御貴殿でも、五人扶持戴く拙者でも忠義の心にかはりは御座らぬと人格の閃影を吐露した精神にならうて、身分相應に職務忠實勤勉の人材となるべきである。

○名譽を得るの秘訣は正道を行ふに在り

○不朽の名譽は獨り徳に存す

小貫理事の命名に關する筆寫は、優に一冊の書籍となるべき大量のものであるを、他は割愛して、小貫理事並に讀者各雅の御諒恕を仰ぐ。

たゞ恐る、より以上に重要なものを載せず仕舞ひはせぬかと。この點小貫理事の寛大なる宥免を希ふ次第である。謹白。

基督教と尊名

キリスト教の中には、命名の事は述べられてないと評する者がある。我等は小貫理事の筆記中より左の數項を寫し取りて解答となし得るを喜ぶものである。

その筆記は數十項の多數なるを、こゝにはホンの數項に止める。

○偕てエリザベツ産期みちて男子を生めり、其隣里の者また親戚の者、主がエリザベツに大なる慈悲を垂れ給へし事を聞て偕に喜べり。第八日に及びければ彼等子に割禮(お祝ひ)せんとて來り、其父の名に因りザカリヤと名づけんとせしに、其母答へて然すべからずヨハネと名づくべしと曰ければ、彼等エリザベツに對へて曰けるは爾が親戚の中に此名を名づけし者なし。彼等遂に其父に頭にて示しいかに名づけんと欲ふかと問ひたるに、ザカリヤ寫字板をもとめて其名をヨハネと書し、かば皆奇めり。ザカリヤの口たゞちに啓けて舌とけ言ひて神を頌めたり。

路加傳第一章 五七—六四

○七十人喜び返りて曰けるは主よ惡鬼さへも爾の名に因りて我儕に服せり。

同 第十章 一七

○然れども悪鬼の爾等に服しし事を喜びとする勿れ爾等が名の天に録されしを喜とすべし。

同 二〇

(編者曰く) 人は誰でも我が良名の天に録さるゝを願ふべきである。

○彼を信する者は審判れず、信ぜざる者は既に審判れたり。そは神の生み給へる獨子(キリスト)の名を信ぜざるに因る。

翰約傳 三章 一八

○爾等すべて我名によりて求ふところの事は我すべて之を行はん。父の榮の子によりて顯はさんが爲なり。

同上 十四章 一三

○もし爾等何事にても我名によりて求はゞ我之を行さん。

同上 一四

○ペテロ彼等に曰けるは爾等おのゝ悔改めて罪の赦しを得んが爲にイエスキリストの名によりてバプテスマを受けよ、然らば爾等も聖靈の賜を受くべし。

使徒行傳 二章 三八

○主イエスの名に由りて憚らず。

同上 九章 二八

○遂に主の名に由りてバプテスマを受くべき事を命ず。

同上 四八

○勝を得る者は白衣を着せられん我その名を生命の書より塗抹さず又我父と其使等の前に彼が名を言ひ陳べん。

約翰獻平錄 三章 五

○我爾の行爲をしる、視よ我れ門を爾の前に開けり、之を閉づる事を得る者なし、そはなんぢ力ありて我が言を守り我が名を棄てざればなり。

同上 八

右は小貫理事の筆記五十餘項中から十項ほどを摘記したに止まるが、キリスト教には命名の重んずべき事はないと

いふ愚論の警醒には充分であらう。

靈魂は姓名

靈魂の滅不滅論ほどやかましきはあらず。科學者は滅すといひ、神學者は不滅也といふ。聖人孔子は「生を知らず死を知らん」と仰せられた。剃髮式に「有漏路より無漏路にかへる一休み雨ふらばふれ風ふかば吹け」と即吟唱被して、後に一休禪師と尊ばるゝ様になつた僧宗純は、生來の睿智に加ふるに、十年の難行苦行に大人格を作り上げ、物事に拘泥せず、貧富に頓着せず、苦樂を超越せる、悟道の大聖賢となり、靈魂の滅不滅の如きも、何等意に介せぬであつたらしいが、我等の運命觀からは、靈魂不滅を確信するものである。

靈と運とはたとへば空氣に等しく、我等の目にこそは見えぬが、夜となく晝となく、我等の周圍を取り巻いて居るもので、我等は其の間に生活して居るもの故に、古い空氣よりは新しい空氣、凶運よりは吉運に取り巻かれ、惡靈に付かれず、善靈に護られて、適意の活動を試みたくものである。

而かも靈には死靈もあり、生靈もあり。運命には吉凶あり。靈と運とは、科學的なる空氣の如く、厚さ百キロ(二十餘里)など、想像さるゝ薄つべらの物ではなく、壓力七百六十ミリ(二尺二寸程)などいふ算定的微弱なるものではなくて、我等の確信は普ねく宇宙に遍滿し、萬物悉く永劫無限の大偉力を有し、闕達無礙にして、山河草木禽獸蟲魚何れか運の存せざるべき。何れか靈の宿らざるべき。

楠木正成なる肉體的生命は死亡しても、楠木正成なる精神的姓名即ち靈魂は、日月と共に其の光輝を競ひ、天地と共に其の悠久を較べて居るものにして、我等が祖先の御靈祭は、其の功績に對する感謝報恩には相違無きも、一面に

は實に其の不滅の靈魂を慰め奉るものにして、人生は生命財産の兩者を最大貴重とするものなれども、生命と財産とは時至れば滅却するも、唯り姓名のみは永久に存在して、決して滅亡するものにあらず。

科學者は如何なる批評を下さうとも、我等の靈魂不滅觀は全く姓名の上にある。如何に科學萬能力を揮ふも、和氣清麻呂、楠木正成、乃木希典等の姓名を抹消する事は出来ぬのである。古人が「善名不滅惡名不除」善名滅びず惡名除けずと言ひたるは實に千古不磨の金言である。

是れ我等が姓名は絶對的靈威を有し、相對的生命よりも遙かに尊貴也といふ所以にして、換言すれば、我等の姓名は宇宙全體に互りて永く無限也とするものである。更に換言すれば、姓名の有する萬世不滅の靈の威力は百尺の鐵壁をも貫ぬき、不言のラヂオも聞え、幾千萬年以前——萬物發生以前——無始以前——はた又地獄極樂の音信をも通ずとするもの也。希はくは觀る者冷靜に思考せられて、我等が信念の存する所を認容せられんことを。

伊信事報（社長兼主筆石塚直太郎氏）昭和12.11.25天滿宮祭日の第二二七號の冒頭に「心靈」と題して、八百萬の神の實在、靈魂の不滅を否定しながら、禮服正裝以て靖國神社その他の招魂社の例祭大祭、或は親族名士知友の葬儀、告別式に列して、恭しく拍手頓首燒香合掌する者あり、天下之れより大なる欺瞞が他にあるであらうか？ と記し、其の次に、果して科學であらうが無からうが、之を國民の常識として、普通教育の科目の一として、其の概念だけなりとも普及せしめてこそ、初めて教育の意義もあり光もあらう。神の實在靈魂の不滅を迷信也と排撃するが如き者が政治に携はり、人の子を教ふる資格が果してあるであらうか？ と慨せられてある。實に國民必讀の大文字である。

名稱と音韻

名稱と音韻とは實に大なる關係があつて、木は氣に通じ、芽は目に等しく、葉は齒に聞え、花は鼻に同じく、實は身を意味するもので、氣持がよいとは、木材ならば其の木材が永く曲りもせず、朽ちもせぬ事であり、立木ならば其の木がズン／＼と伸びゆき、枝も榮えて葉も茂ることであるが、氣が狂ふたとは其の樹木に變調を來したか、其の木材に屈曲を生じたかで、春に咲くべき花の冬の返り花は實を結ぶことは無からうし、屈曲の生じた材木は豫定の用途に充てる事は出来まい。

人間も氣が狂うては如何なる事を仕出來すか知らず、決して良き成績はあがらぬ。

芽が出る、目が出る、共に目出度く、芽出度くとも書く。草木は芽が出て段々に成長し、骰子の目が出て双六も進展する。草木の花は實となるの始めで、まことに美しいものであるが、人間の鼻も身となるの始めで、我等が母の胎内に宿るとき、鼻が一番に先きに出來るとして、すべての祖先を鼻祖と稱し、鼻は顔面の中央にありてたしかに面相の美を助けてゐる。草木も葉が落ちては空氣中の養分は取れず、人間も齒がぬけては食物を充分にかみこなせず、鋸や剃刀などは刃がこぼれたら最後、其の役目を果たすことは出来ぬ。

今もいふ通り、實は身に通ずるものゆゑに「みがもてぬ」では種族を殖やし、子孫を繁昌せしむる事は出来ぬ。音韻と名稱とは、斯くの如くに離れられぬ大關係あるもの故に

「姓名は生命也」「氏名は使命也」

といはれるのである。たゞ姓名といへば、人の苗字と名前とばかり思ふか知らぬが、實は生命であつて、其の人の生命に關はる大事であり、氏名といへばこれも同じく、人の苗字と名前とばかり思ふか知らぬが、其の實際は使命であつて、天より命ぜられた使者の役目といふ事である。

然しながら「天に口無し人をして言はしむ」といふが如くに、人間の名前は人間がつけるのであるが、其の命名の精神は、眞に國家國民を念として、神佛の如き清淨無垢なる、一點曇り無き明朗地より發せねばならぬ。

國勢調査は大正九年十月一日、我が國初めて其の第一回を行ひ、其の後三回は行はれたが、調査表に先づ第一番に氏名を記入する事に成つてゐる。子が生れて生命を有するや、何事を差置いても、先づ姓名を定めて、二週間以内に必ず届出をなすべき法規に成つてゐる。

人は生命の貴重なるが如くに、「姓名の貴重」は之に依つても知れるので「人間萬事姓名に發す」である。それ故に姓名讀み下しの音韻には注意に注意して、少しでも凶惡なる音聲に聞えるものは決して採用しては成らぬ。而かも

命名は姓名學

に依るべきである。何とならば、姓名學は「自然の要求」に應じて生れたる、イハユル「時代の産物」であるからである。

然しながら茲に一考せねばならぬ事は、日用品にも甲乙あり、藥劑にも良否のあるが如く、世間の萬事優劣あり、利害あり、姓名學にも正邪があつて、加ふるに其の運用者の精神作用が、第一番に影響するからである。殊に近頃我等の最も痛切に感ずる事は、八幡様に付けて戴いたとか、御祖師様に付けて戴いたとかいふので、其の信仰によつてイハユル「凶名の吉化」となるかと思つて、其のまゝにして上げると、間もなく本人が短命に終るあり、若しくは子女を喪ふ者の多數ある事、實に容易ならぬ問題である。

惟ふに此等の人々も、眞に神佛の御心に發する御命名ではなくて、其の神社佛閣に仕へる神職僧侶の取扱に係り、

其の神職僧侶の人々がアママリアママリの姓名學書に依るからであらう。我等が昭和十五年春までに精査せる姓名學書一百七十餘種には皆アママリがあるのである。「悉く書を信せば書無きに如かず」とやら、前記の如き多數の不幸を見聞するとき、如何に神佛の御命名也といふも、我等は之を黙して止む事は出来ぬ。我等は我等の信念信條より之を直言せねばならぬ。

姓名學界の現状

舊幕時代から明治の初年頃までは「名頭字彙」「名頭字集」などいふものがあつて、民間の命名に便宜を與へて居つたが、これは單に命名の文字を示したもので、何等の邪念も無く、自然であつたが、明治二十五年頃、哲明堂佐々木盛夫先生が、今日のイハユル「姓名學」なるものを唱道せられてより、幾多の研鑽者を出し、遂に今日の隆興を來し、我等の精査せる書籍ばかりも百七十餘種、實に汗牛充棟も言ならず、又イハユル高島曆や、博文館、積善館等の各種の日記類の附録にも、姓名學は載せられて居り、又すべての婦人雜誌、悉く姓名學を掲載する有様で、姓名學の隆興は年々歳々進んで來るので、今日の生兒の命名は大抵は姓名學に依るらしいが、アママリアママリの姓名學に禍ひさるゝ者の多々ある事、前陳の神職僧侶の命名改名に至るまで、實に々々お氣の毒に堪へぬ。

現代姓名學界は、大別すれば

一 從來の哲理派

五聖閣熊崎健翁氏に、舊式姓名學、舊式姓名學と、常に誹謗され、罵倒されても、一言も酬ゆる能はざる、謬見多數にして、實に不合理の條項多き學說の一派である。

二 韻鏡命名一派

○國法學博士といふ肩書を有する人が會長となり、命名は韻鏡反切法を用ひねば、本當の幸運は得られぬと力説する、野心滿々の邪妄きはまる曲學の一派である。

三 五聖閣熊崎式

二十餘年の研鑽に依つて完成したる最新靈科學なりと詐稱する奇怪至極の學派である。實は發表當時は四ヶ年の未熟なる研究のために、其の式では今に至るも、姓によりては善良名を付ける事の出来ぬものがあつて、道德社會には實に存在の價値無きものであるに、國民が姓名學の知識乏しきにつけ入り、發表の翌年には三十餘年の研鑽とイッハリ、度々新聞廣告をして居る、實に始末にいかぬ横暴である。

四 我が靈理學派

惟神の靈理に發祥し、『衆知を集めて日本一確實の大成を期する』を標榜して居る、國體明徴、國民精神總動員の時代的大理想に順應する、正學の大集團である。

先づは右の四者であるが、一二三は勿論、他の幾多の群小學會、悉く、日本一大凶の三十二畫を大吉とし、一家に取りては一番に大切なる夫婦名の陰陽をも知らず、また最も尊重すべき音韻にも構はず、兄弟姉妹の逆名にも心付かず、其の他天地にも、陰陽にも、五行にも、畫數にも謬見と短見とが多數にあるので、其の凶格に命名改名された人々は、或は短命に終り、或は種々の凶運におそはるゝかする事、實に々々お氣の毒の次第であるが、釋尊のイハユル『縁無き衆生は濟度し難し』であるから、我等は有縁の人々を幸運ならしむべく、茲に本書を編述する所以である。

第二章 姓名學五大原則

姓名學五則といふたり、鑑別法五ヶ條といふたりするが、この五ヶ條は何れの點に先きに着眼しても、この條件をさへ具へれば宜しいものである。命名には必ずこの條項を具備すべし。

- (一) 姓名の意義 之に依つて人物の精神と職業の適應とを鑑す
- (二) 天地の順逆 之に依つて家庭の有様と周囲の慶弔とを推る
- (三) 陰陽の調和 之に依つて健康の狀態と事業の成否とを察す
- (四) 五行の所屬 之に依つて性格の發達と生理の情勢とを考ふ
- (五) 字畫の運數 之に依つて禍福の享受と運命の吉凶とを判す

他に夫婦名の吉凶と、三代名相關と、命名注意條項との三原理があるので、靈理學八大原則とも稱すべきであり、我等の集團は現代姓名學界に於ては、たしかに最高權威を有して居るものである。而かも『衆知を集めて日本一確實の大成を期する』理想に漸進するものであれば、會員諸氏は勿論、本書を讀まるゝ閣下並に諸君諸嬢に於かせられても御心付の點あらば何卒御指示下されたく、斯學大成上茲に御願ひいたしておきます。

姓名學は學的には以上の定期に成つて居るが、この定期原理が各別々に人の運命を作るものではない。それは丁度五臟六腑四肢五官が、互ひに相依り相助けて、我等の行動をさせるが如くで、字畫が家庭に影響し、陰陽が運命を支配するに至る事、身體健全者は何事もなかに、何處かの一部に疾患があると、總ての行事宜の如くならず、甚だし

ければ病床に臥すに至ると同理で、凶格は唯々一ヶ所でも危険であり、凶格が三ヶ所以上もある姓名は安全を保證する能はず。而かも靈的方面の事は肉體的の如く、外見明らかならずとも、夜となく靈となく、其の姓名を離れず、知らず識らずの間に、其の靈威を及ぼすものであるから、生兒には必ず良名を付けてやるべく、生兒に良名を付けてやるは、第二國民養成の大義務にして、實は萬千の資産を與ふるよりも、遙かに尊き恩愛である。又自身凶格に心付かば、早速に良格の改名を使用すべきである。「善は急げ」の諺思ひ合せて斷行せられよ。

第一原則 姓名の意義 (人物の精神)

春生れの長男だから春太郎、秋生れたから秋子、先祖の甚八殿に似るようには甚八、二番目だから次枝、十年九月三日生れだから十九三など、付ける事は、學的には無意義といふべきである。

姓名の意義は慎重に考慮して、公明、正大、莊重、雄偉、清高、堅固、鮮麗、優美、股脈、輕妙、福德壽等の慶賀の觀念を含ますべきである。本書は選名、命名の資料に供するものではあるが、何れも簡單に記してあるから、職業的に姓名學家となるには他の書籍をも併讀すべきである。

◎羽 柴 秀 吉 羽は飛行にて活動の意味、柴あれば炊事自由に、秀は秀逸として人に勝れること、吉は吉運なればこの姓名は活動自由に食糧の心配無く秀で、吉運也といふ意義である。

◎徳 川 光 岡 徳を積むこと川流の晝夜息まざるが如く、光りは岡内を明らかにするといふ意義也。

◎本 間 久 四 郎 間は中間として大切の箇所、四は四角四面として正しき象、郎は男子にして四郎は四男の意味。この姓名は本來大切な中間にありて永久に四角四面なる正しき事をなす郎(男子)といふこと也。

◎淺 田 宗 伯 淺田は深田に反して耕作の便宜あり、宗は總本家、學說の本源などの意、伯は頭領なり。姓名は淺田として耕作に都合よき所に宗伯といふ頭領が活動すといふ收得偉大の美稱である。

▲天 子 堂 天子とは 天皇陛下の御事なれば、天子堂は 天皇陛下のいらせらるる、御堂といふ意味である。東京帝大赤門前に於て、十年以上も姓名學に従事してゐた○○博敏の家號で、まことに畏れ多いから、編者が改名をすゝめたが、それを用ひず、詐欺をはたらいて、昭和九年の夏頃○○と○○に留置せらるゝ、こゝと二十九日づゝ、連續二回に及び、元の所では業務を差止められ、本郷三丁目の小さな家に移つて小さな看板を出し、○○勝昭と(昭和の昭の字を下に)改名して通知状をよこしたが、間も無く何れへ行きしか隣家できいても不明となつた。

▲高 丸 了 一 (人格を尊重して姓をかへる、但し字畫と字性とはかへぬ) ●崎式姓名學者某の改名であるが、了はさとるともをはるとも讀む。一を聞いて十を了るは慶賀すべきだが、一を聞いて一を了るは取り立てゝ譽むべきでなく、十を聞いて一を了るならば其の低能の意味思ひやられる。また上から讀み下せば高丸は了りて一となる。高丸は萬事了りて一人となつてしまふといふ様の淋しき暗示である。果せる哉。改名の翌年長男に死別し、其の翌年には某の命名した二男高丸二久に死列し、一年おいて次の年(改名後五年目)には自身三十八歳にして、二十九歳なる最愛の妻を失うて、本當に高丸は一人になつて了つた。これは昭和十四年夏、熊〇市〇〇町で、この事實は中村勝年氏(日本橋區吳服橋神易館主人)知悉せらる。姓名意義の凶惡恐ろしい哉。

(附言) 高丸は痛感無上、正しき姓名學を以て世人を救ふべく堅く決心し、中村氏の門人とならうとしたを、中村

氏は我が靈理姓名學會正會員に御世話下された。有り難き御厚情、略儀ながら茲に感謝の誠意を表す。

▲半の字 半治は半分治めるの意味で、半分は亂れてもせん方無し我は關せずといふ無責任の意味であり、半造は半分は造らずに了ふ様の意味であり、半藏は藏(倉庫)が半分とも思はれ、半分藏すとせば半分は放任の意味であり、半七は半分にして七になつたか、七を半分にするのか、わけのわからぬ凶名で、半の字はすべてに不完全の凶意を含んで凶運者が多いのである。他のイロ／＼の文字の事は第三章にゆづる。

▲姓の解釋に就て 石田は不毛の地、矢野は争ひの土地、小林は利益なき所、長谷川は交通不便の道、加藤は争ひを加へる、佐藤は争ひを助ける……などと記しておく書があり、また之を眞に受けて、印刷宣傳する不見識者も少なくないが、日本には悪い姓は無いのだから、姓の畫數の吉凶を論じたり、姓の意味を凶惡に解したりするは、實に愚見といふべく、石田は石山峨々と聳えたる下方の田地、矢野は戰術訓練の場所、小林は風景美はしき森林、長谷川は深山に通じて木材薪炭の搬出所、加藤は藤の如き美はしさを加へる、佐藤は藤の如き美しさを助ける……と解すべきである。

天智天皇、中臣鎌足に藤原の姓を賜ふや、藤花の如き美しさが藤の花房の如く長く、原の如く廣く傳はるやうにと、即ち美が長く廣く傳はるやうにとの有り難き御聖慮に出でさせられたりとは、史學家の齊しく稱揚し奉るところである。

姓名の意義は某學派のやうにみだりに不吉不利益に解すべきでない。

姓名の意義に就て (筆者卑見解答)

白鳥朝一 161329 白は潔白なり、純白なり、汚點無し。科學的に赤橙黃綠青藍堇の光りを合すれば白となるといふ。然らば白は色光の總合統一也と稱すべく、諸光色の大王と目すべし。動物の白鳥は雁に似て羽毛白く、其の高潔を尙ばる。昔、志田某、鴨を射て將軍に献上し兵士の勞を慰めたれば、鴨志田氏と稱すべき旨申されたる事あり。白鳥氏も亦白鳥を獲て献上し、將軍の病ひなど全治し、その認許にあらざるなきか。また文字の上より白鳥の姓は一點の濁り無きこと白鳥の如くなりと見るも大過なかるべし。朝は一日の兄格にして、朝野といふときは、朝は野(人民)に對する政府の意なり。一は首領なり、長上なり。姓名の全體は白鳥の羽毛の如く清淨にして汚れ無く、朝の如くに尊ばれて第一位に達すといふ慶賀の美稱である。但し一は長男の意味ゆゑ、本人が二男以下ならば、改稱使用の必要あり。

金津泰鯉 172845 金は五行(木火土金水)の一に數へられ、金屬の總稱にして、金とは普通に黄金をいふ。黄金は藥品にも侵されず、火力にも其の重量を減ぜられず、實に安全無上なり。物品の賣買には必ず金何圓何十錢と書かる。金の人生に貴重なる今更に言を俟たず。其の堅きこと金鐵の如しの語は如何に吾人を安心せしむることよ。津は船舶の發着所にして、伊勢は津で持つ津は伊勢で持つの俚語は能く津の要衝を説明し、兼ねて世間萬事彼此相助くべきの理を諷するものにして、若し夫れ興味津々の語を思はゞ其の清趣無限を慶すべく、泰は泰平なり、安泰なり、鯉魚の勢力旺盛にして、民間には鯉の瀧登りと稱せられ、男子の節句(節供)には必ず緋鯉眞鯉を軒頭に掲揚して、其の壯觀を賞翫し、其の兒の立身出世を鯉魚の渡刺たる活躍に祝す。鱗の三十六枚なる、他の魚族の體の大小によりて其

の數を異にするものとは特に其の性質を殊にし、文藝上に三十六歌仙を「鯉鱗行」と稱せらるゝも亦以て賀すべき也。姓名の全體は金の出入繁き津といふ要地の泰らかなるところに鯉魚の如き潑刺たる爽快なる男子が活動をなすといふ慶賀の美稱なりとす。意義洵に善良なり。

(附言) 氏の姓名の音韻「カナツタイリ」は叶つた入りで、徳義に叶つた取入であり、道に叶つた收入であるから氏は決して不徳義の收入を求めざる高潔の紳士であることが知れる。由來榮耀榮華の生活といふものは、道に叶はぬ收入を得ずしては出来ぬものであるから、氏は或は物質方面には衆目を惹くが如きイハユル豪華の生計は出来ぬかも知らぬが、必ず國民模範の家庭を作つて居られる御仁である。

と申し上げたは昭和十一年丙子の夏六月二十日、京都市外八幡町金津泰鯉の名義を以て、編者に對し、姓名の意義を知りたしとの來狀の返信である。

スルト間もなく、綴喜郡八幡町の肩書で金五圓也を御惠贈下された。綴喜郡といふ喜びが殖えてまとまる意味が嬉しく、編者が出版資金を殖やしたいとの願ひに叶つた入りは、自己の用途に費して了ふに忍びず、芳名を天下後世に傳ふるには出版資金に御願ひするに限ると考へ、意のあるところを申し上げ、失禮ながら御身分をも御洩し下されたしと申し上げたるに、氏は官幣大社石清水八幡宮神官の一人にして、從七位を有せられ、鳥見子夫人との間に三男一女あり、まことに睦まじき御家庭の由。御名前は泰鯉とおよみなさる。

編者常に信ず。廣くて高きは高天原なりと。金津氏より本會に下された御寄附はひろたかといふ音韻が高天原の神様の御思召にも叶はせられたる御事也と、益々以て有り難く、我が靈理學の彌々益々發展弘通を慶賀するものである。思はず長文に亙つた事を御容忍を希ふ。(昭和十一年丙子文月吉日)

根 本 圓 通

第二原則 天地の順逆 (家庭の禍福)

靈理學上の天地の順逆は、吉凶共に必ず家庭運となりて實現する。

天とは天命の威容といふことで姓の上文字をいひ、地とは地數の徳貌といふ意味で名頭字をいふ。而して姓名全體を人格と見て、姓名中に天地人の三才を具備すとするものである。

(天地順數)のみ幸福圓滿で、他の幾多の(天地不順)は必ず家庭運が破れる。

(天地順數)とは(天大地小)の靈理によつて(天多畫地少數)の姓名をいふ。

女性名の本字なるは其の本字に依り、假名ならば平假名でも運命を知るには片假名に直して見る也。下に子の字のあるは子の3畫をも數へ入れる。(而して子の字は金性である) 萬葉假名(變體假名)は其の字源の楷書に依り、萬葉假名と平假名との交りの名は釣り合ひ良く書きて判すべし。即ちあけはタケとせず多計の15とし、まみはスミとせず春美の18とし、考ふは壽惠の26、いそは伊者の15、いまは以末の10とするが如し。

平假名に畫數を附ける者あれども、實は平假名は一字でも二字でも三字でも五字でも、續けて一筆に書くべき性質のもので、夫婦名の陰陽判じ難く、筆をきつて書くは初學生の習字の便宜にするものであるを知るべく、又平假名、片假名共に其の字源の漢字に改めて、畫數を附けるが妥當なりと説く者もあるが、由來假名は兩方共に、我が日本に於て生れたる、世界に類無き尊きものであつて、畫數を見るには、どうしても片假名に據らねばならぬからである。

天地を見る時

天(姓の上文字)が123畫は10を足して111213畫とし、10111213の四つは其の儘にし、14畫以上は何れも10を引いて其の端數にする。但し13に限り、後にあげる陰陽が凶格の姓名は、天を13とせず3とする。3も陰陽凶格の姓名は10を足さず3とするなり。

地(名頭字)の10畫以上は悉く10を去つて其の端數にする。名頭字が10畫ならば(家康、格一、恭太郎の如き)名は全部の畫數から10を幾度も引いて端數にする。

名前の全體が10畫、20畫の二つは姓の如何に拘はらず(天地不順)の凶格とする。名が30畫、40畫の吉數は差支へ無し。

10畫未滿は即ち端數であるから、天地共に直ちに其の畫數で行ふ。

■姓全體が14畫で名頭字14畫は凶惡にあらずやと問ふて來た者があるが、それは何等差支へなし。また姓の上文字が15畫で名の全部が15畫なども差支へ無し。

◎豊臣秀吉 豊8秀7(豊18を8とす)と◎東郷平八郎 東8平5は天大地小(天地順數)の好き例である。

◎室田豊作(埼玉縣大里郡明戸村)は裸一貫から地方に稀なる財産家となられたが、室9豊8天地順數に加へて、靈理學上の諸條件全部完備の良名也とて、同村關口順一郎は深く靈理學を信じ、小祝啓圓(淺草公園内に常に姓名學講義をして居る本會副會長)の門人とならうとしたを、小祝の紹介によりて、關口は正名閣支部長となられた。

門人や支部長や一人でも餘分にほしきが人情なるに、小祝が普通の人情を超越しての斯の舉は、前記中村勝年氏の篤志と併せて實に學界の双美談として傳ふべく、讀者各雅には、美談や慶事や、成功の名譽等が、何れも良名に生ずるを御試めしを希ひ、特に本書通讀の後に、室田豊作の姓名に就て御調べあらんことを。

▲工藤祐經は名頭字10畫ゆゑに、經の13を足して名前全部の23を3とし、姓の上文字工の3に對して(天地衝突)大凶で、曾我兄弟に討たれる凶惡原因をなした。

▲徳川家正(家達公の後嗣)は同上の理によつて(天地衝突)大凶にして ▲嗣子家英(三)を喪はれたが(1110)の死亡廣告は妹徳川敏子嬢(三十二畫)がなされた。この▲印は何れも(天地不順)にして家庭運の破れた實證である。

天地順數の一例

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ◎一。條。忠。香。天11地8(天地順數)大吉 | ◎清。浦。奎。吾。天11地9(天地順數)大吉 |
| ◎乃。木。希。典。天12地7(天地順數)大吉 | ◎大。倉。喜。八。郎。天3地2(天地順數)大吉 |
| ◎伊。藤。博。文。天6地2(天地順數)大吉 | ◎大。隈。重。信。天13地9(天地順數)大吉 |
| ◎菊。池。幽。芳。天12地9(天地順數)大吉 | ◎高。山。公。通。天10地4(天地順數)大吉 |
- 天12101112の五姓は無條件に前記の通りに行ふが、天3畫の姓では後にあげる陰陽を見て陰陽凶格は13とはせず3畫其の儘とし、13でも3畫とする。13とするは、大隈重信、上原勇作、鈴木重雄……の如くに陰陽良格に限る。

天地不順の凶格

(天地不順)には九様あるが、これは何れも家庭運が破れる。家庭運の破れる第一は父母に薄縁となる事である。父母に薄縁とは其の名前をつけられた者と父母と三人は同棲が出来ぬ様になる事で、死別か生別か別居かになるに至る。立身出世のための別居は止むを得ぬが、犯罪者となりて刑務所入りの如きは、國家の爲にも惜むべきである。

人は誰しも犯罪者となるを願ふものはないが、窃盗強盗詐欺横領放火凌辱殺人の如き不祥事が凶格姓名者にひとり
でに發生するを厭ふべきである。

(天地不順)の姓名でも、年若き頃は無事平安の人々もあるが、妻帯して三十歳、四十歳で最愛の妻を失ふとか、老
年に至つて長男や二男を喪ふとか、家庭運を破るは御氣の毒に堪へぬ。

春はたゞ同じ緑の草と見し秋は色々の花にぞありける

春風のなよ／＼と吹き渡る、温暖の好季節の朝には、皆同じ様の緑の草ではあるが、秋風身にしみる夕べ、咲き
出でたる花を見れば、赤きもあり、黄色もあり、白きもあり、イハユル千紫萬紅、みなそれ／＼に趣きを異にする。
同じ様な緑の草の時には、これが果して黄色の花がさくか、赤き花を聞くかは判るまいけれども、秋に至つては嚴
然と分るが如くに、人の運命も年とり次第に吉凶が判然と分るのである。

「今日の幸運も明日の災禍を知らず」であるから、天地不順の姓名者は、國家の爲に、天地順數の良名を使用せられ
たし。聖養子は家附の子とは異なるが、斯學の理想としてはヤハリ(天地順數)の良名を使用してほしい。

(天地衝突)とか(天地逆數)などいふが有る筈はない。天地衝突大凶といふが如きは全くよい加減の妄論で、宮内
大臣土方久元、陸軍大將大島久直兩氏など事の實際に合致しないと、靈理學の天地説を攻撃する人もあるが、

▲土方久元伯は、永年間に明治天皇に奉仕し、宮内大臣として忠誠無比であつたが故に、二重橋前の大楠公銅像の
モデルになつた人さうなが、長男久明は砲兵大尉の時、三十八歳にして時事に慨する所ありて、村田銃自殺を遂げ、
▲大島久直大將の家庭は『大衆人事録』には五男よりありて、長男から四男迄は記されず、●崎氏が長男と稱するは
五男、二男と稱するは六男、三男と稱するは七男である。淀橋區役所に照會すると、戸籍謄本ではわからぬが、除籍謄

▲天地不順 凶運の實例

本ならば判明しようといふので、除籍謄本を取りよせて見るも、ヤハリ同様である。昔は家庭圓滿であつたか知らぬ
が、昭和十年には實に如上の通りであつて、何れも家庭運の破れたる證據である。他は讀者各位の御試めしに任せる。

- 1(天地逆數) 天よりも地が多畫
▲平宗盛 村井長庵
- 2(天地衝突) 天地が同畫の姓名
▲徳田寛 阿部定
- 3(天地二重衝突) 二回同畫數の姓名
▲弓削道藏 芳川鏡子
- 4(天地端數衝突) 姓名端數同畫の者
▲幸徳秋水 23 13 36 徳田貢 20 10 30
- 5(天地合數半數) 姓對名が半數の者
▲高橋利行 26 13 39 幼兒溺死す、東京市深川區牡丹町二丁目、
▲高橋秀年 26 13 39 昭和13八月飛行機墜落、大火傷、段々に死
亡者八十二名となつた其の一人である。大森區大森九ノ四五七七
職工。こんな不幸者が幾十名もあるから、●崎式をはじめとして
從來の姓名學書はアヤマリといふべきである。
- 6(天地合數倍數) 姓對名が倍數の者
▲山田憲 鈴木辨藏
- 7(名畫充數) 名前が10、20の者
▲難波大助 井伊直弼

8 (姓名斜線衝突) 姓名数字×形同數

▲青木 愛治 12 21 33

○谷田 勝美 12 21 33

9 (機械的構成) 畫數順次増減の者

▲柿沼 作吉

●太田 收

研究不足の人々は、名前の畫數も善く、姓名合畫數も良くなれば宜しいと早合點して、姓名畫を

8 16 24 22 11 33 26 13 39 12 21 33 ……の如くに付けるを往々に見受けるが、(天地合數半數) (天地合數倍數)

(姓名斜線衝突) ……等前記の九ヶ條は之を避くべきである。

▲高橋 秀伍 26 13 39 まことに不運であつたを、向審議員が秀五 26 11 37 と改名してやつて、其の不運を救はれた由。本所區厩橋四丁目、(13 10 24)の事實。

×船越 達(五) 三井生命東京支店長、五十三歳の病死は惜しむべし。姓名字畫 11 12 13 と順次一畫増しの凶格であつた(14 2 23)各。

(14 4 29)天長節佳辰、正名閣東京支部長となられた正名大學士今井浩一郎は「男女の相性」七九頁の長谷川清を、當時支那方面艦隊司令長官海軍中將であつたと、指摘訂正されたる篤學者であるが、横濱市中區〇〇〇町の知人二

十七歳が●崎式によつて

▲高橋 佐光 26 13 37 と改名され、益々凶運になつて來た事實に直面し、佐夫 26 11 37 と改名してやつて、幸運を保證する旨を物語られた。

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

幾十名中、例はすべて少數をあげる。御ふくみあれ。

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

▲佐藤 公美 25 13 39 二十四歳の妻は自殺す、淺草區壽町 ●崎式では善良名也。(14 8 1)各

天地の差 小にして凶運の例

天地の差は小なる程宜しく、其の差が五畫以上は凶運也と説く者もあるが、これも謬見といふべきである。

▲石川 五右衛門 (5と4 差1) ▲今川 義元 (4と3 差1) ▲石田 三成 (5と3 差2)

▲吉良 義英 (6と3 差3) ▲坂本 慶次郎 (7と5 差2) ……

凶運も吉運も天地の差には因らぬ。條件は他にある也。

天地の差 大にして差支無き例

◎春木 一郎 (9と1 差8) 帝大教授 ◎原 脩次郎 (10と1 差9) 鐵道大臣

◎茂木 順三郎 (9と2 差7) 千葉縣大富豪 ◎飯田 壽作 (13と4 差9) 兵庫縣釀造業

◎鏑木 清方 (9と1 差8) 浮世繪の大家 ……

他の幾百名は略すが、御都合主義者の言説を漫りに信する勿れ。

姓名全畫の關係

時に依つて、姓全部を天といひ、名全體を地といふ場合もある。この時は、左の如くに、名の合數が姓の合數より

多畫でも差支へ無し。

◎ 13 18 31 15 16 31 13 24 37 13 25 38 23 24 47……の類皆大吉也。

天地の一畫多きは天地順數也

副會長審議院長 小 祝 啓 圓 所 說

姓は今までにあつたものゆる、祖先又は父母と見るべく、名前は其の人にだけ付けられるものであるから、これは自分自身と思ふべし。それ故に祖先や父母に従ふ意味に於て(天地順數)の良格である事は勿論であるが、優生學の見地に立つときは、我等は祖先や父母に優るべきである。斯く考へるときは、天地の一畫増しも亦(天地順數)と見るべきである。

我等は此の説話をききて、蒙を啓かるゝところあり。會員研究の結果、この説を是認してこゝに掲ぐ。

◎ 羽 柴 秀 吉 16 13 29 (筑前守) 名の端數3は羽6より少數、天地順數 大吉。

◎ 有 馬 良 橋 16 23 39 (海軍大將 明治神宮々司) 全部前者に同じ。軍神廣瀬中佐等と行動を共にして、無

事凱旋の榮譽は其の良格に因る。

◎ 坂 間 南 龍 20 25 45 秋田縣免囚保護囑託、本會審議員正名大學士、嘗て某高山に登るや一天俄かにかき曇

り電光物凄く、一陣の強風吹き來ると共に、黒雲に乗りたる異様の物あり、氏は思はず地上に平伏すると頭上よりバクリと一呑みにされたらしく、後頭部にカチリと齒が立つたかと思ふと、それは正しく夢であつた。南方を目掛けてやつて來たは龍であつたらうと感じて、其の時から南龍の號を用ひ居る由。

◎ 田 篤 5 16 21 元臺灣總督田健治郎男の長男、日東自動車社長

◎ 縣 忍 16 7 23 現名古屋市長、大阪府知事、北海道長官等歴任

◎ 宇 川 濟 9 17 26 海軍中將

◎ 下 村 壽 一 10 15 25 東京女子高師校長

◎ 宇 井 伯 壽 10 21 31 文博、東京帝大教授

◎ 兒 玉 信 次 郎 13 25 38 工博、住友化學工業技師

◎ 齋 藤 和 三 郎 36 21 57 札幌稅務監督局總務

以上十名に止めるが、次にあげるが如き畫數の關係者は、天地不順大凶とする。

▲ 佐 藤 和 彦 26 17 43 「姓名讀本」の著者「轉居先不明」となる。横濱市中區中島町一ノ九、名の17の7が佐の7と天地衝突大凶。 他は略す。

第三原則 陰陽の調和 (健康と事業)

陰陽の調和は、主として其の人の事業が順調に成功するか、逆境に失敗するかを窺ふものであるが、兼ねて健康の状態や、性格による交際上處世上の有様も察せられ、天命を全うすべきか否かをも推究する事が出来る。

陽 ○ 印 1 3 5 7 9 ……等 奇數畫文字 半の數
陰 ● 印 2 4 6 8 10 ……等 偶數畫文字 丁の數

小沼 正 兒玉 誠 蔣 介 石 張 學 良 今川 義 丸 忠 幸 秋 水

小文間 喜一 (時計泥棒) 澤田 常三郎 (過失殺人)

名古屋山三郎 (大兇漢) 十一谷 義三郎 (小説家四十一歳病死) 12 4 3 日

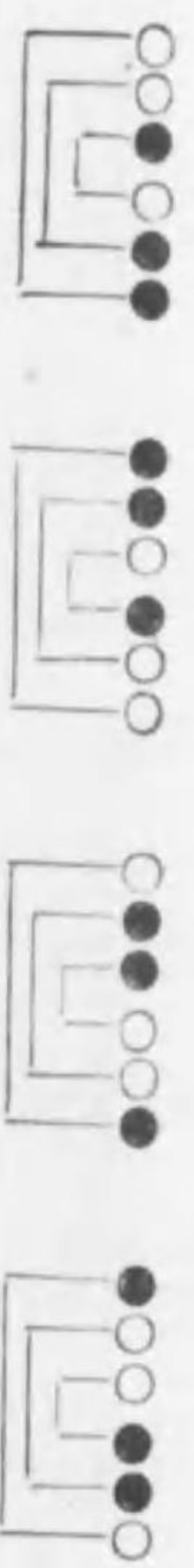
×幸信行 熊崎氏は文字の畫數は大切だが意義には關せずといふ、幸信行は熊崎健翁氏の門人で佐世保市名切町といふ所に開業した。筆者これを知り、名切町は姓名學には不吉だから、執務も看板も他の町内にせられたしと、三度の郵便は届いたが、二ヶ年程で四度目には「本人死亡家族ナシ」といふ附箋で郵便が戻つて來た。(書類全部保存す) 幸信行は名前が二字(姓名三字)の二十三畫にして、陰陽挾撃大凶であるを、善良格とする▲熊崎式姓名學は謬見極まるものである。

三 別々 (姓名四字以上) 大凶惡

○○●● ●●○○ ○○○● ●●○○○

これは中央より見て全部反對の星に構成されてあるものである。別々は飛散を意味して圓滿を缺き「物事失敗」に歸す。しかし勢力あるものは難事を難事とせずして邁進遂行するが、それは其の數まことに少なく、多くは虚弱、短命、變死、横死や、思はぬ犯罪等となり易いものである。使用する勿れ。

此の格の六字以上には左記の如く、上下兩端より見て順次に内方に及ばすに反對の星に構成さるゝものあり。これは一見良格に思はれるから判断上大注意を要す。



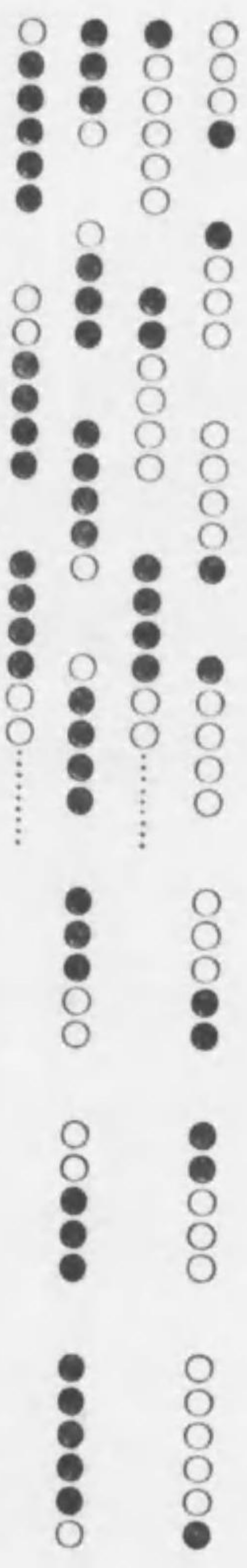
別々大凶。但し此の法は四字には行はず、また○○●●○○●●●●○○●●は差支無いが、あまりに順序正しきは

いはゞ臨機應變の才無きものであるから、選名には用ひぬが良い。

而かも六字以上は實際世に立つて不便ゆゑ、或る特殊の姓以外には成るべくは付けぬが良い。

- 北條 高時 足利 尊氏 大野 治長 福島 正則 石川 五右衛門 堀源 太左衛門
- 小笠原 三五郎 (實兄殺し、岩手縣)
- 市田 四郎三郎善七 (大正二三年頃高商出の商業家、妻を迎へて間もなく死亡、栃木生れ)
- 方波 見松之助 (詐欺常習捕はる)

四 陽偏多、陰偏多 (姓名四字以上) 大凶



偏多(片よりに多くある)といふ名稱で配列の有様を知るべし。陽多きを陽偏多といひ、陰多きを陰偏多といふ。世に「片側早り」といふ言がある。一方多雨、一方無雨では作物の實り不良の意味である。姓名學では「新規蕩直し」

ける能はず。我等の手帳の昭和十三年及び十四年九月までの四十三名（人生豫言、昭和十四年十一月號發表）の中から二三をあげるならば（煩を厭うて各文字の畫數を記さず）

- ▲宮田八重吉 15 17 32 四 五 玄米泥棒 茨城縣〇〇〇
- ×井坂富士雄 11 27 38 三 帝大助教正六位 病死、芝高輪井坂孝氏長男
- ×吉田宇一郎 11 17 28 二 溺死體上る、神田區神保町三ノ一一、熊崎式では善良名也
- ×田中美和子 9 20 29 一 崖崩れ惨死、横須賀海軍中尉田中虎重氏御令嬢、小學校に於て
- ×新倉美知子 23 20 43 一 家潰れ壓死、大森區大森六丁目 新倉倉吉二女
- ×光永修一郎 11 21 32 二 第四師團歩兵大佐病死
- ×森本富士雄 17 27 44 四 元日本大學教授（松田文相秘書）病死
- ×宮川宇三郎 13 19 32 三 資産家投身自殺、横濱市中區扇町

他は略す。

（附言）この書に、三十二畫は構成悪しきは凶運となるとあり。我等は如何なる文字を如何様に構成しても必ず家庭運を破るといふので、見解異なるものである。

○陰陽の良格

陰陽の良格者は、國民たるの本分を盡し、健康長壽、忠實勤勉、福德成功、博愛公益、家庭圓滿、名譽萬世、子孫

繁榮の幸運を享受する事が出来る。

國民齊しく此の靈理を信用するときは、國力發展、國威宣揚、期して待つべきである。

而して其の構成は、前記の凶格（五ヶ條）をさへ除けば、他は全部吉運であるから、前記五つの名稱は是非共覺えておくべく、茲にも繰り返しておく。

凶格は ▲1無調和 2挾撃 3別々 4偏多 5中折……

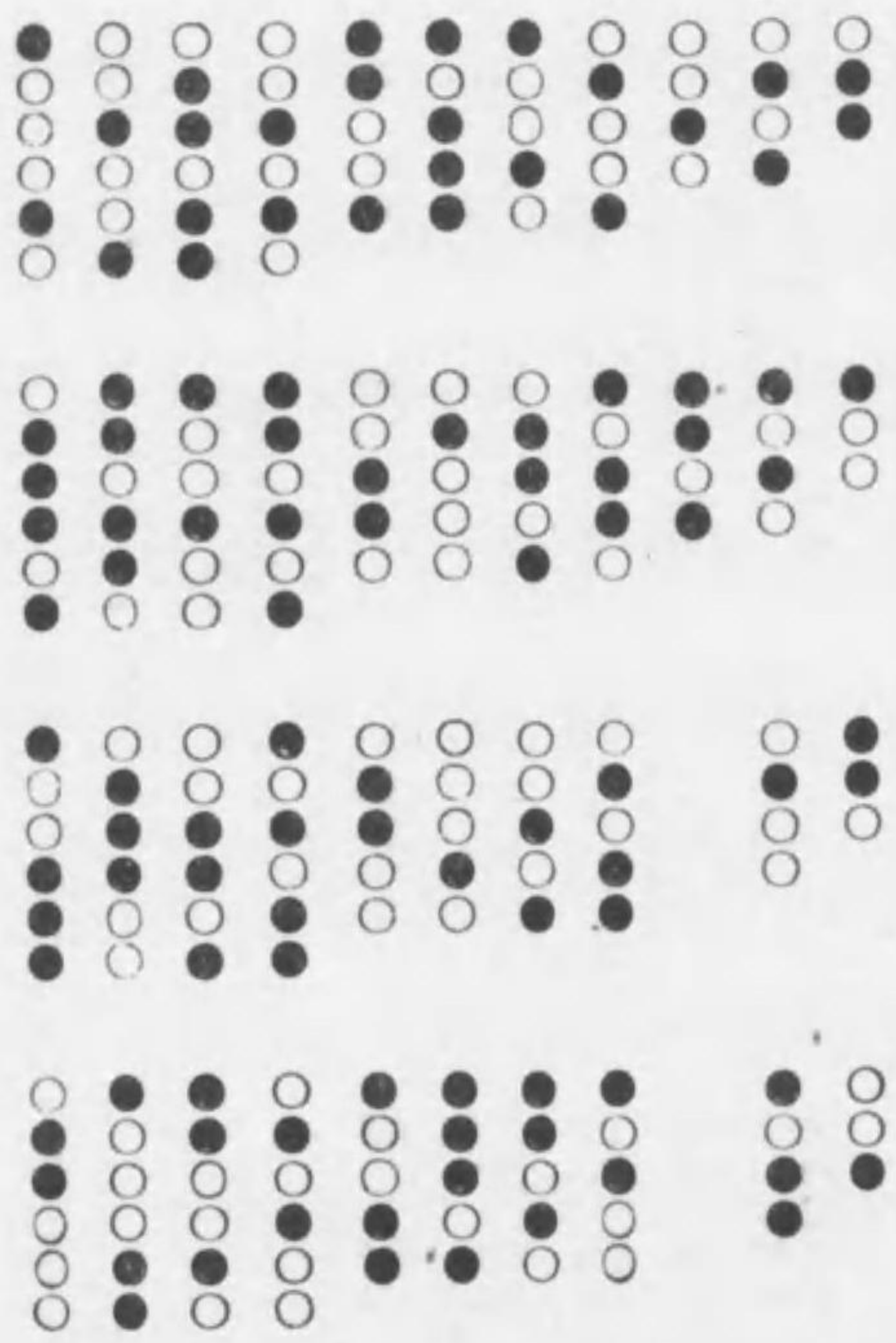
姓名二字良格（陰陽有交）

同 三字良格（同二連續）

姓名四字良格（陰陽四交、中間一異）

同 五字良格（陰陽二交、陰陽四交）

同 六字良格（陰陽多交）



姓名六字以上は其の組合が込み入つて到底例はあげ切れぬ。故に凶格五ヶ條にふれぬは(あの名稱に照して)全部良格と見るべく、○●置換や位置の上下に成れるは總べて同一運格と見て宜しい。

○陰陽良格の一例 (便宜上、姓、名、合畫數も附記す)

岡●	實○	8	15	23	森●	清○	12	11	23	田○	篤●	5	16	21	林●	權○	助	8	29	37	森●	鷗○	外	12	27	39										
平○	賀●	讓	17	24	41	菊池●	寬○	18	15	33	久○	米	正○	9	17	26	伊藤○	博文	25	16	41	乃木●	希○	典	6	15	21									
菊池●	幽○	芳	18	17	35	神戶●	正○	雄	14	17	31	清浦●	奎○	吾	21	16	37	上原○	勇○	作	13	16	29	徳川○	家○	達	18	23	41							
村上○	格○	一	10	11	21	小林●	秀○	恒	11	16	27	鍋木●	清○	方	23	15	38	高山○	公○	通	13	15	28	高崎○	親○	章	21	27	48							
東郷○	平○	八○	21	17	38	本間○	久○	四○	郎	17	18	35	加藤○	友○	三○	郎	24	17	41	黒田○	チ○	カ○	子	17	8	25	大内○	球○	三○	郎	7	24	31			
望月○	軍○	四○	郎	15	24	39	長尾○	元○	太○	郎	15	18	33	辰馬○	吉○	左○	衛○	門	17	35	52	住友○	吉○	左○	衛○	門	11	35	46	大内○	球○	三○	郎	7	24	31
風間○	幸○	右○	衛○	門	21	37	58	阿部○	市○	郎	兵○	衛○	門	19	38	57	久米○	田○	正○	之○	助	14	15	29	三井○	八○	郎	右○	衛○	門	7	41	48	他は略す。		

第四原則 五行の所屬 (性格と生理、病根の探究)

五行とは木火土金水の五者をいふ。五氣と稱するものあれども、五氣とは五つの氣候といふことで、暑さ、寒さ、風、乾き、濕りの五つをいふのだから、木火土金水の五つをば五行といふが宜しいのである。

五行の所屬は、其の文字の音聲によつて、音韻學上定められたる字性を見、其の命名者の形成されゆく性格を察し、生理上、社交上、適業の如何を考へ得るものなれども、兼ねて健康の状態をも推究し得るものであるから、或る論者の言の如くに、判断にも命名にも顧みずして宜しきものではない。却つて重んずべきものである。そこで姓名三字までは、字性(五行)の吟味は要せぬが、命名性格は照し合はす必要あり。姓名四字以上には、字性は三種以上を含ますべく、三種四種五種共に良格である。多くの書に、姓名の字性は二種を以て最大吉運とすとあるは、研究不足を寫し合ふものゆゑ、信する勿れ。

姓名四字以上は

五行一種二種共に大凶。三種四種五種は何れも幸運也と信すべし。我等は是迄の書の記述者の如くに、僅かに五百や六百の少数調査ではなく、實に三十餘萬といふ五百倍六百倍にも達する多數の調査に基くものゆゑ、的中率の確實を公言するもので、實に國民幸福増進の至誠に發するものであるを信用されし。

五行の歌

アヤワ土 サ金 ハマ水 タナラ火ぞ カは木と定め音に従ふ

で字性はすべて訓によらずに字音に従ふもので、各文字共に呼びはじめの一音によるのである。たとへば

- ▲織田信長 ショクデンシンチャウ (金火金火)
- ▲芥川龍之介 カイセンリュウシカイ (木金火金木)
- ◎大隈重信 タイワイチュウシン (火土火金)

◎大友眞津代 タイイウシンシンダイ (火土金金火)
 ◎益山波彌子 エキサンハビシ (土金水水金)
 の如しであるが、ジヂズは金火の別あり、彌の字の音はピ(水)である。卷末の字典に、音は片假名に、訓をば平假名にのせてあるから、就いて見られたし。

字性の定め方

は發音其の儘に従ふが自然ではないかと言ふ者があり、某會の副會長某氏の如きは、高橋是清氏の御家庭二十五名(女中さん達まで)の改名をして上げたといふ大層評判の御方で、我等の説を、夫婦名の陰陽まで併せて非難して居つたが、結果は實に悪くて、今では姓名學界を退隠された由。さもありなんと思はるゝ次第である。
 字性の定め方は、すべて字音に依るべき事、たとへば机腰掛本箱といふも其の木質たるに於ては何等の差別もなく、個鈍パン菓子糊……と其の名稱はちがつても、元來はひとしく澱粉なると同理なるが如しである。
 (信)のふとよんでも、まこととよんでも字性はシンの(金)、(榮)ひで、しげ、さかえとよみ方は色々あるが、字性はエイで(土)……とするが如く、すべて『音韻學の法則』に従ふべきである。

土性 (アイウエオ) 喉音、宮 性格、濃厚篤實にして忍耐強く、物事に拘泥せず熟考良圖能く衆を容れ、公平無私にして蓄積大成を期す。 病根は手足と胃腸

金性 (サシスセソ) 齒音、商 性格、嚴正を持するも苛酷ではない、報酬は勤勞に比例すといふ理性發達の資を以て總動員の活動をなす。 病根は口と肺臟

水性 (ハヒフヘホ) 唇音、羽 性格、萬事に適應性を有して忠實勤勉、川流の晝夜を分たぬが如き連續的至誠を以て、國家社會に貢献す。 病根は耳と腎臟

火性 (タチツチト) 舌音、徵 性格、猛烈にして鮮明を尙び、優柔不斷を排して直情邁進的なり。而かも速成を戒しめ自力を養成して事に當る。 病根は眼と心臓

木性 (カキクケコ) 牙音、角 性格、萬物育成を意味し、人物寛宏にして和氣仁愛に富む、從つて衆多の人望集まりて家門の光榮を生ず。 病根は鼻と肝臟

多くの書物に病根を三つも四つも記しておく。さすれば何れの中すべきも、我等は最も大事なるもの一つを記したのであるが、幾つも記してあるを符めるものではない。御推恕あれ。尙ほ舌音、喉音……といふ事、命名判斷共に必要無し。只古人の記述をあげたるのみ。尙ほクチビルの本字は唇であるが、こゝには通俗に唇の字を使用した。

病根に就て

前記、火性(名頭字)の人が全部心臓病となり、同じく金性の人が全部肺病になるといふではないが、其の名の人は其處に病源を發し易く、常に其處をば大切にすべきである。而かも病根が其處に宿りて、永く全快せぬ様の場合には、他の良格に改名して、其の病根がひとりてに枯死すといふ靈理に順應すべきである。而かも何性の人が何病にかゝりても醫療看護を盡すべきは勿論の事である。

五行の特性

古への學者の調べたるものに、左の條項がある。今、人名と病症とに就ていふならば、木性の人は春に病ひを發し易く、而かもそれは肝臟を冒され易いのである。食膳に供する菜についても、春は平常よりも酸い物を少しく量を増して載すべきであるが、此の

五行特性表				
五行	時季	方位	色彩	五常
(木)	春	東	青	仁
(火)	夏	南	赤	禮
(土)	土用	中央	黃	信
(金)	秋	西	白	義
(水)	冬	北	黑	智
				病源
				五味
				缺點
				肝
				心
				胃腸
				肺
				腎
				酸
				苦
				甘
				辛
				鹹
				横暴
				性急
				因循
				詐謀
				憂鬱

名の病者にもヤハリ其の心あるべく、金性の人が秋季に病ひを發して肺なるときは、特に々々大事にして、辛い物を平生よりも少しく量を多くして用ふべく、而かも醫療の効果を認められぬ場合には、改名の上に、更に一層療養を厚くせねばならぬのである。

火性(夏季)にも苦いものに就て、水性(冬季)にも鹹い物に就て、其の心得あるべく、土性(土用)に就ては甘味を要する事、甘い物はとかくに其の量を過し易いから、これは特に其の用量の多すぎぬ注意が肝要である。而して又前記の人々からいふ時は、常に缺點におち入らぬよう之を矯正し、五常の道を遵奉し、至誠を捧げて、神佛の靈助即ち天佑を奉戴するの篤志がなくてはならぬのである。

五常の順序(仁禮信義智)は加藤唯堂先生の著『運命の解剖』昭和十一年十一月發行、三四頁によつて訂正したので、『名つけ字引』根本圓通著、(昭和四年十月初版發行)と異なるを御容忍あれ。

土用に就て、初心者は夏季に限ると思ふらしいが、土用は滿十八日づゝ四季にありて、即ち一年には滿七十二日間あるのである。(昔は春夏秋冬土用共に七十二日間づゝ五つで、一ヶ年を大略三百六十日と算へてゐた)春の土用終れば立夏となり、夏の土用終れば立秋となり、秋の土用終れば立冬となり、冬の土用終れば立春となる。(冬の土用終りて立春の前夜は即ち節分也)

五行の生剋

五行易などにいふ、木生火、火生土……金剋木、火剋金……などいふ事は、我が姓名學には顧みる要無く、換言すれば五行相生の命名は從順に過ぎ、五行相剋の命名が彼此相制して、却つて奏效の働きを生ずと見ることも出来るのである。約言すれば前記の如く姓名四字以上には、五行は三種以上を大吉とすの一語を以て充分也と心得べし。即ち五行は出来るだけ多種を採用すべく、姓名三字以下でも多種を理想とするものである。

異音の文字

支那の地名、上海、香港、芝罘、青島、漢口……の如きは、我等のよみ方とは大いに異なること、誰しも知り居る處なるが、(12122)の新聞に『映畫滿洲』世界進出といふに、王丹(三)、呂靜貞(一七)、候飛雁(一九)、姚冰如(一八)、呂露霞(三)、程次郎(三)、王文瀾(三)……など見えた。こんなよみ方は我等には無關係とす。

我等の判断には惠(ケイ木)、仁(ジン金)、會(クワイ木)、日(ジツ金)……の如き、よみ聲の如何によつて字性の異なるを確かめてなすべし。

何左衛門、何右衛門の衛門や、何兵衛の衛は同じく意味軽ければ、各々上の二字を見て宜しく、何之助、何之進、何之丞……の如きは眞中の之の字が意味軽ければ、性格の判断には省きて差支無し。

また或る人が左記の字性を天地（姓の上文字と名頭字）にあてて、實地に試みたるに、十中の八九は的中する由。「萬象歸一」で、雨あられ雪や氷とへだつれど落つれば同じ谷川の水。別け登るふもとの道は多けれど同じ高ねの月を見るかな。法律家が見ても、宗教家が見ても、道徳家が見ても、善人は善人、悪人は悪人であるが如く、名前の性格を天地より鑑察するも殆んど等しき靈理の發現、むしろ自然の合致と謂ふべきか？

木木（忍耐努力） 能く準備を整ひ時節到来を待つ。
 木火（職務忠實） 精神確固に至誠を捧げて所信を實行す。
 木土（不屈不撓） 堅實にして自力を養成し活動を續ける。
 木金（義侠旺盛） 正義を尙び弱を扶け強を挫く貴重の人材也。
 木水（執着晩成） 理性漸次に發達して合理的力行動勉也。
 火火（剛毅熱心） 因循姑息を嫌ひ鮮明を尙びて奮闘す。
 火土（濃厚良圖） 大事小事を辨へ着實勉勵希望を貫徹す。
 火金（献身奉仕） 理義を重んじ先見の明知を遂行す。
 火水（水火相剋） 大成を期しての苦心活動も誤解され易し。
 火木（注意苦心） 至誠奉公職責に盡瘁する貴重の人格者也。
 土土（公平無私） 濃厚篤實にして公益を圖る思想堅固の人物也。

土金（沈黙勤勉） 公共の爲には私慾を離れて盡力する貴重の人格者也。
 土水（周密持久） 成事は忍苦奮闘に生ずといふ實行實現者也。
 土木（熟慮實行） 先覺を以て自任し世評をも重んじての實行者也。
 土火（蘊蓄發表） 所信に努力し實績を積み人世を裨益す。
 金金（強壯奮闘） 貴重の構成なれども他に缺陷ある時は殺伐となる。
 金水（創作發揮） 千字文にある『金生麗水』のめでたき暗示により創作的天才を發揮す。
 金木（博愛益世） 利益もあるが利益よりも名譽の人材である。
 金火（銳意奮勵） 花々しき實現を期して勇往邁進す。
 金土（襟度明快） 眞面目に本分を盡して光風霽月の也。
 水水（漸進發揚） 計畫に天祐を受け意外の實績を擧ぐ。
 水木（硯水有縁） 文墨的藝術に適する才能が具はる。
 水火（水火相剋） 普通業務よりも特殊業務に適材なり。
 水土（濟美有終） 此の命名は特に其の文字の意義の性格となる。
 水金（自力發展） 他力を待たずに自力發展の氣槩的才能を發揮す。

以上は實に大要である。（金金）には限らず、他の條件に缺陷あるときは、この記述と異なる不運を招くに至るべければ、他の條件をも重んじて命名すべし。

之を判断に用ふるときは『氣短かのくせに晝寝の長さかな』で人間の性格には誰しも矛盾撞着のある事を考へて、

其の心して、靈理の所見を斷言して可なり。

たとへば、人は誰でも早起させねばならぬ、イヤ／＼今少しは寝てゐてもよろしいといふ様な、二重の心があると
同様に、儉約は大切だがイヤ此の位は費しても宜しいといふ様な心があると同様に、一方に悪しと思ひ、一方に善し
と思ふ二重の心が働くが如く、同じ姓名中に陰陽は宜しいが、五行は大凶だとか、畫數は良格だが陰陽が凶悪だとか
いふ、イハユル矛盾が含まれてゐるのが多數にある。これを自然に放任すると、農作物が雜草に負けると同様に、良
格が凶格に負ける事が多いに依つて、凶格の一つが良格の二つ以上を害するかも知らぬから、姓名判斷には其の心し
てなすべく、新たに命名するには全部の良格を選ぶべし。

火 水 相 剋

前記に、五行の生剋と題して、木生火……火剋金……など深く意に介せずして可なりといふたが、(水火相剋)
(水火相剋)は之を避けるが安全である。聖人孔子は「水火は相剋に非ず」といはれたり、明治初年翻刻の三世相
にあるさうだが、我等は孔子の言に反對するにあらず、經驗よりいふものであつて、これは男名よりも女名に多く出
來易いから注意するが良い。

火	タチツテト ナニヌネノ ラリルレロ	(火水)	タマ タミ タメ タヘ ナミ ナホ ツマ ツハ テフ
水	ハヒフヘホ マミムメモ	(水火)	ハナ ハツ ハル ヒロ ミチ ミツ ミナ ミネ ミノ

タマ ハナ は何れも第一音の命名ゆゑ、相剋の凶運殊に大也。但し人妻となりて、夫婦名相性となると、タマ

ハナも差支なく、又タマエ タミヂ ハナノ ハルエ トミヨ……など、すれば、多少は趣きが異なるのである。

■淋病(火水) 梅毒(水火) 病氣に良いものは無いが、殊に此の二つは恐ろしい。子孫を絶やして了ふからであ
る。この二つは素行正しき人々には無いのだから、人は誰でも品行方正なるべく、この二つの病名の(水火相剋)な
るも一顧の値ひあるべし。(病魔退治の事は後にあげる)

■鼻音の(ン)は普通土性にするも、むより出たとすれば水となり、にの變化とすれば火となる。スルト(ン)は土
火水何れにして良いか不明である。それは奥様が藝妓か令嬢か不明の女はクセモノなると同理である。男の仙賢動源
傳……の如きは差支無きも、女のハン モン セン マン……等の如きは付けぬが良い。但し本字の、仙子、欣子、
勤子、順子……の如きは差支なし。

生年の五行と命名の五行

生年には一白水星、二黒土星、三碧木星……とか、大海水、柘榴木、山頭火……などいふのがあり、昔からそれに
合せて命名すべきもの、様に思つて居る人もあるが、姓名學は姓に對する名前の良否を講究するものであるから、右
様の心配は要らぬ。但し照し合せたとて害は無い。これは何れでも其の人の任意が宜しい。但し姓名學とは姓に對す
る良名をつけるが學問の役目である事を深く強く記憶しておくべし。

五行一種凶惡の例

- ×澁川善助 シフセンゼンジョ (金金金金) 二・二六事件で死刑十五人の一人、
- ×松井千枝子 ショウセイセンシ (金金金金) 松竹のスター逝く、三十一歳、
- ×井上準之助 セイジヤウジュンシヨ (金金金金) 元藏相被害即死、

▽小沼 正 (金金金) 右殺害犯人、

(昭和729) 金性ばかりの井上準之助が、金性ばかりの小沼正に、金解禁問題で、金属製のピストルで射ち殺されたは、金に關するよくの悪因縁であつた。

但し小沼正は(金金金)の爲にあらず、姓名16畫の大凶に因るものである。

▲井上準之助の姓名に就て(昭和四年の春)某大家の著書に、完全無缺の良格であるとはめ上げられたので、井上氏は如何なる事をして差支無しと自惚れて、金解禁を断行したのかも知らぬ。果して然らば、春秋的筆法にすれば、井上氏はその某氏に殺されたるもの也といふても差支無い事になる。某式姓名學は實に國民を禍ひするものである。我等は一日も早く井上氏を賞め揚げたその人が、自己學說のアヤマリを撤廢して、我等の靈理學に順應せられんことを望むものである。

『悪銭身に附かず』 『貨停りて入る者は亦停りて出づ』

金によりて人の値うちはすぐ知れる金は心の試験なりけり

五行二種凶惡の例

- ▲天岡直嘉 テンカウ チョクカ (火木火木) 元賞勳局總裁有罪
- ×高橋太郎 カウケウ タラウ (木木火火) 二・二六事件で死刑、
- ×日向康二 ニツカウ カウ (火木木火) 漢音ではジツカウカウジ(金木木金)

(141017)日 三井紐育支店長 三十七歳、定期バス衝突即死と報ぜらる。

この姓名は五行を凶惡と見れば、豊臣秀次(二十八歳自殺)と共に解決は着かぬ。

五行凶格の大要(姓名三字以下は之を論ぜず)

- 一 無調和 (金金金金) (木木木木) (火火火火)………大凶
- 二 中折 (火火金火) (金金木金) (火金土金)………大凶
- 三 偏多 (火金金金) (木水水水) (金火火火)………大凶
- 四 別々 (水水金金) (木木土土) (火火木木)………大凶
- 五 挾撃 (土木木土) (木金金木) (火金金火)………大凶

右の中折と挾撃の場合には三種ありても大凶也。五行別々とは五行が二字づゝの別々をいふ。五行では(五行三二)が一番に凶惡である。(五行三二)とは姓名四字にして、同性三字異性一字の構成をいふ。それでそれは名前が同種の構成は最大凶惡。名前が異種の構成は(五行三二)でも半吉とす。尙ほ半吉は他の條件良格ならば大吉となる。

五行中折凶惡の實例

- (2724)各×芥川龍之介 112334 (木金火金木) 文士毒死す。編者が處女作「姓名學大意」を公にした十日目であつたので感殊に深し。
- (1218)日×山本喜美子 82432 (金水木水金) 婚期の後れたを苦にして毒死す。淀橋區諏訪町五九
- (1235)日▲中島要太郎 142337 (火火土火火) 少年不具を嘆いて服毒キトク。澁谷區公會堂通り一一、(備考) ▲父中島道太郎 141741 は(火火火火火)なり。
- (12316)よ×田中仁太郎 91827 (父の酒亂をいさめて青酸カリ自殺をとぐ。下谷區入谷町二一六、父田中幸太郎 92231 (火火木火火)と母マツとは夫婦名相剋大凶であり、

長男仁太郎と二男政一 9 10 19 一。とは兄弟同格で一家全部凶名である。

山本以下は僅かに二ヶ月餘の記録なるが、次に大々の疑問をあげる。

(14 10 7) 各▽前谷津義政 25 22 47 二 (金木金木金) 東茨城郡長岡村生れ無職、強窃盗前科二犯、土浦町榮町カフエー福住の主人福住福三郎(三)を女給を世話してやると欺きて誘ひ出し、長岡村の俗に百里ツ原と稱する山林中に於て殺害して百八十圓を奪ひ、死體をバラ／＼にして野菜籠に詰め、結城町の神明橋から南に一町餘離れた竹藪に棄て、一時は東京にも入り込んだが、遂に古河町に於て逮捕せらる。

『正名法』に照せば殺された福住福三郎の陰陽は妙法蓮華經と同格の良名であり、『崎式』に照せば加害者は左記の通りに良格であるが、如何のものにや？

▽前谷津義政 23 24 47 21 人外地 天人地 (田炎根) 何處にも缺點無くして福住福三郎を殺害す。

▽伊庭想太郎 23 24 47 31 六三一 全部前谷津義政と同格の良名にして星亨を殺害す。

■伊庭想太郎は星亨を殺害して集治監に入れられ、監内に於て日夜前非を後悔し、精神的に悶死を遂げたる無上の凶運者である。此の一事を以てしても、●崎式は無益有害なる事明らか也であるに、門人達は我が●崎○翁聖師は門人七百名ありと稱す。話し半分聞いても三百五十人であり、十分の一にしても七十名あるに、其の多數の人々一名として師匠に諫言を呈する者は無きか？

孝經に曰く『昔は天子に争臣七人有れば無道と雖も天下を失はず。諸侯に争臣五人有れば無道と雖も其の國を失はず。大夫に争臣三人有れば無道と雖も其の家を失はず。士に争友有れば身令名(名譽)を離れず。父に争子有れば身

不誼(不義)に陥らず。』というてある。

我等は●崎氏の多數の知友や門人中に、イハユル争友、争子の無いこと道の爲に寂寞の感に堪へぬものである。

五行三一の吉凶區別(故小野貴愛氏の調査三百餘名中より)

◎上杉鷹山 10 27 37 (金金土金) 昔の米澤藩主。◎上杉憲章 10 27 37 (金金木金) 舊米澤藩主。等は吉運で、

×豊臣秀次 24 13 37 (水金金金) 二十八歳自殺。×本多忠朝 11 20 31 (水火火火) 三十四歳戦死

……等は凶運である。■豊臣秀次は伯父の豊臣秀吉(水金金木)と字畫は全く同様であり■本多忠朝も父の本多忠勝(水火火金)と字畫は全部同様であるのだから、字畫の一點張りでは判断がつかぬ。

×福島敏夫 24 15 39 (水火水水) (8 6 10) よ、十歳にして水泳溺死。東京市深川区平井町二ノ二〇綿商清吉長男。

×鳴島敏夫 24 15 39 三(13 8 24) 羽田飛行機大森の上空で衝突墜落、タンク爆発即死二十五名、入院後の死亡者までには八十二名となつた其の一人。同區大森町八ノ四九八八豊島工場見習工で、畫數五行共前者に同じ。是亦(水火水水)の(五行三一)といふを加へねば何れの姓名學でも解決はつくまい。■五行二種を大吉としたり、■五行を顧みぬ姓名學はアママリといふべきである。

内閣總理大臣の五行

谷本元理事の調査によれば、我國の首相は岡田啓介氏が第三十二代目に相當したが、三十二代中姓名四字以上の

(五行二種)は高橋是清(木木金金)と岡田啓介(木火木木)の二名に止まる。而かも二名共に凶運であつた。之を見ても五行二種大吉とする従來の姓名學は謬りであつたといふべきである。

◎五行三種名譽の實例(幾百中よりホンの一例をあげる、以下皆同じ)

- 東郷平八郎 21 17 38 (火木水水火) 清浦奎吾 21 16 37 (金水木木)
- 神野金之助 21 18 39 (金土木金金)……

◎五行四種名譽の實例

- 野津道貫 20 25 45 (土金火木) 加藤友三郎 24 17 41 (木火土金火)
- 風見長三郎 16 21 37 (水木火金火)……

◎五行全有良格の實例

- ◎三越呉服店 15 23 38 (金土木水火) ◎松屋呉服店 17 23 40 (金土木水火)
- ◎松坂屋呉服店 24 23 47 (金水土木水火)
- ◎山口吉郎兵衛 6 39 45 (金木木水火土) 日本生命保險會社長(五千萬)
- ◎牧野元次郎 19 20 39 (水土木金火) 不動貯蓄銀行頭取(八百萬)
- ◎小野塚喜平次 27 23 50 (金土火木水金) 東京帝國大學總長 法學博士
- ◎荒木寅三郎 14 24 38 (木水土金火) 京都帝國大學總長 醫學博士

- ◎北垣恭次郎 14 26 40 (水土木金火) 東京高師教官 歴史の大家
- ◎平沼一郎 13 29 42 (水金木土火) 樞密院議長 法學博士男爵 (官界)
- ◎米村嘉一郎 13 25 38 (水金木土火) 赤化防止團代表者 (民間)

他は略すが、以上を見ても、五行全有が、生命、財産、學徳、思想の各方面に夫々慶賀の事實を物語り、某々學派の五行多種ならば、精神錯亂して統一を缺き、物事成就せずといふは愚論なる事明らかである。

この五行の記述は舊稿にして、本會では久しき以前より平沼閣下を名譽會員に推薦して居るが、男は昭和十四年一月四日、近衛内閣辭職の後を繼いで、總理大臣に親任せられ、七十三歳の高齡を以て尙ほ壯者を凌ぎ、國民の總親和總努力を鼓吹し、所謂興亞建設の偉業に當られたが、同年八月末、盟邦獨逸が獨ソ不可侵條約を締結するや、直ちに責を負うて内閣總辭職を斷行された。各新聞は筆を揃へて、辭職をせずとも良いのであるにと男の清節を賞揚されたが、出處進退を明かにせらるゝ事、實に我等の儀表と爲すべき尊き人格者である。

- ◎鴻池善右衛門 23 41 64 (木火金土土水) 七千萬富豪
- ◎住友吉左衛門 11 35 46 (火土木金土水) 二億富豪

兩男爵家、名頭字の善も吉も共に慶賀無上で、共に天地順數、陰陽全く同格の善良配置で、一は右衛門、一は左衛門、兩々相並んで大黒恵比壽の觀あり。共に五行は全有である。五行全有は日用品全部揃うて萬事不自由なき良暗示である。

◎和氣清麻呂 18 29 47 (土木金水火) 麻は俗字で實際は麻呂と二字に書くべきである。麻呂は別に丸とも書く。貴族の男子の意味である。公の姓名は衆と親和する氣質を有して清廉を旨とする麻呂(男子)なりといふ意義也。

當時^{〇〇}弓削道鏡といふ僧（名前32で姓名は44）大臣禪師といふ人間無上の顯榮に満足せず、天位を覬覦するところありしが、和氣公は國家 皇室の御爲に其の大非望を挫き、一時は道鏡の爲に大隅に貶流の大難に遭遇せしが、後には忠誠を認められて都に還り、桓武天皇の勅命を蒙りて、京都の市街を創設せり。公が陰陽凶格の吉化は、全く土木の良能に依るものと見るべく、一命を捧げて國體を明徴にし、皇位を泰山北斗の安きに置き奉りたる、其の貢獻の大功勳は、今や護王神社祭神として、永久に其の光譽を輝かす。五行全有尊い哉。

君なくは豊葦原やいかならむ弓削の川風吹くかまに〜

板垣源次郎（水土木金火）

作者板垣源次郎先生は群馬縣伊勢崎の人、自勉自學を以て、文部省の中等教員免許狀數枚を受けられ、茨城師範教頭より同縣立龍ヶ崎中學校長として十餘年間盡されたる人格者である。嘗て五六の師範生が先生の宅を訪はれて、先生はよく試験をお當てなさるが、何か秘訣でもあるのですかと問ひたるに、先生は暫らく首を傾けて居られたが、「覺えてゐて書くんですネ」と答へられたと一つ話に残つてゐる。「覺えて居て書く」これこそは萬世不變の受驗の秘訣!! 何事にも爾うありたきものである。先生の姓名、和氣公と（五行全有）の合縁奇縁。慶賀々々。

▲●崎式 大運神の靈動

●崎式姓名學は、姓名吉凶鑑定に五行などいふものは用ふるに及ばずといひながら、御自身にもヤハリ五行の生剋を用ひてゐる。而してそれを「大運神の靈動」と稱して、大運神の靈動は千餘種あるのだから、これを知らぬ者は命名選名の依頼に應ずるを許さずなど、オビヤカシてゐる。

其の大運神靈動の組み立ては、すべて端數の一二を木、三四を火、五六を土、七八を金、九十を水とするものであるが、木火土金水では人に氣づかれるからとて、根幹林光炎煙陸田丘金石玉河海洋……等の文字を用ひてゐるのだから、其の組合が錯綜して、千餘種に達する筈である。

鑑定に當つて右様の文字を使用する者は、皆其のお仲間であつて「大運神の靈動」は實に他愛のないものである。其の式の善良姓名から、短命、凶運、犯罪の續出する事が「論より證據」であつて、昭和四年一月●崎式姓名學の發表以來、昭和十四年十二月迄十年十一ヶ月間に、其の式にしての完全姓名（勿論御自選のもの迄を含む）で短命、凶運、犯罪の累計二千一百三十八名に達し、尙ほ毎月々々増加しつゝあるのである。■●崎式姓名學、禍ひなる哉。

第五原則 字畫の運數（運命の吉凶）

名前の畫數で前半生（大凡三十五歳頃まで）を見、姓名畫數で後半生の運命を判するのであるが、姓名畫數が前半生を支配し、名の畫數が老年に影響する者もあるに依つて、斯學の理想としては、名の畫數も姓名畫數も、兩方共に吉數を希望する。

某姓名學者は姓の畫數吉凶を云々するが、それは謬見である。姓は幾畫でも吉凶を論ぜず、只姓名畫數として見るときに、凶格にさへならねば宜しいのである。換言すれば「日本には悪い姓は無し」といふ事になる。名を諱みて姓を諱ます……と業に已に述べられてある。（本書のはじめの先哲の命名觀、參照）

姓名學は九九八十一畫を一團とするものゆゑ、八十二畫以上は八十一畫を減じ、その殘數を以て吉凶を判すべし。八十畫を減する學說の姓名學は易學より發したりと稱するも、九九八十一畫を一團とする姓名學が、八八六十四卦の

易學より出る筈は無く、其の差十七あるに、斯くいふは源義経は平清盛の長男也といふに等しく、虚偽の甚だしきものである。

六〇

又數の本源は易學であるのだから、易學に關係無しといふ姓名學は決して成り立つものでないといふ愚論(暴論)を吐くも林八圓(三十二畫)といふ易者の如きは、實に々々濟度し難き頑迷である。なぜならば其の説の如くに數を1より8まで(八拂法)としたならば、9といふ名前のつく數(十九人とか貳拾九圓とか)は現はす事が出来なくなる。數は1より9までとりの十箇の符號によつて現はさるゝものである事、小學兒童と雖も知つて居る筈である。今日では當然獨立し得る力を有する靈理學(我等が多數會員と永年間)に對して、易學の説明を貸さうとするは實におせつかい千萬といふべく、實にありがた迷惑である。

◎姓名學は

$$\frac{30 \times 30}{9 \times 9} = \frac{900}{81}$$

と進歩的(陽性)に八十一畫を全能とし、數の進む様が結婚式の三三九度の祝盃に好縁あり、發祥の3の數は即ち〇〇〇にしてこの丸に上中下、始中末……などの名稱を付けるとき中心點ありて確實慶賀の意義を有す。

○易占學は

$$\frac{4 \times 4 \times 16}{16 \times 4} = \frac{256}{64}$$

と固定的(陰質)に六十四卦編成で、出發の4には司の吉意もあるが死の凶義もありて不安を暗示し、4の數●●●●は上下に二つづゝとなりて中心點なく換言すれば永久的主人格の無き不安にして不確實性を有す。

文字の構成と其の書體

『六書』に就て、その名目はいろいろあるが、先づは次の如きが普通である。その内一と二は篆書ならばよく判る

が、こゝには楷書であげる。

一 象形 日月山川艸木魚鳥……

二 指事 一二三上下左右本末……

三 會意 且タン あした よあけ 日が地平線上にあらはれたる意、

東 トウ ひがし ひんがし 朝日が少しのぼりて木にかゝりたる意、

杲 カウ たかし あきらか 日が木の上に高くのぼりたる意、

杳 エウ はるか くらし 夕日が木の下におちたる意、

孝 カウ よし たかし あつし 子が老人を背負うてゆく意、

林 リン はやし 木が多數並び立てる所の意、

森 シン もり 林よりも木が高く見える所の意、

轟 クワウ とどろく 車の多數のひゞきの意、

信 シン まこと 人の言にはまことあるべしとの意、

鳴 メイ なる なく 鳥が口にて音を出す意、

本字にはこの類最も多數なり。

四 諧聲

(形聲) 文字を結合して音や義をあらはす、

江河 頭歌 連箭 娶忘 問問 輿衡……

五 轉注

金の字、金革(武器) 金石(樂器) 金錢(貨幣) 金城(堅固)

引、芳賀矢一の新式辭典、高田忠周の日用漢字正解、樋口銅牛の漢字雑話、
貫を12畫とするもの 吳讓之隸書、重訂六書通、澁川玄耳の文字及書道、長三洲先生の眞書正氣歌、
實を15畫とするもの 畫引十體千字文綱目、高田忠周の日用漢字正解、長三洲先生の眞書正氣歌等々、

字畫正見の大略

- 字畫の正格 乙1 七八九十乃2 才之弓子3 五六及牙片4 四巨出世凸凹卯永
- 巧5 充共好臣收丞糸油6 求秀成壯佛弟步延阪7 初武卷券昂奇函泳阿8 政致巷姬
- 盈俊者即茂9 修勉泰流級眞兼郎10 強崎將部造通11 善惡卿富淵異盛菊貫越12
- 肅僊與勤塚熙補裕著郷逸達道甞鼎13 滿誠齊壽14 寬實廣確養澄15 衛衡與穆龍龜16
- 舉冀洲濱齋17 謹翼豐藏18 關邊19 寶勸繼譽覺20 灌覽護鶴21 鑑鑿22
- 顯體體驗23 靈24 觀25……

政は九畫也 正名閣副會長 正名學士 根本 雅堂

正の字は一に止まると書いて、正しいものは世の中に二つない意味であるが、一は一、止は四であるから、正は五畫である。それ故に正の字は何處にありても四畫ではない。丁度我等の指は五本にして、懐手よこてしても五本、手袋の中うちにありても五本なるが如く、正は征では右側にあるが五畫で、征は8畫なるが如くに、政では正は左側にあるがやは

り五畫で、政の字は九畫也。政を八畫とするはアヤマリである。

編者曰く、根本は文字構成に就て一隻眼を有すといふべく、これ我等の首肯する處である。又曰く、政は通俗的には正と文との合成文字と見て良い。正しい文句文章が、政の本であるからである。政は正文にして九畫也。

字典「新字鑑」 文學博士鹽谷 温編

(昭和14.2.25) 東京神田神保町二ノ弘道館から、はじめて發行になつたものである。衣偏を五畫にしたは惜しむべく、一字一字の畫數はヤハリ康熙字典のやうにアヤマリもあるが、三水を3、草冠を4、肉月を4、小里大郷を3、之統しんどうを4……として▲字畫謬見者に一大痛棒を喰はして「字畫の正見」を確立されたる功績は、我等の大々的に感謝の誠意を表する所である。

垂は九畫が正見也 審議員 正名大學士 佐藤 艸 觀

垂の類字(中央部の左右は何れも十にして各文字共に十の字を二つ含む)は左記の畫數を正見となすべきである。
即ち 華ナ 華ナ 樺ナ 譚ナ 韃ナ 驛ナ……垂ナ 捶ナ 睡ナ 鑿ナ 鍾ナ 郵ナが正見也。

恩師(圓通を指す)の著書にも垂8 郵11 とあるは垂ナ 郵ナ となるべきを信ず。

圓通曰く、謹んで了す。今後は右様に改めます。尙ほ佐藤氏の原稿には各文字の篆書てんしゆを一々明らかに書かれてあつたを、こゝには楷書のみをあげたる事、佐藤氏並に讀者各雅の御諒恕を希ふ。
尙ほ「人生幸運、名つけ字引」一二頁二行に坊六畫とあるは七畫である。(品川區上大崎二ノ五五九福島新氏御通知)

同書九〇頁末行に霍十三畫とあるは十六畫である。(大阪市外豊中町山口善通氏御通知) 併せて謹謝す。

六六

充の字は六畫也

充滿の【充】これまでは多くの字書に、五畫としてあつたが【新修漢和大事典】文學博士小柳司氣太著、東京博文館發行、昭和十一年二月の増補版一三六頁には【充】六畫が正字也とある。それより七年前の昭和四年の秋、編者が【名つけ字引】に充を六畫としたは、神佛の靈威による先見であつたと自賀するものである。

我等は多數會員諸氏の研究によつて年毎に斯學の大成せられつゝあるを、國家發展上、まことに欣快として、出藍の譽れを輝やかす人々の續出を翹望するものである。

運數の見解

1は父也、2は母也、3は産也(子也)、4は仕、司にして而して死也、56789は各々其の役目に應じ、10は充也みつる也十分也、滿つればかくるの空虚を意味す。

1といふ父があれば必ず2といふ母があり、3は産也といつて産で生れた子は、4はシ也で何等かに仕へ何等かの職業を司どり、而して後には必ず死す。

何事も偽り多き世の中に死ぬる事のみ誠なりけり

で死は誰でも免るゝ事は出来ぬ。それ故に人は誰しも、爲すべきだけの事を、眞面目に熱心に成し遂げて、後悔なき死に達すべきである。

運數の吉凶

◎印 大吉數は身體健全、思想確實にして、自己の職責を果し、衆望集まり福德壽の三運、意の如く、子孫繁昌、名

譽萬世の幸運格也。

▲印 大凶數は身體虛弱なるあり、短命なるあり、思想動搖して定まらぬあり、種々の厄難にあひ、或は變死横死と

なり、詐欺横領、窃盜強盜となるあり、放火凌辱殺人の大罪を犯すに至るあり、終生不安の凶運格也。

○印 吉運數は天地陰陽五行等の良格は大吉運となるが故に、安んじて命名して可なり。但しそれらの條件の凶格は凶運となる虞れあり、判斷上にも深き注意を要す。

1◎(團體首領數)健全有徳權威を具有する萬物の根源にして、偶るゝを起し隠るゝを顯はす名譽不朽の幸運數也。

2▲(分離破壊數)萬事萬物とまれば團結して一となるが、二は別れて相反する意味である。二は他にそれと同等のものありて何れが眞なるかと迷ふの暗示也。獨立の氣象乏しくして辛苦絶えず。

3◎(増殖繁榮數)福德壽、智仁勇、天地人、大中小、佛法僧には限らず、三友、三公、三元、三役、三家、三郷、……等三を以てすべてのグループの統轄語とせらる。豊富股脈饒多の出發點たる慶賀數也。

4▲(萬事休止數)進退の自由を失ひ、虛弱不具短命等の不幸を招き、家庭運の破るゝ大凶數也。我が國技と稱せらるゝ角力道に於て四本柱の中に入れば死も亦止むを得ずとの定めあるを忘るゝ勿れ。

5◎(正道貫徹數)中正不偏にして誤らず、財に富むか名に輝くか、名財兩つながら有するか、何れにしても偉大なる成功の光榮數也。

6◎(福壽榮門數)集る、増す、伸る、備はる、施す、喜ぶといふ家庭賑はふ幸運數也。

7◎(全般整理數)輔佐、質疑、明辨、整正、有備、篤行、實現の貴重數也。

8◎(勤勉發達數)八の字は其の形富士山に似て末程廣まり進むの象、音韻は發と同じく發展發揚の無上幸慶數也。

六七

9 ▲(困苦窮乏數) 算盤上では九は一を得れば自分の地位を失うて空となる、換言すれば働いて損をするといふ不運數也。家庭運破るゝ者多し。

10 ▲(充滿損毛數) 十に通ずる拾はひろふと讀んで物を取りまとめる意義なれども、十は一括の止まりにして、自己は終りを告ぐる閑散の寂寞數也。短命か、早く父母に別るゝか、子女を喪ふか、子持たずか、家庭運破るゝ事九に同じ。

星一 山口十八

11 ○(春陽伸展數) 草木の春陽に伸るが如く事業順序よく發達し、衆人の歸依厚く、家庭賑はひ名譽輝く幸運數也。

12 ▲(家庭寂寞數) 病苦厄難等意外の災害來り、家運破れて淋しさに泣くといふ不運數也。

13 ○(才智成功數) 智略に富み萬難を排除して成功し、衆人の尊敬を受くる幸福光榮の名譽運數也。

14 ▲(失意煩悶數) 變難重來の凶暗示にして家庭の淋しくなること12畫に似たり。虛弱なるか、短命なるか、物質を失ふか、名譽を損するかの凶運格也。

15 ○(信用立身數) 職務上の實力を具備し、思想堅實なる勤勞を認められ、確實に福德を得る幸運格也。

16 ○(吉凶兩分數) 16を名前にして他の條件宜しきは幸運なれども、他の條件凶ならば不運となる。姓名16畫は恐るべき凶運者が多い。命名判斷共に注意すべし。▲高丸了一 改名後四ヶ年間に長男二男及び妻を失ひて獨身となり、更に他の良格に再改名をした事實がある。讀者各位にも知人につきて試めし見られよ。

17 ○(剛柔兼備數) 17は數學上素數と稱して何等にも割り切れぬ強さを有し、世界に類無き日本特有の俳句の字數に同じき優雅を兼ねたる慶賀數にして、南京城は勿論、武漢三鎮その他各地に日章旗の翻る 聖代の年號昭和の十七畫と同様なる特に有意義也。我等は我等の研究する正學を弘めて 國家海岳の鴻恩に報ゆべき也。

18 ○(内外有運數) 正義の二文字の十八畫に等しきこの數は、表面的にも裏面的にも幸運也。但しすべての數「善因善果、惡因惡果」の眞理に基づき「驕る者は久しからず」の至言を忘るゝ勿れ。

19 ▲(辛苦重來數) 禍難絶え間なく健康財産名譽の三方面に破綻を生ずる凶運也。 中岡良一

20 ▲(空乏二重數) 零を重ねる凶惡暗示にして、人の一番大切なる生命と財産との兩者をば保てぬ凶運數也。 石田三成

21 ○(質實剛健數) 三七二十一日を産屋明きと稱し、數へ年の二十一歳を徵兵適齡とす。21は身體健全、精神確固、希望貫徹の強運格也。

22 ▲(兩士鬪爭數) 勞して效無き不運數也。生命財産の一つを失ふか、或は命財二つ共に失ふかといふ不運格也。命は名に通じ名譽を失ふ事にもなる。

23 ○(排難頭領數) 智略に富みて果斷の勇あり、衆望を得て棟梁(頭領)と仰がるゝ慶賀數也。

(注意) 名前の23畫は諸人に良し。一字名の姓名23も良し。姓名三字四字の天地順數も良し。其の不順は恐るべき大凶。名前に凶數を含むこの數には凶運多く、人の妻たる姓名23は最大凶惡にして婦人では第一等の凶運となる。姓名五字以上の23畫は他の條件吉にても凶運也。■人の妻にても名の23畫は差支無し。處女時代の23畫も差支無し。

23 畫を譯け無しに大吉と思ふと大變が出来る。大々的に注意すべし。

24 ○(收實豐饒數) 畫策宜しきを得勤勞に依つて無より有を生ずる幸福光榮の慶賀運數也。但しこの數は最も天地陰陽の影響を受け、殊に陰陽の凶格者は恐るべき大凶となる。さりながら信仰上高天原、桃太郎などと同様に畫

数の(10 4 10)となるは差支無し。但し天地不順の構成は大凶變を發生するを忘るゝ勿れ。繰り返して言ふ、24の大吉數は天地陰陽五行等の凶格は大凶に變ずと。

七〇

25◎(剛毅獨斷數) 極めて強硬なる正義の所有者にして他人の忠言を用ひざる缺點あれば、其處に注意すれば成功疑ひ無し。この畫數の人は、先輩親友等に顧問格の人を作りおきて大事に際會せば特に意見を聽くべきである。而して天地陰陽五行の凶格の凶運となるは前の24と同様也。

26○(希望達成數) 努力によつて成功の幸運者も少なからず、26畫は怪奇英雄數とも稱せらる。多くの書に大凶とあり。我等も從來は大凶と記したるも、今や會員の研究によつて訂正するもの也。信用せられよ。

山内 一 豐 7 19 26 賢夫人のために立身出世の事知らぬ人無し。但し名 19 は前半生の凶運を意味す。幼年者には名の凶格數は付ける勿れ。

27○(遭難排除數) この數はたとへ遭難することありとも之を排除して無事に發展する幸運格也。27畫にして凶運者あらば、前の26と同様に陰陽その他の凶格に原因するものにして、此の數は決して凶にあらず。この事會員竹島資陽、理事向徹也兩氏の提議に基づき、多數會員の研究に依るものにして、靈理學派姓名研究會の文化貢獻を自賀するものである。(後に竹島は理事に擧げられ、向は審議員に擧げらる)

吉池 廣 12 15 27 (12 11 20) 日、氏は長野縣小縣郡滋野村出身にして、尼港事件に邦人七百名が、悉く暴逆極まるバルヂザンに虐殺された時、所持金五百餘圓を差出して釋放され、尼港の支那人街に入り込み、ギリヤーク人の啞をまねて一命を助かり、バルヂザンに使役されてゐた。氏は唯一の邦人殘存者なるを以て「國民招魂社」建立の大願を起し、十八年間各地を歴訪し、一萬五千餘名の賛助を得、發願今や成就して、建立

地を東京府淺川在拜島に決定し、東日社を訪問して更に賛助を請うたる由である。

28○(幸運助成數) 26 27 28 81 見られよ、此處の三數合計が斯學の全能81畫となる事を。是れ此の三數は決して凶惡でない明證である。但しこの三數には限らず、他の條件が凶格ならば、凶運となるを忘るべからず。實例多數の中から代表的に一名づゝあげる。

◎一 戸 兵 衛 5 23 28 天地11と7順數、陰陽調和理想、五行(土木水土)三種大吉、名23大吉、姓名28他條件缺點無きによつて善良で、即ち全良姓名である。陸軍大將正二位勳一等功二級、日露役には乃木軍の參謀長で、乃木將軍の後任として學習院長に任ぜられ、後明治神宮宮司となり、(692)七十七歳にして歿せらる。

(1134)×川崎 太郎 14 14 28(三) 川崎文相令息病歿。陰陽別々大凶なるを以て川を13とせず、川3太4天地逆數大凶、天地端數衝突大凶で、この28畫は凶運となつたものである。

29◎(企圖有功數) 人目に見えぬ苦心はあれども、智能と努力とは成功の報酬となりて衆人に尊敬せらるゝ貴重運數也。羽柴 秀吉 上原 勇 作

30○(運命分岐點) 姓名學上の條件や職業等に依つて大吉とも大凶ともなる。他條件の良格者は力量相當に成功するものなれば、選名命名何等差支無き幸運數也。

31◎(安全第一數) 世界無比なる我が數島道の和歌の字數に好縁あり、和歌は朝の門出に自分の好めるもの一首を口號めば、其の日の難を免るといはるゝ威徳有り。天地をも動かし鬼神をも感ぜしむるといふ。此の瑞祥數を我が身に有する人の安全第一は無論也といふべし。伊東 祐 亨 淺 田 宗 伯 野 田 文 一 郎

32 ▲(最大凶悪数) 32畫は人名や姓名としては靈理學上日本一の大凶にして、32畫名か32畫姓名か一人でもあると、其の家には必ず凶運が発生して家庭の平和が破るに至る。それ故に今後は決して付けてはならず、現に32畫の名や32畫姓名の人は國家の爲に改名を使用すべし。

▲三十二畫を大吉とする事

は斯學上實に謬見の最大なるものである。惟ふに現代の姓名學の最初の發表者は、大臣とか大將とか大富豪とか、僅かに五六百人の姓名を見て、其畫數の吉凶を記したものであつて、其の後十年の研究とか、二十餘年の研鑽とか稱するも、實は自己の研究は無く、單に先人の記録の文句を信じてゐるが故に、實際の吉凶が不明なのである。本當に歴史の事實や、講談本の姓名や、毎日々々の新聞記事などに注意して見たならば、三十二畫を幸運とは言へず、其の文句を直さねばならぬと感ずるに至らう。

從來の姓名學書の5畫には楠正成(實は楠木正成で29畫であるが、久子夫人と夫婦名相剋であつたは惜しむべし)、三十八畫には源義朝、福島正則……といふが如く、爲めに三十八畫を大凶としたり、不平不満の平凡數としたりするが如きも、義朝の正妻は我等の見ただけの歴史に依つては未詳であるが、愛した所の延壽も常磐も名頭字は〇〇の相剋であり、福島正則は長男に正之といふ三十二畫があつた爲に凶運となつたに心付かず、三十八畫を凶とするので、折角に三十八畫の幸運を授けられた者でも、是迄の姓名學者に改名させられ、其の幸運を失ふ者も少なからず、誠に遺憾の至りである。

三十二畫はいふと、徳川吉宗がある。吉宗は紀伊家の末子に生れて、越前鯖江に新規三萬石に取立てられたが、間もなく二人の兄綱教、頼職が引續いて死なれたので、二十二歳にして紀伊家五十五萬石を繼いだ處が、吉宗が二十

六歳の時、七代將軍家繼が僅かに八歳にして逝去されたので、親族會議の結果、吉宗が八代將軍に立つに至つた。

徳川吉宗は徳川の宗家を吉運にするといふ意義の名前で、實際に其の通りになつた。幕府の收入は當時八百萬石と稱せられた。僅かに數ヶ年間に於いて、三萬石——五十五萬石——八百萬石と二百倍以上になつたのだから、表面は實に濡れ手に粟の幸運の如くなるも、其の内面を窺ふならば、二十三歳の冬伏見宮家より迎へられた理子夫人とは同棲四ヶ年に満たず、將軍となるや間も無く、二十七歳の夏六月四日には死別となつたので、家庭的には實に大凶運といふべきである。

我等はいつも言ふ通り、家庭圓滿、身分相應、無病息災、記憶確實、業務勤勉の五者を以て、眞に人世の幸運と信するもので、身分が如何に高くなつても、お金が幾萬積まれても、年若き妻に死なれたり、長男や長女やを喪ふが如きは、幸運とはせぬものである。

講談本で皆様方御存知の ▲小幡小平次 18 14 32 ▲河内山宗俊 15 17 32 ▲三峰宗清 13 19 32 ▲宮田兵庫 15 17 32 ……などは何れも大凶運であつた。

我等は三十二畫大吉説の人を憎んで、殊更に反對説を立てるものではない。國民が三十二畫大吉の妄説を信じて、命名改名をして、凶運に陥り、或は短命に終るを坐視するに忍びずして言ふのである。幾重にも御賢察を希ふ。

國家全體と個人との相違

大洋には濁流は勿論、牛糞でも、犬糞でも、動物の死體でも用捨無く流れ込むので、大洋の水即ち海水はキタナイ物の大王の様であるが、大洋は陸地に三倍すといふ世界第一に大きい處ゆゑ、太陽の光りと熱とに依つていはゆる淨

化が行はれ、海水からは一番にきれいな食塩が製せられ、神佛信仰上には食塩をまいて、其處が清浄になつたとするのである。しかし茶碗や盃などの中に汚物の一點を認めたならばそれは到底飲料とはせられぬであらう。これは即ち大小によつて異なるので、大なる國家と小なる個人とは異なるのであるから、一國の總理大臣とか、國家の將來を指導する尊者とかの姓名には、三十二畫でも差支無からうと論ずる者がある。我等もこれをば否定せず。國名の中華民國も三十二畫で、之を角力道にすれば、我が大日本皇國の三十二畫と兩横綱の觀があるが、長いものにはまかれるとやら、四字の中華民國は五字の大日本皇國にまける事請合也。文法上『まかれる』は『まける』となるからである。勉めよや、諸氏。

これは我等の持論にして、最初からして機會ある毎に呼び掛けてゐたに、盧溝橋事件が(12.7.7)に突發して、蔣介石の野心遂に破れ、民國は現時の有様になつたのである。惟神の靈理定に尊い哉。

我等の記録には、三十二畫の短命、凶運、犯罪者が、昭和十四年十二月末に七千三名に達し、しかも新聞紙上で毎月々三十名位づゝは増加してゐる。

■三十二畫は一人一人の不幸が今いふ通りに多數あり、中には六人殺し自殺、八人殺し死刑、一家五人心中、七人斬り自殺……の如き大不祥事さへもあり、他會に於ての改名命名の短命や凶運や多數に訴へて來るが、過去は追ふべからず。既往は咎めても詮無し。唯々今後の吉運の爲に三十二畫を用ふる勿れといふのである。三十二畫は名前や姓名としては、如何なる文字を如何様に組立てても大凶となるからである。

▲伊藤文三 25.7.32 佐賀縣東松浦郡入邊村出身、十九歳、飛行練習生として羽田飛行場の練習機に二等航空士 藤田敏雄(三)と共に乗組み(13.8.24)大森町の上空に於て旅客機と衝突して、同町九丁目山本製作所

の中庭に墜落し、ガソリンタンク爆發のために一棟全焼し、即死二十五名、大火傷百數十名を出したが、入院後毎日毎日死亡者續出して、九月九日には遂に八十二名に及んだ。

▲伊藤文三の三十二畫が乗らなかつたら、衝突もせず、墜落もせず、爆發もせずして、斯かる惨害は出来ぬであつたらうと、山藤敵謙(荏原區中延町七九、聖名學士)は論じたが、我等も實に同感である。(この八十二名は三十二畫に殺されたというても過言ではあるまい)

■幾十の歴史實錄講談に三十二畫幸運は無し

これは我等が斯學に對する實際研究上の道歌である。他の會では名前の畫數さへ良ければ吉運也とて、三十二畫に命名改名をするけれども、付けられた家庭には必ず凶運が發生する。恐れねばならぬ。

三十二畫 一時に三百人を殺す

▲一色義貫 7.25.32 一色滿範の子、足利將軍義教に叛き、武田信賢に攻められ、一族三百人悉く自殺す。春秋的筆法にするならば、此の三百人は三十二畫に殺されたものである。三十二畫呪はしい哉。

(附言) 右は貫の字の12畫である明證ともなる。これまでの字書通りに貫を十一畫とせば、一色義貫は三十一畫の安全大吉數となつて解決はつかぬ。

尙ほ武田信賢の陰陽●○○○は(上一下三)と稱して武人としては一番に力弱き運格であるに、一色義貫は其の弱き運格の(上一下三)に殺されたのだから、この事も記憶されたし。

■鈴木康友 17.15.32 従來の他學派の書に照せば完全なる善良名である。

■崎式にしても、人15 外17 總32 地15 天七人五地五(金陵陸)でまた善良名である。

(11628) 茨よ、鈴木は「天國行八段返し、慕切の惨敗」と題したる記事に、心中劇六回、自殺未遂二回と附記された。茨城縣多賀郡豊浦町生れ、當時淺草區清島町居住、二十三歳の時、自家の漁船と漁夫十四名が行方不明となつたので、心機一轉し、父に死別してから北海道に渡つて失敗の結果、自殺を企て、人に救はれて上京し、日暮里町に硝子製造業を起したが又々失敗して遊惰となり、妻子を打ち捨て、今回は情婦を殺害せんとして捕はる……。

▲鈴木章文

171532 山形縣西村山郡左澤町の町長で昭和11六月同町に大火災あり、銀行支店二つ、小學校

までも焼失し、民家一三三戸五〇〇棟全焼といふ時、この町長殿は役場員にも家人にも告げずして不在であり、きけば宮城縣の温泉に居るらしく、家人から宮城縣警察部に打電して、所在調査方を依頼したといふ事「日刊山形」の號外に出された。無責任也といふべし。

其の新聞、本會理事山形市七日町照井正康(大日本武徳會劍道名譽教授)寄贈。

◎照井伸一

17825 東京市目黒區〇場町(〇見坂上)七八九、伸一は長男でないといふが、これは長男ゆゑ良格である。天地は照13 伸7 順數大吉、〇〇〇陰陽も中間一異の大吉、(金金金土)も

五行良格、名8 大吉、姓名25 天地陰陽等良格ゆゑ大吉と何處にも缺點の無き良名である。

然るに富士原〇光といふ姓名學者(東京市四谷區新〇江町)に家族五名とも改名され、二ケ年も過ぎぬに、昭和13八月、十八歳にして死亡したる由。(人格を尊重して姓の上の字換載)。富士原には筆者は昭和四年頃から十ケ年にわたつてモハヤ三十回以上も、三十二畫大凶の事、夫婦名の事、その他イロ／＼の印刷物を進呈してあるに、實に無責任也といふべし。富士原の改名は左記の通りの三十二畫であつたのである。

▲照井章文 171532 日本一の大凶、改名後二ケ年もすぎぬに、前記の通り十八歳で死亡す。

■鈴木、新井、照井……などいふ134の17畫姓で、章文と文字の排列が全く同一畫數の三十二畫凶運者は幾十名もある。三十二畫は如何なる文字を如何様に組み立て、も凶悪なのである。

我等が三十二畫大凶説を強調するために、この事實を報道する事を御容忍下され、「前車の覆へるは後車の戒しめ也」と堅く々々御信用下されたく、三十二畫にして家庭圓滿者は我等の研究では、我が國開闢以來一名も未だ曾て有らず。若しも幸運者あらば、一名につき金拾圓宛の懸賞を筆者から進呈する事を此處にも申上げておきます。(但し六十歳未満と現存者とは探らず)尙ほ懸賞に應ぜらるゝ各雅には其の家戸籍謄本の添付を御願ひ致します。

これは三十二畫 一夜に九百餘人を殺す

元理事 谷本 匡 章直話

これは(111120)午前一時十分頃から三時半頃迄に互つて、秋田縣鹿角郡尾去澤鑛山ダム決潰の大凶事變であつて、我國鑛山業開始以來の大椿事也との報道である。二十二日の記事によれば罹災戸數三二二、罹災者一六〇〇、生存判明六八八、發見死體一九五、行方不明七一七(計九二二)に達し、經營者三菱では取り敢へず百萬圓の慰問金を提出したといふ。而して讀賣新聞の記事によれば、吹原鑛山長は處分せらるべしとある。

▲吹原矢男

171532 三十二畫也。三十二畫が鑛山長となつたから決潰したではないが、其の時にそこに當

面して處分せらるゝは凶運といふべく、堤防が弱つて來たので補給工事を施して居たださうだから、他の人ならば豫告など發表して被害を少なくする事が出来たらうに……春秋的筆法にすれば、是亦この九百餘人は三十二畫に殺されたといふべきである。而して

▲吹原矢男三は人格15 外格17 總格32 地格15 天七人五地五(金陵陸)で大運神の靈動まで全部良格であるのだから、この一事を以てしても、●崎式姓名學は禍ひ也といふべきである。

■明治の紫式部と稱せられた樋口一葉 181432、女史が二十五歳の短命はまことに惜むべく、野間恆 23932は大日本雄辯會講談社野間清治氏の長男で、劍道によつて身體を鍛へられ、其の技も優秀にして範士として稱せられてゐたが(13117)父上死亡の二十三日目に三十歳を以て病死されたはヤハリ三十二畫の凶格によるものである。

■(13115)各、溝口俊男 161632(た) 一家八名を惨殺して犯人は鐵道自殺をとぐといふ記事の其の家の長男である。父母姉妹等と八名全部殺されて了つたのである。大阪府北河内郡四條暖村織材商。原因は同居の細川英雄(三)が俊男の姉シナ(一)に結婚を申込んで、父與造(五)に拒絶された恨みとあるが、三十二畫恐るべきである。■從來は陰陽が良格ならば吉運也というて、姓名を左の畫數に構成するが、三十二畫は名前や姓名として、如何なる文字を如何様に構成しても凶運なのである。即ち

17 15 32	15 17 32	19 13 32	11 21 32	21 11 32	25 7 32	7 25 32	9 23 32
27 5 32	29 3 32					

等の短命者、凶運者、犯罪者が昭和十四年五月迄にすでに六千七百九十名に達し、尙ほ續々と増加しつゝある。眞に一家の幸運を願ふ者は、人名として、また姓名として、三十二畫を使用する勿れ。赤誠謹識。

こゝまで書いて思ひ出して、今港草にいつて見て来ました。それは淺草公園裏に、5澤7介といふ三十二畫の人があつて、手相の大家ださうで、東洋〇〇人相手鑑定所といふ看板を出してゐる。その看板は何年前から出したものか。本年二月寒さの強かつた時、余は某氏に伴はれてはじめて其處にいつて、其の看板を見て、某氏にさゝやいた。此の人は手をどうかしてゐます

ネ。ナゼ? この文字が一本足らぬから手が不具でせうと。實際にあつて見ると、人差指の先端がありません。即ち不具者であります。手相の大家を以て任ずる其の人の看板に今でも、手相とあるは「名詮自性」を畏るべきである。又物事を指し示すに、人差指の先きが無いといふ事は、我等には不縁起に思はれる。又惟ふ、これでは手相の鑑定にもアママリがあらうと。

而かも、5澤氏は子持たずとやら。何事でも縁端に考へて見るとすぐに判るが、日本國中の人が子持たずならば果して如何にや。氏は三十二畫を大吉と誤信して、我等が前々よりの十回以上にも及ぶ多數の印刷物を無視して、盛んに他人に三十二畫の命名、改名をしてやつて居る由。5澤氏も、富士原〇光、中〇貴俊、宮根〇了、〇崎健翁諸氏と共に、釋尊のイハユル濟度し難き衆生の一人である。まことに困つたものである。

眞に幸運を願ふならば三十二畫に命名する勿れ。(1466)稿

昭和十四年五月末の六七九〇名が同年十二月には七千三名となれり。即ち七ヶ月に二百十三名増したのである。

見里季求子も三十二畫也

■見里季求子 141832 も三十二畫である。正名關湘南支部長權中教正名學士八重櫻有信が此の姓名を見て改名をすゝめた處が、熊崎健翁先生に兄妹二人で二十圓で改名して貰ひ、季求子は三十一畫の大吉だといふから、改名などする必要はありませんといふ由。どう數へても三十二畫であり、殊にキク子といふ發音の女子は凶運となるから、これは是非共改名しなさいと再三誠意を披瀝して申し上げたさうだが、八重櫻の言を用ひずらぬで、改名後一ケ年程で(14101)二十歳にして遂に死亡の由。(横須賀市〇〇町)五聖閣命名原簿にのつて居ませう。これも本當に名前が十七畫で字畫が863の配列の佳年子、東至子、芳名子……の如きであつたならば、二十歳では死なぬのであつた。■字畫譯見多數の熊崎式姓名學禍ひなる哉。(14110追記)

33◎(旭日昇天數) 十一は士の字を構成するによつて、三十三は三士同盟といふべく、權威拔群にして所信を貫ぬく名譽數也。但しこの數は構成上に缺陷ある者は大凶運となり易きを以て、命名判斷とも大注意を拂ふべきである。

(附言) 我が靈理學は昔の常陸國久慈郡佐竹寺に發祥したものであるが、常陸國の三字は何れも十一畫にして三字で三十三畫なる、日本唯一の國名である。

この數に因由ある三十三畫の國主徳川光圀が、我が國體を明徴にする『大日本史』の著述も慶賀すべく、百圓札にある藤原鎌足公が、常陸國鹿島神宮の社側に生れた事も、准后北畠親房卿が『神皇正統記』の大著も亦常陸國に於て出来上りたる事をも賀すべきである。

33畫の徳川光圀が早く夫人に死別したるも、青森縣議於田匡之進 12 21 33 が短命に終りたるも、皆天地不順の凶格に因る。頭山滿翁は無位無官にして、皇室の御慶事には、いつも御招待を受ける、光榮の國士であるから、常人として論すべきにあらず。元首相大隈重信と文壇の大御所菊池寛とは斯學上缺點無き良名である。

34▲(命財危害數)

財産を興さんと欲すれば、生命を失ひ、生命を全うせんと欲すれば物質に不満なりといふ誠に損なる凶運數也。前原一誠 野口男三郎 張作霖 張學良 天岡直嘉 芥川龍之介 犬養毅 永田紅山 石田吉藏 佐々木味津三

(附言) 昭和十三年春二月より同年夏七月の初めにかけて、佐藤岬觀(埼玉縣秩父郡高篠村山田新木寺執事、正名爾崎玉支部長正名大學士)の調査せる、ダイヤモンド社編纂の『全國會社重役大株主姓名一覽』一萬五百

七十名の調査によれば、34畫が最多にして五〇六名、第二位は35畫の四七二名、第三位は31畫の四六八名……合計一百畫なる事、觀世普靈場の阪東33番、西國33番、秩父34番、合せて一百番なるに好縁あり、三十四畫は吉數にあらずやとの提議なるも、徳田理事が嘗て選舉人名簿一萬五千名に就ての調査、34畫八三八名も幸運はきはめて少數と見るべしとの動議もあり、其後會員多數の研究によつて、ヤハリ従來の通り凶數としておく事になつた。

- (10 5 7) ▽尾野 學 18 16 34 弟の茂(ん)を絞殺して桑畑に埋む。熊本縣鹿本郡三岳村
 - (11 7 30) ▲岡田 仁 齋 13 21 34 觀音教會解散を命ぜらる。豊町區麴町一ノ七一
 - (12 8 4) ×萩原 秀夫 23 11 34 運轉手河中に墜落死亡。小石川區指ヶ谷町
 - (13 9 7) ×近石 勝美 13 21 34 増水で溺死す。香川縣中多度郡七戸村龜吉四男
 - (13 9 23) ×蝦名 三郎 21 13 34 囚人浪に吞まれて五名溺死の一人(樺太豊原にて)青森縣生れ
- 他は略すが、こんな實例が昭和七年春より同十三年冬まで、七ヶ年間に一四六名あり。我等の記録に上つた者は七ヶ年間に、五萬九千六百六十八名で、其の中三十四畫は一千四百十六名にして、これには凶格の凶運者も含まれてあるが、前記百四十六名は實に此處の例にあげたる様の天地陰陽五行まで良格にして、三十四畫を凶格とせねば解決の着かぬ人々であり、また佐藤の調査は、食料品、化學、交通、金融、礦業、電氣、纖維工業、商事等殆んど全部『凶名の吉化』と見るべきが故である。

35〇(優雅發展數) 勞役や軍人等には不適なるも、智的方面なる教育文藝金融等には適應の幸運格也。(因みに嘗て大日本雄辯會講談社發行『全國金満家大番附』を調査したるに、それには三十五畫の姓名が一番に

多數であつた。「實用姓名學」参照

本間久四郎 菊池幽芳

36 ▲(義侠然諸數) 貴重な英雄肌にして、他人の難儀を傍観する能はず、それを救ふために自己を空しうしてまで

盡すが、自己は至つて凶運なる者多し。■36は234691218なる多數に割り切れる弱數也。

37 ○(職務忠實數) 上下の信用あり、立身出世して他を利し、衆望を博して名譽萬世の幸運也。

38 ○(最大名譽數) 濃厚篤實にして心廣く、衆人に心服せられて事業意の如く進展し、志氣發揚の慶賀數也。

東郷平八郎 湯淺倉平 藤沼庄平

崎久保誓一 231533(4510)日、幸徳事件の一人、出獄して歸京と報せらる。年若くして惡事に加擔せしは

日月の蝕の如きものか。◎敵前上陸、38畫 最大名譽數。

39 ○(福德壽祥數) 刻苦精勵して産を積み、家庭賑はひ、福德壽の三運子孫に傳はり、「積善の家には餘慶あり」と

稱せらるゝ吉運數也。

(附言) これまで會長の著書に、373839の三數を三士同盟と記したるものあれども、佐藤紳觀の研鑽に依つて

此の三數には三士同盟の語を取消す。但し33の一數には三士同盟強運の意義も許さるべし。

40 ○(豪膽邁進數) 膽略衆に勝れて事を爲すために傲慢也と誤解せらる。夫れさへ慎めば無難の成功運數也。

41 ○(中堅畫國數) 四十一は始終一と諷く慶賀數にして、信念確立、奏效無比、名譽發揚の吉運也。此の數は斯學

全體より見て、1より81に至る丁度中央にあり、自ら重要な位置に立つを特に賀すべし。

伊藤博文 徳川齊昭 宮本武蔵

42 ▲(暗黒慘憺數) 我が國の舊慣たる男子の厄年に相當する不吉運數にして、生命財産名譽の三者を身分相當に保

てぬ凶惡暗示也。■然るに42畫に改名すれば幸運也と記しておく書がある。南に窓無き室は暗し、但し改築

の室は南に窓無くとも明るしといふ道理は無い筈也。考へ合はすべし。

43 ▲(厄難重加數) 外見よりも内實苦しき大凶數にして、晩年に至る程凶運加はり、甚だしきは生命をも失ふに至

る不運格也。

44 ▲(悲哀續出數) 死重死を連想する厭ふべき音韻にして、罹災、亂離、短命、破滅等の大凶運數也。

左記は(14610)時の記念日の『静岡新報』静岡市鷹匠町三ノ七五 吉岡顯二 寄贈

▲伊藤萬吉 251944 前科十四犯、獄中生活四十二年、又も沼津で檢舉せらる。

放火で九年、強姦で九年、窃盜合計十二犯で二十四年、通計四十二年娑婆の風に當つたこと僅かに十時間と

いふもありと。■いつも言ふ通り、人物悪しきにあらず、犯罪も凶運も皆凶名の靈罰である。

45 ○(果斷決行數) 志望遠大にして決心強く、所信を曲ぐることなく、百折不撓、素懐貫徹の男性的吉運數也。

菅原道真 徳川慶喜 野津道貫

我等は、45畫の徳川慶喜が武將(征夷大將軍)四十五代目に任じ、四十五代中に唯一名の天地衝突を以て、遂

に幕府を滅ぼしたるを、斯學の靈異として、皇政復古を賀し奉るものである。

46 ○(第二起點數) 我が國の姓名學は基數(1より9まで)の中央なる5と基數の極なる9の乗積45を以て數的

に一段落と見るものゆゑ、46は第二起點數といふべく、貧家生れは成功し、富家生れは失敗の恐れある運格な

りとするものである。但し「驕る者は久しからず」の訓言を守らば、家産も家名も永續疑ひ無し。

47 ○(天與惠澤數) 我が國に生れたるいろは歌の字數に好縁あり、神佛の恵みを受けて智能修練せられ、名譽輝く

無上の慶賀數也。和氣清麻呂 藤原定家 (家庭圓滿) 八四

萬松山泉岳寺 24 23 47 と四十七士と、數的靈意感應し、泉岳寺といへば四十七士、四十七士といへば泉岳寺と「名體不離」の光譽萬世を尊むべし。

(附) 家庭圓滿とは金の無い事である。ナゼならば家庭圓滿(木火土水)だからである。というて味噌醬油も買はず、砂糖煙草も買へぬといふ無錢状態を言ふではない。時の來客に馳走も出來ぬといふ貧乏をいふではない。電氣料も拂へず納税に困るといふ艱難をいふではない。儉約に儉約をして生計を立てゝ行くべしといふのである。

有り餘る財産をのこして死亡した遺族には、裁判沙汰など起り易いが、親の貯金が無かつたからとて訴へを起した兄弟は未だ曾て有らず。金の無いのを忍んで、國民精神總動員の趣旨を體し、お互ひに勤勉するが家庭圓滿といふものである。御再考あれ。

48 ○ (顧問尊敬數) 智略才藝あり、思慮精密、識見卓越にして衆人に歸依せられ、天授の福徳を有し、顧問と仰ぐる。貴重格也。

49 ▲ (不斷辛苦數) 損害災厄等續出して苦心水泡に歸し、終生悶々の暗黒運也。

50 ▲ (大團二分數) 富貴榮達も不如意となり、不満を嘆じ不足を訴ふるも更に效無く、有耶無耶の不運格也。

51 ○ (天運享受數) 身體強壯、意志堅實、正義を旨として行動し、天祐に依つて成功名譽の男性的吉運數也。(本會研究訂正)

52 ○ (理想實現數) 年若きにも拘はらず、思想老成の確實數にして、衆に勝れて成功し、幸慶を子孫にまでも傳ふる有徳數也。

53 ○ (内實有福數) 不運に見えても然らず、外見よりも内實の宜しき福徳數也。

54 ○ (所信發揚數) 財無きにあらざれども財よりも精神的實行實現の名譽數也。藤原 鎌足 徳富健次郎

55 ▲ (船舶登山數) 虛弱短命、家庭寂寞、物質損害、行事澁滯、名譽失墜等の凶運數也。佐藤 信 (屋島戦死) 錦 剛 (末路不振) 黒澤常次郎 (三病死)

56 ▲ (周圍障害數) 思慮綿密で精力もあるが、周圍の障害に惱まされ、終生苦心の凶運數也。

57 ○ (最大榮運數) 天性剛毅にして狂瀾怒濤を乗り切る精力を有し、萬難擊退、成功名譽の大昌運格也。桃太郎 犬 猿 雉子 24 33 57 犬猿雉子三者の 33 畫は旭日昇天運にして、桃太郎(高天原と同様の 24 畫大吉數)に従つて 57 畫となり、不正の横暴を膺懲して國利民福を圖る(最大榮運數)なるを特に賀すべし。

58 ○ (寛宏揚名數) 困難苦境に陥るとも之に打ち勝ち名聲發揚の吉運數也。若槻禮次郎

59 ▲ (不埒敢行數) 深き考へ無しに不心得の事をする凶數にして産を失ふ者あり、身を滅ぼす者あり、容易ならぬ大注意數也。齋藤 彌吉 後藤 官兵衛 鶴野 洲武義

60 ▲ (苦心無效數) 千辛萬苦に精神を勞するも更に效無く、福祿を失ひて衰頹する凶格也。

61 ○ (修煉積徳數) 千艱萬難を突破し福祿を重ね名譽を顯はす第一人者の吉數也。高島 傳右衛門

62 ▲ (艱難困厄數) 内外不和にして萬事不如意の苦境に陥る大凶數也。高島 傳右衛門

63 ○ (共同親和數) 多衆と親和して天與の幸福を享け事業成功の吉運數也。高島 嘉右衛門

- 64 ○ (修身功績數) 勤勉の功を積みて進暢發達し尊敬せらるゝ幸運數也。 鴻池善右衛門
- 65 ○ (公明正大數) 祿を積むに正義を以てし家運隆昌を招きて名譽を揚ぐる幸運數也。
- 66 ▲ (多欲遭難數) 「大欲は成功し多欲は失敗す」といはるゝ多欲數にして徒らに勞して離散衰亡の凶兆也。
- 67 ○ (忍耐努力數) 天授の慶福あり、整理蓄財、興昌繁榮の幸運數也。
- 68 ○ (快活宏量數) 思想堅實にして衆を容るゝの雅量を有し、而かも勤勉力行を以て成功發展の慶賀數也。
曾呂利 新左衛門
- 69 ▲ (處世多難數) 妻子を失ふか、虚弱短命なるか、災難續出して衰退する凶運數也。
- 70 ▲ (家運衰頹數) 年若き時は有用の材幹と思はるゝも、家運の空虚を來して雲散霧消の大凶數也。
鴨志田 藤兵衛
- 71 ○ (正氣堂々數) 進取の氣象に富み、努力を重ね漸次目的を貫ぬきて尊敬を受くる幸運數也。
- 72 ▲ (萬難甘受數) 弱を扶け強を挫く貴重的人格なれども自身は至つて凶運なる者多し。 ■36畫と同意也。
- 73 ○ (正義奮闘數) 意地強き事身體強きに比例し整理成功の吉運數也。
- 74 ▲ (秋葉落莫數) 共同性はあるが人に愛せられず、段々と信用を失うて衰退する凶運也。
- 75 ○ (利害辨明數) 郷黨の爲に盡力の精神、大にしては國家奉仕となる成功の吉數也。 藥師寺清右衛門
- 76 ○ (抱負發現數) 小事を侮らず大事に怖れず、正義に立つて道を行ひ、抱負發現の名譽數也。
- 77 ○ (家庭有悅數) 實行上に便宜を享けて喜びの集まる幸慶數也。 ■我が國古來の喜壽の祝典は77を稱し、米壽の祝典は88を賀するものなれども 88 81 7 にして 88 もやはり七である事、七福神を尊崇する民心の天

意に由れるを見るべきである。

- 78 ○ (功德光榮數) 献身的精神の事業成功して國家社會を利し後人にも尊敬せらるゝ光榮數也。 齋藤與左衛門
 - 79 ▲ (身邊缺乏數) 病弱か徒食か窮極的にして志望を伸ばせぬ凶運數也。
 - 80 ▲ (消極縮小數) 俗にいふ「骨折損の草臥儲け」といふ無意義の凶數也。
 - 81 ○ (積極盛大數) 萬事意の如く發展して第一位に達する旺盛運數也。
瀧澤 磯右衛門 (地主、向島區吾嬭請地町八) この名は向審議員の直話なり。
- 以上大略を記す。 82畫以上は81を減じて殘數を前記に照して行ふべし。 ▲80を減ずといふは隱見である事を再言しておく。

姓の畫數に就て

姓の畫數には吉凶無き事すでに述べたり。只名前をつけた時に、姓名の畫數となつて吉凶が生ずるのである。

佐佐木18、佐々木14、壽壽山31、壽々山20……の差は全く其の人の實際に書く文字によつて定まるものとす。

鹽原34、塩原23、龜山19、龜山14、豊田23、豊田18、磯野28、磯野29、蘆川23、芦川11……の如きは、實際家庭を調べねば判らぬが、判断命名とも正字に據るが理想的である。

臺灣などには姓の下に氏といふ字を附ける者あり。この場合には氏の4畫(金性)も加へて行ふべし。

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17

5	1	6	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	5	3	1	
6	3	7	3	6	3	3	3	6	3	6	3	6	3	6	5	6
7	5	8	5	8	5	6	5	8	5	7	5	7	5	8	6	8
8	7	16	7	11	7	8	7	13	6	8	7	8	7	11	7	11
15	8	17	8	16	11	11	11	16	7	15	13	16	8	16	11	13
18	13	27	11	18	13	13	15	23	11	16	15	17	11	18	13	16
24	15	30	17	23	17	18	21	26	13	17	16	18	13	21	15	18
25	21	37	18	24	23	21	25	27	15	18	17	24	15	26	17	21
28	25	40	21	25	24	24	31	28	17	24	23	27	17	28	21	23
30	29	45	23	28	25	25	35	33	21	25	25	30	18	33	23	24
35	31	47	27	38	29	30	39	40	23	28	26	37	21	38	27	30
38	33	28	47	30	31	41	48	27	29	29	40	25	48	29	31
40	35	31	33	38	51	29	30	30	47	27	30	35
.....	39	33	35	40	30	31	31	28	33	40
.....	35	37	33	35	35	31	35
.....	37	38	37	39
.....	41
.....	47

16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4

1	3	1	5	1	6	1	6	3	1	1	1	1	5
5	5	3	8	3	7	3	8	5	6	5	3	3	8
7	7	11	11	5	13	7	15	7	8	7	6	7	15
11	16	13	16	11	16	8	16	13	11	11	8	11	18
13	18	15	17	13	17	11	21	15	16	15	13	13	21
15	23	17	18	15	18	13	24	17	18	17	16	17	24
17	24	21	24	16	24	15	30	21	23	18	18	21	27
21	26	23	25	17	27	17	31	23	24	21	24	23	30
23	33	25	27	18	28	21	38	25	30	23	30	25	35
25	37	27	35	23	29	23	45	29	31	24	33	27	38
29	38	31	38	25	30	25	48	30	33	25	40	29	45
31	39	33	39	27	37	27	31	38	27	47	31
35	48	37	45	29	40	29	33	40	29	33
37	38	48	33	47	31	37	41	31	35
.....	39	52	35	52	35	39	45	33	41
.....	39	54	37	40	35
.....	41	38
.....	45	41

姓
3
畫
に
は
名
は

姓
に
對
す
る
の
吉
數
(これは改名命名上の便利と
信じてホンの大略をあげる)

等が大吉也

34	1	3	6	11	16	21	26	31	36	41	46	51	56	61	66	71	76	81	86	91	96	101	106	111	116	121	126	131	136	141	146	151	156	161	166	171	176	181	186	191	196	201	206	211	216	221	226	231	236	241	246	251	256	261	266	271	276	281	286	291	296	301	306	311	316	321	326	331	336	341	346	351	356	361	366	371	376	381	386	391	396	401	406	411	416	421	426	431	436	441	446	451	456	461	466	471	476	481	486	491	496	501	506	511	516	521	526	531	536	541	546	551	556	561	566	571	576	581	586	591	596	601	606	611	616	621	626	631	636	641	646	651	656	661	666	671	676	681	686	691	696	701	706	711	716	721	726	731	736	741	746	751	756	761	766	771	776	781	786	791	796	801	806	811	816	821	826	831	836	841	846	851	856	861	866	871	876	881	886	891	896	901	906	911	916	921	926	931	936	941	946	951	956	961	966	971	976	981	986	991	996	1001	1006
----	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------

命名の文字に就ては、教育勅語、戊申詔書、軍人勅諭、修身書等より選ぶが宜しいとは、某師範學校々長先生の御話であつて、我等も大賛成を表するものである。

外國人の名に就て

支那人は勿論、ワシントン、ナポレオン、ワルデツク、クロバトキン、スターリン、ライシャワー(1295)米國プリンストン大學助教授、支那飛行機の非人道的爆撃の痛ましき犠牲……等皆其のあらはす文字に依つて行ふ。それで濁點は2畫、半濁點は1畫とする。即ち畫數はワ2 シ3 ン2 ナ2 レ1 フ1 ボ5 ポ6 バ4 ネ4 デ5 キ4……等 片假名は字畫まことに明らかならば他は類推せられよ。

犯罪者小管見 (昭和14七月)

理事小貫 紹道

「左記は横濱市鶴見警察署刑事室で取扱つた犯罪者六四八名の略記なり」とはし書きして、原稿紙七枚に實に細々と記されたものを、謄寫子が略記する。御推想を希ふ。

天地では衝突と逆數多數にして、犯罪者は家庭運の破れたる者多數なるを現はす。

陰陽では ○●○一六 ●●○一五 ○○○一四 ○●●一四 ●●●九

同 ○○○三七 ●○○三四 ○○○三一 ○○○二七 ○○○二五 ●○○〇二二 ●○○〇

二一……

同 ●●●一九 ○●●一八 ●○○一六 ○○○一三 ●○○〇一〇 ○●●〇八

○○〇〇八 …… 他は略す。

五行一種 三字四字九名、金六 木三にして 火土水無し、

五行二種 一四八中、火金四一、木金三三、木火二六、金土一四、火水一一、金水一一、木水六……

五行三種 三〇四中、金火木一〇一、金水火四九、金火土四二、金土水二八、水木火二〇、金木水一五、金土水

一四……

五行四種 一一一中、金火土水二九、火土木金二八、金木水火二七、水土金木一五……金性を帯びない者一〇名、

五行全有 六にして、犯罪者には金性を帯びたる者多し(謄寫子曰く、金に關する罪人多きに因るべく、又金性の

文字多きに因らん)

一字名 四六中、金二一、土九、木八、火四、水四、
 二字名 四〇八中、金一四六、火八二、木八一、水五七、土四二、
 三字名 一四六中、木四五、金四〇、火二五、土二三、水一三、
 四字名 は僅かに一名のみ(金金土水)

名畫は 16 四一、17 三六、15 三五、18 三五、13 三四、22 三三、21 三〇…… (この16は陰陽凶格の者であらう)
 姓名畫は 35 三九、34 三二、32 三一、30 二九、29 二七、33 二五、28 二三…… 他は略す。

某氏この表を見て、35畫の文句を改めねばなるまいと言はれたが、少しも差支無し。35は(優雅發展數)と稱する
 通り、文學技藝金融の如き優雅なる職業ならば發展し、勞役等には不適であるが、犯罪者は、大かた勞役者であつた
 であらうし、本文に記した通り、金満家番附では35畫の姓名が、一番に多數であるので、いはば金持だから、窃盜強
 盜にねらはれたと言ふ事も出来る。

一例をいふと、景季(木木)と高綱(木木)が宇治川の先陣を争ひ、家康(木木)の建てた幕府を光圀(木木)が批
 評して、その批評の書物を心讀したる慶喜(木木)がその幕府を倒して了つたやうなものである。

楠 木 正 行 17 11 28 辨内侍は當時第一の才媛にして、また極めて美貌であつたから、當時第一の好色漢
 辨 内 侍 16 12 23 高師直のために、某山中に誘拐されやうとしたを、たま／＼其處を通りかゝつた正
 行卿が、師直の部下を追ひ拂つて其の危難を救はれた。内侍は琵琶歌のイハユル「思はぬ方に救はれて思ふ人と
 はなりにけり」將來の夫は此の人よと深く心の奥に刻み込まれたを、主上も憐れませ給ひて、御媒酌の勞を取らせ
 給ひしが、正行卿が「とても世に長らうべくもあらぬ身のかりの契りをいかで結ばん」の堅き決心を翻すことは

出来ず、正行卿戦死の後、内侍は尼となりて其の冥福を祈りつゝ、自身も短き一生を終つたが、敵將高師直
 10 18 28 と三人揃うて、二十八畫も奇しき因縁といふべきである。

▽ 山 田 8 16 24 見られよ、被害者も加害者も天地は36にして、兩名共に畫數は24 51何れも良格で
 × 鈴 木 辨 藏 17 34 51 はあるが、其構成が兩名共に(天地合數倍數)の大凶になつてゐて、而かも鈴木は

陰陽(上一下三)といふ弱運に成つてゐたので、眞つ先きに生命を失ふに至つたのである。

▲ 永 田 克 之 10 10 20 永田は水戸の聯隊長で坂本は其の副官であつたが、兩名の間は常に不和であつた。
 ▲ 坂 本 左 狂 12 12 24 その原因が姓名にあるところを、しみ／＼と御覽成され。ところが雷親爺と綿名

のある上原勇作將軍(後に陸軍大將となり元帥に任ぜられ、昭和八年の冬七十八歳にして薨去)が、宇都宮師團長
 として赴任するや、忽ちにして坂本氏退官を命ぜられ、永田氏は轉任となつて了つた。

▲ 天 野 爲 之 15 15 30 法博 前年早稻田大學總長の未定であつた時、卒業生まで二派に分れて争うた事が
 ○ 高 田 早 苗 15 15 30 法博 あつた。一年餘りもさわいで居たらうか。天といへば高といひ、田といへば野

といふ。博士號から畫數まで「好敵手御參なれ」の象、だが早稻田には高田の早苗を植ゑるが收穫ありといふ、謎の
 解き方ソツクリの様に、遂に高田氏が勝利を得た。面白いものだ。今の總長は田中穂積氏、亦早稻田に好縁あり。

■ 義父 高 橋 信 一 26 10 36 二名の頭書は編者より見たものである。兩人は村内第一流の人物であるが、
 義弟 寺 門 彦 一 14 10 24 何故にか其の間圓滿を缺き、常に反目の態度であつた。編者が村の小學校教

員を退職して、足利市に移住し、更に皇都に出でたるは、正しき姓名學を弘めたき精神に依つてではあるが、一
 面には兩人の平素を見るに忍びざる私情も小なるものではなかつた。

兩名は見らるゝ通り、姓名學上競争の素質を充分に具備して居るが、彦の(木)は信の(金)によつてかんな掛けられて、後には立派な器と成るに違ひ無しと、編者が大正八年の『姓名吉凶鑑』と題する、四六判の著書とすれば六百頁となる原稿(故大町桂月先生の見に供したる物)に記しておいた。

高橋義父が三期の村長を退職して、學兄柴田好之介が二期の村長退職後適任者無く、殆んど二ヶ年間、助役が村長代理を勤めて居られたが、二十年後(右の原稿作成から)の昭和十三年夏五月には、義父等の勸説黙止する能はず、寺門が村長に就任して、興亞建設時代に盡瘁されて居る。改めて兩名の姓名を見られたく、靈理學の 豫言的中も御認識を希ふ。

小貫理事調査の、五行三種の多數なるも、自然の命名は五行三種に出来ると見るべく、五行二種を大吉也と宣傳の必要は無い。否五行二種大吉といふ謬見を暴露したとも見るべきであつて、我等の文句を改むる必要無し。五字姓名の○○●●には富田幸次郎 17 24 41 元衆議院議長などがあり、是亦好参考である。

(附言) 世の中のすべての出来事は、前陳の通り、電氣學ではないけれども、同性拒反、異性吸引などの理によつて現出するもので、これら大多數の事實の記録『姓名吉凶鑑』前記原稿、根本雅堂方にあり。雅堂の判断、命名等は其の稿に基づくものが多いであらう。自家廣告の様に恐れ入るが、幸ひに一言を許させ給へ。

(附言) 再び

■ 小林 重雄 11 21 32 (14 11 25)の各新聞に、右腕を撲断されて、八千六百圓の慰藉料を、永井暹相に請求
永井柳太郎 9 23 32 す。小石川區大塚坂下町職工小林義清長男とある。こんな減多に無き不祥事も、兩名の三十二畫最大凶惡の不良因縁也。

第二篇 姓名學大義

此の條項は、敢へて姓名學者といはず、「國民の常識」として誰しも實行し、遺憾無く福祉の享受を圓滿にせられんことを切望す。

第三章 命名注意條項

一名前は身分相應に付けよ。(福澤諭吉先生御意見)

上品とか高尚とかの考へからか、普通人にして何麻呂、何丸と付ける者があるが、麻呂、丸は貴族の男子の意味ゆゑに、普通人には勝ちすぎる。公爵の子でもないに、公子と二字つゞけて命名の年若の未亡人や、自殺者や、犯罪者の實母などが頻繁に新聞に見える。

▲安 藤 公子(三)の家では四人殺しとなつた。(夫は第一生命名古屋支部外交員)

▲伊 庭 公子(三) 夫孝(五)に死別す。星亨殺害犯人伊庭想太郎の養子(12 26)よ
これは其の一例にすぎぬ。

また義仁、恒仁、久仁……など、いふ凶運者が度々報道されるが、仁の字は皇室皇族の御男子である事、不文律に定まつて居るのだから、仁一郎、仁兵衛などと上に付けるは宜しいが、名前の下には決して々々付ける勿れ。

天照大神の照の字を普通人が名前の下に付けると凶運となるやうである。注意すべし。
大日本帝國憲法の初めに「天皇は神聖にして犯すべからず」とあるが故に、この尊き文字は決して名前の下に付ける勿れ。但し天の字は、雅號に樂天、呑天、拔天、凹天、包天など、下に付けること用捨あるべし。

聖の字は上に付けても、聖徳、聖心、聖旨、聖明……など、陛下を稱し奉る尊き文字なれば、法律には禁ぜられずとも、皇國臣民の名としては付けぬが良いと思ふ。明聖もまた同様である。

編者は▲加地原凡聖 211637 といふ凶運者を知つてゐるが、凶運の具體的記述は茲に略す。
其の時の年號の上の字を名前の下に付けるも畏れ多く、況んや陛下の御名前前の文字を名前の下に付けるに於てをやである。上に付けるは差支へ無し。皇太子殿下、陛下の御父上、御祖父上の御名前前に就ても同様である。

▲天岡直嘉 122234 は桂太郎公の女婿にして、賞勳局總裁といふ貴き官にあつて、賣勳事件(勳章を金で賣る)といふ實に言ひ様もなき不埒千萬の事件を實現し、昭和4九月の各新聞には收賄實に三十萬圓と報ぜられ、同10年の冬には遂に獄に下つた。天岡は、大正天皇御降誕後の明治十三年生れにして、大正天皇の御名前前の嘉仁と稱し奉る嘉の字を下につけた靈罰を蒙つたものである。いつもいふ通り、決して人物の惡しきにあらず、皆命名凶惡の靈罰に原因するものである。

姓名學者にさへも此の常識無き者が多數にあつて、今上天皇陛下の御名前前の裕の字を名の下につけ、年號の昭和の昭の字を同じく下につけて、短命や凶運者を出して居るは誠に遺憾の至りである。本書讀者の各雅には深く々々

注意せられたし。

明治六年三月二十八日 太政官布告第百十八號

御歴代天皇の御諱(御諡號)御名前 命名禁止の事

理事小貫 紹道強調

は實に姓名學界の大功績大名譽であるが、長文に互るを以て『禁名詳記』と題して別に發行す。

(定價十錢 送料三錢、切手にても可)

禁名詳記以外の二三を

- ×廣 瀬 幸 仁(三) 壯丁籤にもれて短刀自殺をとぐ、富山縣上新川郡大澤村
- ▲菅 貞 仁(五七) 靜岡市長拘引せらる、一萬圓收賄の嫌疑で、(10725)日
- ×進 藤 茂 仁(三六) 飛行機墜落惨死、熊谷飛行學校助教、曹長、
- ×菅 野 利 昭(七七) (11104)の颶風で釧路市南大通り土砂崩れ、七名死亡中の一人なる由、徳田理事の通信による。●崎式では人18 外23 總41 地16、天五人八地六で實に完全なる良名であるは如何?

この他、昭和生れで昭を下に、明治生れで明を下に、また照を下に、公を下に命名の凶運者が多數にあるが、それをば略して、

昭和13六月(小貫理事、太政官布告發表の月)と其の翌七月の者のみをあげて見ると、(數字は昭和年月日)

(1367)ホ▲小川 迪 裕 62228(三) 印刷局小使、爲替券用紙一冊を其のまゝ抜き取り何れも貳拾圓券に作つて、各所の郵便局から一日に三ヶ所も四ヶ所も、合計八百圓も受取り、遂に捕へらる。

道廣とした新聞もあるので、小川が同居してゐた王子區豊島町四六一 三浦利通氏に照會して確かめたものである。

(13 6 18) 來▲佐村和昭 14 17 31 (三) 大阪市東成區〇〇町洋服業、七年前(昭和七年秋)の改名なるが、開運とならぬとて更に改名す。●崎式の改名ではないか？ 其の理は人15 外16 總31 地17、天四人五地七で全良名であるからである。

附記

(14 5 1) 晃聖(熊崎健翁氏機關雜誌) 一三四號、■貝谷和昭(三) 全く前者と同畫數である。熊崎健翁先生の御改名で、以來非常なる躍進に躍進して鐵業界一方の重鎮となつたとある。まだ二十六歳では前途すこぶる長し。我等には幸運は保證出来ぬ。

編者曰く、この兩名は『姓名讀本』を著はして間もなく「轉居先不明」となつた佐藤和彦と同様に天地も大凶である。なぜならば名畫17の7が佐、貝の7と衝突するからである。

(13 6 23) 各▲内田友明 9 12 21 この人の娘千代(一) 夫婦約束した加藤虎之助といふに捨てられ、加藤の宅に行きて服毒自殺をとぐ。小石川區戸崎町理髮業。

(13 6 25) 各×録田正裕 23 18 41 (三) 臺灣で旅客機墜落五名惨死、録田は其の操縦士で、勿論惨死の一人也。

徳島生れ、

(13 7 18) 日×芳沼輝昭 16 24 40 (一) 水泳溺死、江戸川區逆井一丁目

(13 7 21) 茨よ▽菅正照 12 18 30 (六) 飲酒中夫婦口論から、殺して了ふぞと出刃庖丁で妻ナカの左乳房や右肩を突き刺し、直ちに捕はる。茨城縣太田町内堀丁時計商。三年前正照の虐待を恨んで妻の渡邊アサ(四) は劇薬自殺をとげ、さきに一人娘千代子(縣立太田女學校卒業、當時十八歳)は父の亂行をいさめて自殺した事實もありといふ。

(昭和13六月) 理事小貫紹道『禁名詳記』(付けてはならぬ名前) 發表の翌、この記事を見る、實に感慨無量也。我國の姓名學者、戶籍吏は勿論、國民全體、常識を涵養して、法律にふれぬからとて、前記諸項の命名をばせぬようにしたし。

(14 11 4) 各×堤良明 12 15 27 (五) 明治二十二年生、京城覆審法院檢事病歿、

昭の字(名前の下) 凶運の實例 理事 狩野博史

×仙頭俊昭 21 18 39 (三) 陸大教官歩兵少佐仙頭俊三長男、(14 5 5) 節句の當日に三歳の死亡は凶運である。杉並區東田町二ノ一五六

父少佐▲仙頭俊三 21 12 33 も天地斜線衝突大凶、(金火金金) 五行三一大凶、姓名三十三畫は構成上缺陷あれば大凶になり易いといふ靈理に當て嵌りたるを恐るべし。陸大より聯隊區司令部宛の死亡通知による。(編者曰く、狩野理事は東京市本郷聯隊區司令部書記にして歩兵准尉なり)

二命名に兄弟姉妹の順序を誤る勿れ。(根本彦衛門翁口授)

兄が三郎で弟が忠一や、兄が孝次で弟が敬太郎や、姉が秋子で妹が春路や、姉が捨子で妹がとく、姉がツギ妹がモトなどは逆名である。兄が三之助で弟が誠三や、兄弟が信五、五郎の如き同格も凶運となれば、判断にも注意すべし。但し親が源八で息子が傳八の如きは兄弟でないから差支なく、親子兄弟姉妹が18畫とか31畫とか33畫……などの同畫數は差支無し。

■兄弟逆名の事、是までの書物には無いが是非共心得おくべし。

×櫻井平七の弟泰次郎(四七) 火事で焼死、下谷區竹町一二ノ二〇

×市川敬作の弟秋太郎(三九) 三人殺しをして自殺す、荒川區尾久町五玩具具商

▲淺川孝太郎の兄龍吉(四〇) 母を斬殺し父に重傷を負はす、群馬縣北甘樂郡尾澤村農

▲鈴木武七の弟和一(四三) 十八年前一寸した過ちから兄武七を盲目にしてつた。栃木縣下都賀郡寒川村

▲兄玉 誠 醫學博士で、大連のバラ／＼事件、勝美夫人の夫であり、勝美夫人を離縁して後に年若き妻を

迎へたが、自身は四十四歳にして病歿した。實弟に元一といふがある(八1121)よ。命名上の

見解では元一が兄でなければならぬのである。兄弟の逆名恐るべし。

×内野 義一(二六) 強盜殺人犯人、三原山で自殺す(13823)日、京橋區木挽町三ノ哲二次男

■崎の字は11畫であるを、十二畫也といふ謬見者が、四女に三芳、五女に弓二、六女に一乃と命名したるは、確かに姉妹の逆名である。そのために、忽ちに家庭運破れ、四女と五女とは實母に生別となつた。そして六女が十歳の頃、息子としては唯一人生きのこつてゐた者(姉妹の中間なる)が昭和十二年の夏五月、十九歳にして死亡した事實

が岐阜縣惠那郡某村にある。

■崎の字が本當に十二畫ならば、其の家の息子達は全部同畫の命名ゆゑ、姓26 ●●、名15 ○●で、陰陽●●よりすれば、此の家庭の不幸は姉妹逆名の靈罰である。■兄弟姉妹の逆名をば必ず必ず付ける勿れ。

三命名は實體を偽る勿れ。(根本彦衛門翁口授)

二男の市太郎、丑年生れの卯之助、公爵の子でなくて公子と二字連続の如きは實體を偽るものである。但し長男にして何次、何三郎の如きは兄弟の順序をさへ違はぬならば差支無し。

▲三男にして●崎ケン翁氏に元雄と改名された岡山縣の三十歳の男子、五ヶ年間健康が段々衰へて来たとして更に改名した實例がある。●崎氏は文字の意味は深く考へるに及ばずとて、姓名の意義を輕視するけれども、實に困つた姓名學者ではある。二女三女等にしてモト子といふ名の凶運者が度々新聞に見える。

■梶原氏は平家なるに、長男に源太景季とは何事ぞや。源太は源氏の長男といふこと、景季の季は末と同じく末子の意味である。景季は何等の罪科も無きに三十九歳の時、親子兄弟一家全部斬り殺されて、其の家斷絶となる。一人に二つの偽名的命名の禍ひて是非も無し。

四漫りに賢君明主英雄豪傑を眞似る勿れ。

明治大正時代に命名の正成、謙信、清正……などいふ凶運者が度々新聞に見えた。命名上特に注意してほしい。

×齋藤 實(三三) 墜落溺死、茨城縣久慈郡生瀨村

▲大石良雄(三三) 拘留一週間、行人をビールビンで撲つて、京橋區月島御町

▲廣島義家(四) 病苦と死に呪はれた家、(9 10 31)日、城東區北砂町、妻は赤兒を抱いて死んで居り、

三人の子が泣き叫ぶ中に本人は中風にふせつて居つた……

■(注意) この姓名は昔の八幡太郎を真似たものである。●崎式は勿論、五行二種であるから、日本國中の姓名判断士が皆良格とするものである。譯見は無益有害也。

五 珍名や滑稽の名は宜しからず。

小説の尼子十勇士は何れも一風變りであつたが、何れも不結果であつた。我等より見れば珍名や滑稽の名は決して真面目なるものにあらずして、姓名即ち生命を弄ぶ不心得千萬也といふべきである。

栃木縣足利市には、父の孔明が長男關羽、二男張飛と付けたが、これはどうかと戸籍吏が問ふ。筆者答へて、張飛は日本讀みにすれば『張り飛ばし』である。日本男兒としては凶運必定也といふた處、張飛は其の時當歳にして既に死亡して居たを、戸籍吏がことさらに問ふたのであつた。

▲根本寢坊之助喰左衛門、昭和四年の哲理派の某書に東京市南品川で實在の人とあり。運命如何?

▲悪戸鍋鶴右衛門、珍妙な名と題して、新聞『足利日報』に栃木縣足利市助戸三丁目三一九悪戸福松二男とある。

運命果して如何? 我等は日本には悪い姓は無しといふ持論であるが、悪戸姓にはイサ、カ僻易する。こんなものは改姓の必要があらう。

(12 5 20) 事實 ▲福田門明 澁谷區代々木〇〇〇の生兒、新潟縣の怪行者が出張したに依頼しての命名である。而して其の怪行者が命名の祝歌に曰く『福の神田島里にも都にも門を作りて明し照さむ』再讀して見るまでもなく、門は田島に作るものではあるまい。滑稽的ではないが不合

理である。又この名は(水火水水)(五行三二)というて五行では日本一の大凶であるから、この名を呼ぶときは凶運が何處に發生するか知らぬから、良き通稱を選んでそれを呼ぶようにと赤誠こめて忠告したが、用ひずに居ると、間もなく二十二歳の叔母が發狂して半ヶ年程にして遂に死亡した。凶運は不吉名の家にめぐつて來たのである。

(12 7 7) よ父 茂手木 魂、男 先生に敵られて少年鐵路に消える。山梨縣東山梨郡春日居村、村長の子、高等
× 甲子雄 二年生(一五)とある。鶴田訓導は大迷惑をしたであらうが、父の村長氏は珍名
訓 鶴田松之 にして、自殺した子は名 20 畫大凶、陰陽は御覽の通り、○●●●●別々の
大凶である。御あきらめなさい。

(12 8 27) 朝『新我樂多文庫』欄に、○子遂に死亡、K一君も死んで了つたとある。家老の家柄で評判の物知り氏が一女をまうけ○子と名づけたが戸籍係が○は文字でなく記號だというて受付けない、紛争中に○子さんが死んで了つたのである。また今を時めく經濟評論家某氏も長男にK一と名付けたが區役所ではKは日本字にあらずというて承知せぬ、ゴタ／＼して居る間にK一君も死んで了つたといふのである。同紙御寄贈の中野區大和町六二、曙書院臼井子雄氏に略儀ながら茲に謝意を表す。

(13 6 5) 各×戸ヶ崎 秋田(二五) 内妻と情夫とを突き殺して自殺す、群馬縣邑樂郡中野村

(13 6 16) ホ×森下 スネエ 列車顛覆、小學生二十四名即死の一人、和歌山縣橋本校

(13 7 21) よ×富山 益紋(二五) 書置自殺す、荏原區戸越八六九

(14 6 10) 各▲伊東ハンニ(二二) 元國民新聞社長、本名松尾正直、天理教から六十五萬圓、その他の多數から

▲根本寢坊之助喰左衛門 ▲悪戸鍋鶴右衛門……の如きは我等に好感を興へず。文學士荒木良造著『姓名の研究』四四頁にある佐右衛門三郎虎吉右衛門（埼玉縣北足立郡の運送屋、十一字）木曾木野小路藤九郎左衛門兵衛（青森縣多額納税者、十四字）……等も現代では眞面目の命名と見ることは出来ぬ。慎しむべし。

六 命名は呼び易くせよ。

前記の根本其の他も長くして不便である。また『東京特許許可局』は實際名でなく、子供等の串刺か知らぬが、まことに以て呼びづらし。命名は三度つゞけてよんで見るべし。

七 男女不明の名は不都合であり、而かも凶運となり易し。

女子にして本字一字の孝、尙、安、隆、秀、廣……などいふが徴兵検査に呼び出された例は度々ある。

(1172) 日『東京音頭』欄に千葉縣山武郡山迫村 竹内 正(三)といふ女性が徴兵検査の通知を發せられ、

これで三度目……とあつた。

女で大山捨松、増子昌夫、男で山本登美、平山喜久は皆凶運であり、茨城縣結城郡の鈴木良子といふ男の校長先生は中學五年の令息に死別した實例がある。

(10914) 日 ▲道上 主 計(一八) 無軌道娘自殺を圖る、淺草區田原町二ノ二七 彌一長女

(1129) 日 ×秋元富士夫(三三) 花嫁新婚五日目に縊死す。中野區宮里町二六

父 藤原 良眞(一八) (11721) 各 ▲「代田白晝の慘劇、姪と甥を絞殺して三十女鴨居で縊死す」××二名は殺された兒、殺した父は母の妹で三十二畫、日本一の悪い姓名。藤原氏は世田ヶ谷區代田一ノ三九三、妻は深川區扇橋小學校訓導である。教育家でも虎喜といふ男名は凶運である。

母 虎喜(三) 二・二六事件に横死したる齋藤實子爵の兩親。母堂はたしかに珍名にして男子と思はれ

父 ●齋藤 耕平 (11813) 日 ▲佐藤 勳(三) 嬰兒殺しの若妻あげらる(男に見えて大凶也)芝區西久保廣町一丁目

母 ● 菊壽老 (11829) 日、

(1198) 日 ×小池 千代(三三) 三等機關兵大火傷死亡、千葉縣館山に於て

(1212) 各 ×渡邊 由惠(三三) 警官圓タクにはねられて慘死、芝區札の辻で(芝浦署勤務)

(12430) ホ ▲野口 年春(三〇) 女房の訴へ、三圓取られたとは怪し、品川區五反田三丁目

八 普通人に山川名所舊蹟の名は宜しからず。

九 普通人に草木禽獸金石の名を付ける勿れ。

一〇 普通人に器具財寶肢體の名を付ける勿れ。

此の三ヶ條は詩人歌人文士等には差支無きも、普通人には付けぬが良い。但し動物の名も下に付けると、金太郎が熊に乗つて行く様で、結句優勢を意味して良い事になる。

◎宮内英熊 142337 一兵卒より昇進して近衛騎兵聯隊長に至り、大正天皇の御信任を篤うした。

◎吉澤數馬 22 25 47 茨城縣久慈郡染和田村東染の實直なる中農で、地方の信用あつく、兄弟姉妹子供達全部模範生である。

×鈴木利根 刀自は京都久彌宮御用掛鈴木三郎氏夫人、五十五歳にして病歿す。坂東太郎と稱せらるる大きな利根川の名は不運であつた。(14 10 22) 日

一一 姓名同じ様なるは(文字でも音聲でも)凶運となり易し。

藤原藤房、小野小町、小幡小平次(三十二畫)、久野久子、菊池キク、富岡とみ、清水清……の如き凶運者が山の如くに證明し、説明し、警告を與へて居る。信用すべし。

(11 11 3) よ ▲吉田義夫(三) 花嫁路上で服毒と報せられた其の花婿である。麴町區麴町五ノ六も其の例に洩れぬ。付けておく勿れ。

一二 遠き祖先の襲名は成るべく避けるが良い。

代々の家名は差支無きも、遠き祖先の名をつける時にはよく、其の配偶者や子女の名迄も取調べての上にする。さもなければ英雄豪傑を真似ると同様失敗し易いからである。

徳川泰敬 18 23 41 氏は紀伊家の分家にして、家達公の從弟に當り、本年四十一歳の由。本會審議員正名大學士伊藤晴康、氏の改名を委囑さるゝや、現名にて良格なれども、強ひて改名するならば、徳川齊安 18 21 39

として、夫人をヨネ子と署名する事最も可なりと申し上げたるに、上野花園町の山口某といふ者、批評して、姓の徳川は既に齊うて居るのだから、徳川姓に齊の名は意味宜しからず、同じ畫數の彰宏が宜しいと言ひたる由。他の命名には如何なるものでも批評すること、今の姓名學者の悪いクセである。編者は齊安に贅意を表するものである。徳川

姓には名頭字齊の字の名譽者多數あり。教育御勸語の「祖先の遺風を顯彰す」といふ御聖言にも叶ふものも信ずるが故である。

一三 意義にのみ拘泥して難文字を付ける勿れ。

字畫の込み入つたは勿論、字畫は平易でも読み方の困難なるは實際上不便だからである。

料金を載くに平易の文字ではいけないと思つてか、又は自己の學問を見せびらかす爲か、矢鱈に難文字や難讀文字を付ける姓名學者があるが、料金を出して困難や不便にされては堪らぬ。料金を高く載くほど平易に付けて上げるが良い。

▲岡野三次といふ三男を、勝一といふ長男らしき三十二畫に改名して「まさかず」と讀まぬと凶運になるといふて金釘流の選名章を與へた姓名學者などは、如何なる考へか、我等には到底其の眞意は解せられぬ。▲岡野勝一は本郷區春木町の某理髮舖の職人であつたが、ニヶ月程で行方不明となつて了つた。(昭和十一年夏の事實)

▲鈴木博子 17 15 32 誰もひろこと讀むべき名を「ゆりこ」とよませて、十三歳にして四十三歳の父に死別した。父は鈴木勘吉 17 17 34 (天地端數衝突)といふ凶名であつた。茨城縣多賀町河原子 また淳(まさし)、忠夫(さだを)、章二(ゆきじ)、康雄(みちを)……と常人にはよみ兼ねるよみ方の人々は、何れも凶運の事實がある。

平易な文字を付けて普通によませる事が相互の便益である。

一四 (火水)(水火)直接組合には成るべく命名する勿れ。

これは男子には名譽者もあるが、女子は人妻とならぬ處女時代に、既に凶運となり易いからである。

「火を消せば水も跡無き燒野原」といふ、よく／＼考へ見られよ。

この事五行の處に既にのべたが、(火)(水)も他の木金土と組み合わせば良名は幾らでも出来るからである。

一五 命名は忌字にも注意すべし。

【吉松藏】の三字を名の下につけて、農村の農業などであると凶運となり易い。【春夏秋冬】【雪霜露朝】の文字は成るべく付けぬが良い。【歌】祝歌か哀歌か、平常にあらずと見えて、この命名には男女共に凶運者が多い様である。【半】は不完全の意味。【末、季】は終りに近づいた意味。【留】の字を子供があとに出来ぬようにとて付けては悪い。幸福が家庭に留まるようにとの意味にすれば良し。【捨】所有せぬ意味也。【景】影法師を連想して淋しさがある。【盛】盛者必衰の成語は慶賀にあらず。

一六 命名を割字にする勿れ。

割字命名とは姓名全部が偏と旁とで出来るものである。これは千人に一人とも出来ぬが、気がつかぬと出来るのである。但し三字までの姓名は割字でも差支無し。實例多數の中こゝには六名に止める。

▲桐 野 利 秋 21 16 37 (陸軍少將戦死) ▲清 浦 保 恒 21 18 39 (伯爵令嗣四十六歳病死)

▲野 村 峰 雄 18 22 40 (昭和11 3 27) 脱税させて又收賄といふ記事。三十二畫の松村は自轉車業、

▲松 村 修 作 15 17 32 (野村は城東區龜戸町稅務課員、二百圓を收賄して三百六十圓を脱税とある。

×松 沼 弘 澄 16 20 36 (11 5 18) 美術學校生徒機死す。淀橋區柏木三丁目

(昭和13 夏) 來狀の▲佐村和昭の開運とならぬは割字命名も手傳つての凶運也(再記御免)

一七 女名の四大凶惡(ヤス キク ハツ ナツ)を忘るゝ勿れ。

これは平假名に書いても本字に 安 菊 初 夏 と書いても、下に子をつけても凶惡である。これは其の發音が悪いのだから、泰子、保子、喜久、喜久子、波津、奈津、奈津子等としても凶運で、この四つの内一名でもある家庭はおそかれ早かれ必ず家庭運が破れる。編者は昔からこれを宣傳して居るので、濱口雄幸氏が總理大臣に任ぜられた時、濱口首相の夫人は夏子にあらずやと詰問的書狀が多數やつて來た。それ故に濱口氏は御子様を愛はれせずやと回答してゐるが、同氏が佐郷屋留雄(五十一畫)に射たれてからは詰問的書狀は一通も來なくなつた。

靈理學は人を迷はす爲にあらず。實に不運救済、幸福増進の赤誠に燃えつゝ宣傳説話するものである。信用せられよ。

(ン)の字の事、前にもいふたが、女のハン モン セン マン……や男性的なる義勇 武烈 龍虎……の如きも凶運となり易く、これまでを入れると六大凶惡となる。注意すべし。

男子には賢勁傳源……茂信貞靜……武勇義烈……の如きも差支無し。

女子の たき、千代、花子や フヂ サダ シゲ ノブ 等の濁音名を凶惡也と説く者もある。たきや花子や千代には限らず、姓名學上差支へ無き良名でも、自身で凶名也と思ふは男女老幼共に名づけぬが良し。

×九條武子夫人が、貞淑才藝一代に冠絶し、世の崇敬を一身に集めながら、四十二歳で他界せられたるは實に惜むべきも今更にせん方無し。

×原 殿 子 この夫人の死亡を夫の原五郎氏が廣告す。世の常の死亡廣告は多くは子供がするのだから、夫人には子が無かつたであらう。東京中渋谷七一五、

(11 9 15) 日 ×松平 義子(二八) 子爵令嬢御成門附近で電車から墜落、慈惠病院に入院後間もなく、頭部内出

血のために遂に絶命す。他は略す。

一八 命名は音聲に特に々々注意すべし。

音聲上の注意は、普通の姓名學書には見當らぬが、これは一番に注意せねばならぬ。▲有馬正、妻有馬センは夫婦の姓名を續けてよんで見ると、夫婦いさかひの様であり、▲夫長島志太郎、妻長島センも同様に滑稽である。

▲新太郎、信太(死んだらう、死んだときこえて)凶悪也。▲佐藤ミツ(三十二畫)は砂糖水ときこえて子供にもなめられさう也。同姓同名の一人は二十六歳、一人は三十四歳で、二ヶ年程の間に二人共に轢死し、一人は三十二歳にして義弟に殺されたさうで(14314)報せられた。目黒區清水町

▲關常雄(背狐尾)殺人犯人、▲青木ツネ(青狐)赤城常子(赤狐兒)などいふ凶運者が度々新聞に見える。

■鈴木常太郎といふ村長が村治功勞者として表彰された事もあるが、靈狐と野狐との區別は我等には判らぬによつて「君子は危うきに近よらず」といふ事にすべし。

(13710)ホ ▲大塚信太郎 162339 (二) 不品行を歎いて父清七(七)は服毒自殺をとぐ。城東區龜戸町(14215)ホ ▲沖 經 勝 72532 (三) 公金二十萬圓横領、鹿兒島縣大島郡和泊郵便局貯金主任、お狐勝

つとひいて、人間が負ける様の凶悪音韻である。

◎弘法大師は「聲字分明而現實相」と仰せられた。聲のある字は分けて明らかに而して實相(まことのすがた)を現はすといふのである。審議員向徹也曰く

聲字分明而現實相 七十六畫 共に七十六畫にして抱負實現の名譽數であるのだから、弘法南無妙法蓮華經 七十六畫 大師も日蓮聖人も抱負實現の御精神は全く御同様也と申して

宜しいと。尊い哉。

◎音韻の大切なる事

發 蓄 禮 子

「人生豫言」昭和12 三月號掲載

荒川美貴与女史は日蓮宗の篤信家で、靈理姓名學をも信じ、編者の著書を幾十冊となく御弘め下され、またイロ／＼の書籍を貸して下さる。宇野樂山師の著書「正しき宗教と信心の仕方」といふ書の一七一頁に左の文がある。

釋尊は三十二相悉く備はつたお方であつたと申します。それで佛像を刻むにしても三十一相までは現はすことが出来るが、どんな名人でもあとの一相だけは現はすことが出来ぬといひます。その一相といふのは何であるかといふとお聲である。形に現はれた三十一相はよしんば釋尊と寸分違はぬ様に刻めても唯一つの聲相だけは現はせない。このお聲といふのが即ち精神である。即ち何より必要なのは、その佛様の精神であるから、他の三十一相全部よりも形では現はせない最後の「一相の方がどんなに大切だか知れないのであります云々」。

發蓄禮子曰く、今のラヂオも全く聲相のはたらきである。聲相よろしきは良くきこえ、聲相よろしからねば、同じ詩吟でも、琵琶歌でも、浪花節でも、大層き、劣りがする。それ故に、音聲のひゞきの凶悪なる名前は、幸運とは信ぜられぬ。姓名學は他の運命學とちがひ、音韻を尊び、聲相は他の三十一相よりも大切也ときくからである。昔から「言靈の幸はう國」と稱せらるゝ日本國民の姓名に、凶悪なる音韻の宜しくない事、今更に言を俟たざる

ところである。 X佐藤英和(583)兩毛、山津波で九戸二十棟流出し即死三名といふ中の一人で、二十八歳といふ事で

ある。群馬縣吾妻郡坂上村、日英併合の如き徳深き名であり、しかも和英ならばともかく、これは日本が英國の下にある不見識きはまる名で、エイワのひびきが、どうでも良いわ、死んでも良いわとあきらめる様の聲相が悪かつた。

×石 鳥 道 將 (8530) 足利日報、名前の道將はどうしやうとひびき、どうして良いかと迷ふ不吉の音韻である。著書までもある名高き姓名學者であつたが、編者が氏の門人中村貴俊氏を通じて、改稱使用の事を度々忠告したが、氏は何故か忠告に従はず、半身不隨の病ひに苦しむこと二ケ年餘、東京淺草より栃木縣足利市助戸町に轉居療養を試みたが、何等の效無く、遂に縊死す。時に五十四歳であつたは凶運である。人の運命を指示してやる職掌でありながら、己れがどうせうと迷ふが如き不吉音韻の名は採るべきにあらず。

×荒 卷 常 吉 (8610) よ、アラマ狐奇智とひびく凶音聲のこの人は二十三歳にして、夫婦心中をとぐ。本郷區菊坂町醫療器具商。

▲小 松 照 男 (9125) 茨よ、困つてる男といふ不吉の音韻である。六人の子供があつて、生活難から妻マサ(三)は縊死す。茨城縣久慈郡佐原町左官、

▲荒 木 健 太 (アラ危険だ) ▲虎 崎 堅 翁 (虎座危険王) などとひびく姓名は付ける勿れ。

▲高 崎 明 也 (人格を尊重して姓の上文字換載) 編者が昭和十一年の冬、神道彌榮教の會場に於て、五六の人々三十に二畫大凶の事をお話して居た時、この子の父の、某派の易學者也とて平素より高慢の鼻をウゴメカシて居る某氏がやつて来て、三十二畫は差支ありませんと反對の言を放つた。編者曰く、崎の字を十二畫に數へると、三十二畫と思つても實は三十一畫の大吉數です。貴殿が三十二畫で差支無しといふ姓名は何といひますかといふと、私の子で明也といひますといふ。ナルホド高崎明也は三十二畫ですが、御子様は一人ですかとときくと、明也は長男で、基とい

ふ次男があるがこれも三十二畫ですといふ。それではイヨ／＼大變です。ナゼならば靈理學からいへば、基は長男であるべき筈のを次男に命名では、三十二畫の兩名と、兄弟の逆名と、凶惡の三重奏であり、他の學派では音韻の事はあまりに論ぜぬが、靈理學では極力之を高唱するが、アキヤでは家賃は取れず、長くアキヤにしておく、鼠の巢になるか、甚だしければ野良犬のお宿になるかも知らぬ。

斯く見るときは、凶惡の四重奏であるから、貴殿のお年を四十歳と見るならば、モハヤ家庭的凶變が生じたかも知らぬ。アキヤといふ淋しき暗示の凶名と次男の基とは、一時も早く改名を希望すといふた處が、明也兄弟は八歳と六歳にして、既に三十四歳の母親に死別したといふ事を、其の易者御自身が衆人の前に告白し、懇請によつて二人の御子様を改名して上げた事實がある。凶惡音韻の姓名を使用する勿れ。

(附記) 三代名相關の事

『凶名必ずしも凶運にあらずと雖も凶運者は必ず凶名也』これが我等の見解である。而して父母と自身夫婦と子供等と、此の三代は大關係があつて、其の家に凶名者が一人でもあると、其の中の誰が禍ひにかゝるか知れぬから、此の三代は誰しも良名を使用すべしといふのである。

しかるに、從來の書物には此の注意が無く、夫婦は一身同體也とて、姓名の陰陽を夫婦共に同様にするので、名頭字が陽々揃ひ、陰々揃ひとなりて、凶運に終り、或は天大地小の靈理を勘違ひして、段々小にするが宜しいと思つてか父三之助、長男桂二、次男敬一と付けて、一家凶運となりたる實例や、姉妹の名を三芳、弓二、一乃とつけて一家紊亂となりたる實例もある。

スルト、喜八郎の子に喜七郎とつけ、孫に喜六郎と付けるが如きも凶運也と見るべきである。
三代中にも、當主たる夫婦の名前が一番に大切であるが、世間には當主たる夫婦名が善良にして凶運なる者も時々は見受けるが、不思議に思つて調べて見ると、其の夫婦の兩親か舅姑かが相剋の名前なのである。夫婦の名前は身分の高下を問はず、職業の如何を論ぜず、誰でも相性にすべきである。

第四章 凶名の吉化

凶名なりとて恐るゝに足らぬ。それを救ふ方法は幾らでもある。『凶名吉化法』が即ちそれである。運命開拓希望者は篤く信じて實行が肝要である。

夏目漱石曰く、「智に働けば角が立つ、情に棹させば流される、意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。住みにくい處を寛げて住みよくせねばならぬ。こゝに詩人といふ天職が出来、こゝに畫家といふ使命が降る。音楽も彫刻もさうである。あらゆる藝術の士は人の世を長閑にし、人の心を豊かにするが故に尊い……」と。
之を換言すれば、藝術は日常の苦しい生活以外に人に安樂境を與へるものであらう。我が靈理學より之を言へば、實に凶名の吉化である。

凶名の吉化とは、凶悪姓名でも之を善良吉運に轉換し得る、イハユル轉禍爲福、拔苦與樂の靈法で、姓名學上なか／＼に重大なる要件である。而して凶名吉化法は

一 文字の畫數を異にする事 (效果少なし)

豊を豊、龍を竜、高を高……とするが如き多數の文字がある。我等も是迄多數の人々に請はれて實行して貰うて見たが、効果は實に薄弱である。但しこれは姓ではなくて名前の方である事を御承知を乞ふ。

二 印刻の文字を利用する事 (是も効果少なし)

最初某氏の説を信じて、二三の人の依頼によつて、選定して上げたが、更に効果は認められなかつた。それ故にこの説も採用せぬが良い。

三 職業を選択する事 (各自の天職)

是非共善良名でありたきは、國家的には政治家、軍人、町村的には農商漁業の人々である。而してそれ以外の人々を我等は特殊職業と見る。

特殊職業とは二百人三百人中一人で事足り、五十戸百戸中一戸で用の辨するが如きをいふので、農村に於ける酒類醸造業、物品販賣業の如き、教育家、警官、醫師、辯護士、剣道、柔道、音曲家、美術家、表具師……の如きも亦然うである。また工業は農商漁とは異にして特殊業務と見るべきであるが、蒲田や川崎などの工業地帯の工業家や職工や、醸造業の如きも、灘地方の如くに軒を並べてあり、製菓業の如きも富山市の如くに家毎に其の業務ならば、其の地に於ては普通業と見なして、ヤハリ凶名の吉化は行はれぬと見ねばならぬ。

司法や警察の如きは政治にあらず、軍人でも參謀や輜重やは、戦線に立つ者とは自ら異なり、國民皆兵というて、兵役と軍人とはまた異なりである。

力士、俳優、講談、落語、歌人、詩人、俳家、文士、記者、銀行業の如き、同じく特殊職業と見て差支無かるべく、農業の暇に盆栽を楽しみ、漁業の休みに俳句を作り、官職の閑を利用して魚釣りに出掛け、書畫を揮毫して磊塊を遺るが如きは、たとへば彼の銃砲も絶え間なく弾丸を射出す時は、銃身砲身は熱の爲に遂には破裂を免れぬが、冷やしては射ち、冷やしては射ちする時は、錆びぬ限りは幾十年でも其の役目に應じ得るが如く、我等の任務も老後まで果たすことが出来るのである。

是れ即ち轉氣法は運命轉換術となる所以である。

殊に神佛の奉仕者並に篤信家は其の威靈を戴きて、怨敵退散、惡魔降伏の安樂境に住する事が出来る。之を約言すれば、姓名に依つての適業を指示して遣れば、姓名學の任務は盡し得たりといふべきである。

四 通稱、雅號を使用する事 (一番に有力)

前にも言つた通り、人の運命は戸籍名には依らず、平素使用する姓名によつて定まるものであるから、通稱使用が理想的である。■但し戸籍までの改名が出来れば何よりの幸ひである。我等は其の手續法も取扱ふものである。

五 夫婦名を重んずる事 (これが一番に大切也)

世には其の家の主人の凶名に拘はらず、家運の繁榮がなかく、に多数あり、また良名でありながら不運なるもあり、實に不思議に堪へず。それだから姓名學は當てにならぬなどの批評を聞くに至るが、自身が凶名にして成功名譽者は何れも夫婦名が相性に成つて居るので、廣田弘毅と靜子、藤原銀次郎とロク、その他多数の實例數ふるに違あらず。

夫婦名の善良は實に「凶名吉化」の無限大力であつて、一家運命の八割以上は實に夫婦名の如何に左右せらるゝを試めし見らるべきである。

(附言) 夫が良名で婦が相性の名前であると、職業は普通でも特殊でも、成功繁昌の慶福を得らるゝに依つて、斯學の理想としては、是非共さうありたく、現在の凶名者は、何卒この第四項に據られたく、また將來、國民幸福の爲に、生兒の命名は必ず靈理順應にすべきである。

す勢ひであつたが、段々と經營難に陥り、僅かに十餘年にして賣物となつて了つた。

鳥平

○ 16 畫、同町の鳥肉商で、大々の繁榮であつたが、これ亦十年程で閉店。

十二階

● 16 畫、三字共に2の數である。二十五ヶ年の契約で、長岡市の生糸商福原庄七(三十二畫)といふ人の思ひ付きで建設され、高さ二百四十尺、東京名所の一つであつたが、期限に達しても二萬圓の取拂費用が無くて、ゴタ／＼してゐた時、大震災にあつて、ベシヤンコになつて了つた。

遠洲屋

● 32 畫、淺草區千束町二丁目の足袋商で、長男鷗野洲武義(天地衝突、59 畫、二十七歲)は昭和十年の冬、増子菊善校長(42 畫、四十八歲)を毒殺して、職員四十餘名の俸給三千三百圓を奪ひ、十二時間後に、八十餘圓を費消した時、捕はれて、十一年秋死刑を宣告され、控訴したが却下されて(12 10 26) 午前九時死刑を執行された。

福來軒

● 32 畫、女將が井戸に投身自殺した。(某縣某町の料理店)

花屋敷

● 32 畫、黃金湯 ● 32 畫、信盛堂 ● 32 畫、

金泉樓

● 32 畫、その他三十二畫大凶の實例が、【正しい、開運の鍵】に多數のせられてあります。

持越金山

● 32 畫、伊豆半島にあり、昭和 12 三月ガス爆發して四十七名慘死すと。畫數 32 の處にのせた尾去澤礦山ダムの決潰は谷本理事の談により、今また向理事の談によつてこの記事をもつす。編者はこの山の盛衰はよう知らぬが、四十七名の慘死は慶事にあらず。

商品名に就て

商品名は多數の人々が見聞して、直ぐに感興をひく様に付けるが一番である。その名稱は、國名の日本⁹、大日本¹²……と同じく、畫數の吉凶など考へるには及ばぬのである。

(味の素は味の素より外に適當の名稱はないと思ふ。名詮自性とはこれ等をや言ふならん。)

仁丹⁸ グリコ⁸ は●星ばかりであるけれども、多くはひとりで○●を具ふる様になるが、自然の靈理といふものであらう。

正 [○] 宗 [●]	13	白 [○] 應 [●]	29	兩 [●] 關 [○]	27	月 [●] 桂 [○] 冠 [○]	23
味 [●] の [○] 素 [●]	19	キ [○] ン [●] グ [●]	9	日 [●] の [○] 出 [○]	10	主 [○] 婦 [○] 之 [○] 友 [○]	23
カ [●] ル [○] ビ [○] ス [●]	9	ド [●] リ [○] コ [○] ノ [○]	9	ワ [●] カ [○] モ [○] ト [○]	9	エ [○] ビ [○] オ [○] ス [○]	12
大 [○] 學 [○] 目 [○] 藥 [○]	43	福 [○] 德 [○] 陶 [○] 枕 [○]	48	仁 [○] 丹 [○] 齒 [○] 磨 [○]	39	花 [○] 王 [○] 石 [○] 鹼 [○]	41
ミ [○] ツ [○] ワ [○] 石 [○] 鹼 [○]	37	キ [○] ヤ [○] ラ [○] メ [○] ル [○]	11	ク [○] ラ [○] プ [○] 白 [○] 粉 [○]	22	ク [○] ラ [○] プ [○] 齒 [○] 磨 [○]	38
ラ [○] イ [○] オ [○] ン [○] 齒 [○] 磨 [○]	40	他は略す。					

第六章 夫婦名の吉凶

一一三

人間世界ではこれが一番に大切である。國家は神佛の御守護ありて、はじめて發展すとする者は、必ず之を實行すべし。夫婦名の吉凶は、神佛の御精神に發祥するが故である。

『夫婦は人倫の始め也』とは聖賢の説かるゝ所にして、夫婦ありて我等の子孫も生るゝものであり、我等自身にしろも父母たる夫婦より生れたもので、父母なくんば我身も子孫もないのであつて、父母以前に考へても、我等の祖先、我等の種族は皆昔の夫婦に發したるものである。實に『夫婦は人倫の始め也』であつて、寔に以て有り難い御言葉である。

顧みれば昭和七年夏の事、印度總領事として、彼の地に駐劄十三ヶ年間、印度哲學の蘊奥を究められた某氏（特に名を秘す）東京堂に於て『姓名學大綱』をお求め下され、筆者を訪はれて謂はれて曰く、自分は字畫によつて人の運命が左右せらるゝ、かどわかには知らぬけれども、陰陽といふ方面よりすれば、宇宙間の萬物悉く説明されぬものはありません。科學的に陰陽の現はれて居るものは電氣だによつて、今自分は〇〇商會といふを起し、電氣の機械を製造して、之を英米獨佛等の諸國に賣出してゐる。『夫婦名の吉凶』（名頭字の陰陽なるは幸運なり）といふ事、はじめて承知

たし、實に欣快にたへません。ますます御研鑽成されて、國民運命のために御盡しあられたしと。

我等は知己の言として、一層精進の決意を堅くするものである。某氏は科學的陰陽は電氣に現はれて居ると仰せられたが、靈理的陰陽は我等の夫婦に認むべく、我等は我等の信仰する神佛の御精神に據つて、姓名學上『夫婦名の陰陽』を力説高唱するものである。惟ふに

現 今 は ラヂオ

の聞えぬ所はなく、トーカーは完成し、今茲昭和十四年春にはテレビジョンまでも實現して、大々的に科學の進歩を示してゐる。いふまでもなく、ラヂオは電波が空間を傳はるものであつて、空氣の成分は昔も今もかはりのないものであるから、三百年、五百年前に今と同じきラヂオの發見者があつたならば、ラヂオは三百年前、五百年前に、既に世間に廣まつてゐるに違ひ無い。併しながら其の頃は世の文化が進まなかつたから、是非も無き次第であつた。我等の唱道する

靈 理 學 も 同 理

で三百年前、五百年前に此の發見者があつたならば、三百年前、五百年前に靈理學は我等國民間に普及して、短命者や凶運者は無かつたのである。併しながら、今もいふ通り、其の頃は世の文化が今日の如くに進歩せなかつたから、是亦是非も無き次第であつた。

今や科學の進歩發達は前記の通りであるに、惟り靈理のみが其の進歩に伴なはねば、世は實にピッコの發達にして、眞の『文化生活』と稱する事は出来ぬ。

我等の篤信する神佛が、我等に靈理を御授け下されて、弘く國民間に普及せしめんとせらるゝは寔に有り難き次第

一一三

拜察するので、我等は諸册二尊を、我が國「命名の祖先」と尊崇し奉るものなり。

大日靈貴尊

は即ち天照大神にして、御命名の御事のはじめて書物に見えること、誠に有り難き次第であつて、

御兩親の二尊を我等がとくに「命名の祖先」と尊崇する所以なり。

夫婦名の六善

夫婦名の吉凶を鑑するに、六ヶ條の注意條件がある。我等は之を夫婦名の六善と稱す。夫婦名の六善に従つて婦人一名を見るときは、意義以外には如何ほど凶格を多量に有するも毫も差支無し。實に心配御無用である。

- 第一善 夫婦名 頭字の陰陽 第二善 夫婦名 全體の異畫
- 第三善 夫婦名 五行の異性 第四善 夫婦名 稱呼の異音
- 第五善 夫婦名 畫數の注意 第六善 夫婦名 意義の善良

一は婦人が本字ならば其の本字に依り、假名ならば平假名でも片假名に直して見る。婦人名の事は天地の處にくはしく述べてある。二は十數を見ずに夫婦共に端數を見て同數を大凶とする。三は夫婦共に全く同性を忌む。それゆゑに夫(火金火)婦(火金)の如きは差支なし。四は夫政晴婦マサ(滿佐)の如きを大凶とす。政晴とマツ(滿津)の如く上の一音の同様なるは差支なし。五は32畫は夫でも妻でも名でも姓名でも最大凶惡であり、妻の姓名23畫は大凶惡にして、此の二ヶ條は夫婦名の陰陽も無効だからである。名前の23畫は差支なし。19畫は之を忌み、16畫は名前場合は天地陰陽宜しくして姓名の合數が吉の場合合はし。姓名の16は大凶也。夫婦名の合計は32畫になりても、34畫になりても其他如何なる凶數になりても何等差支無し。六は昭和十四年夏の發見である。田中義一男夫人

はステといひ、義13 ス2 は○●善良の管であるに、男の死は自殺であるといふ。それは御孫様に義昭と(昭和の昭の字を下に)附けた靈詞にも因るが、ステを夫を捨てる意味とすれば、夫婦名意義の凶惡といふ事になるからである。斯かる見地に立つて、佐藤艸觀は、カツといふ名も人妻としては夫に勝つ意味にて宜しからずと唱ふ。まことに一理ある事である。

よつて是迄は、夫婦名の五善というたを、此の時から六善と稱す。御推想を希ふ。尙ほ六善の整ふときは妻一人分を見れば何程凶格が多くあつても差支無しである。

(附言) 明治三十四年の夏、星亨が伊庭想太郎に殺害されて後、昭和十一年二・二六事件に至る十七夫婦は、全部

第一善を犯して、名頭字に陰陽無きものである。この事「名つけ字引」二十一版以後の一三三頁にくはし。

(11 10 10) × ○薄井 春吉 21 15 36 三 漁船難破して夫は行方不明となる、茨城縣那珂郡平磯町、これは夫婦名

(12 12 30) × ○渡邊 三雄 31 15 46 五 夫婦間に子無く、カズ子(こ)といふを養女にすると、一家皆殺しにされ、

浦和市高砂町四丁目、

これは夫婦名(金土)(金土)同性凶運の一例也。

【姓名學神髓】にカツといふ夫人を幸運として載せたるに、七年ほどでまだ五十歳にもならぬに死亡された。死して神佛となれるは、ヤハリ良人に勝つたものであらう。畏るべきなり。

吉凶の發現

◎健康、長壽、成功、名譽、家庭圓滿、子孫繁昌等の喜びは誰しも望む所であるが、この幸運は夫婦名の相性に發し、昔から今に至るまで、夫婦名の善良から生れた善良名者には、不徳義者や、窃盜強盜、詐欺横領、放火凌辱殺人等の罪人の出た例は、一回も未だ曾て有らず。

吉凶對照表

夫婦名相剋者	夫婦名相性者
子持たずに終る 子は虚弱なり 子に死別する 不具、短命となる 不徳義をすすむ 不徳義漢を生む 隣近所と仲悪くなる 犯罪が突發する 犯罪人を生ずる 兇變が突發する 夫婦情死となる 夫姦婦となる 姦夫姦婦となる 事業失敗となる 破産亡家となる	子は福者なり 子は皆壯健なり 子は皆長壽なり 健康にして長壽なり 模範的・家庭なり 子は皆立身出世する 交際圓滿の徳望家也 品行方正の人格者なり 教育行届いて公益に努む 常に平和で進展する 和樂して賑やか也 親しき仲にも禮儀あり 事業成功の大名譽家也 益々發展 子孫繁榮

▲虚弱、短命、失敗、種々の不名譽、家庭紊亂、犯罪突發、破産亡家等は誰しも之を嫌ふのであるが、夫婦名の相剋者からは、其の何れかが發生するを恐るべく、之を表示すれば大凡上の如し。

對照してしみるゝと見られよ。

以上は實に其の大略を述べたものであるが、こゝに書いた一行の文句其の通りに限定的のものではない。是迄世にあらはれた幾多の兇漢、不徳義漢、窃盜強盜、詐欺横領、放火凌辱、殺人犯人や、家庭の悲劇、國家の大逆事件等、ことごとく自身の凶惡名か、または夫婦名の相剋に發生したといふのであつて、これを財政方面より見るも、祖先以來の資産を失ひ、親類との交際も出来なくなり、或は法律上の罪までも犯して、アタラ家名を汚す者も少なからず。斯かる見地に立つときは

國家の大事

實に夫婦名の如何に勝るものはない。世には、人は先天運によつて定まつて居るのだから、名前の如何に因るものでなく、従つて改名の効果などあるものでないと、姓名學を排斥する者もあるが、それは是迄の誤つた姓名學（夫婦名の事を知らぬ姓名學）を見ての批評であつて、我が靈理學派の正しくして力ある合理的に依るときは、凶運者は何れも凶惡姓名に定まつて居るものにして、殺人などいふ先天運があつては堪つたものでなく、被害即死などいふ先天運があつては尙々以て堪らぬ次第である。

我が靈理學よりいへば、すべての不吉事は凶名者と凶名者とが出つ會して生ずる凶變であつて、決して先天運などいふものではない。

星亨と伊庭想太郎、鈴木辨藏と山田憲、永田鐵山と相澤三郎、石田吉藏と阿部定……に至るまで、何れも凶名者と凶名者との間に發生した凶變に外ならず。殺人犯などいふ先天運があつて堪るものでない。

其の他すべての不吉事は、皆凶名に發する靈罰であり、古來善良姓名と夫婦名の相性には犯罪者皆無なる事、確實なる靈證である。世間には夫婦名相性にして子持たずの者もあるが、獨身中に肉體に缺陷を生じた者はせん方無き事である。

諡の靈威

我等の靈理學研究は明治三十六年春より今茲昭和十五年まで、すでに三十八年、其の宣傳（常總新聞發表）は大正八年以後今に二十二年に及ぶが、事件發生毎に新聞紙上で判明せぬときは、戸籍謄本をとつて見るに「豫言的中」となる事、全く神佛の御精神にして、國民の齊しく明鑑となすべき也と、敢て強調力説する。

スルト時々、我等は不運であるが、我等は父母の相剋名の間に生れ、父母はモハヤ死亡したれば今更にせん方無しと言ふ者がある。

是れが即ち昔から諡の法式ある所以である。諡とは其の人の死後に、生前使用の名と異なる名前をおくる事で、例へば徳川光圀を義公と稱するが如きである。

戸籍法（法律的）には死亡者の改名は認めて居らぬから、通稱として紙にかいて位牌の上に貼つて、信仰的に、我等の父母は斯ういふ名前であつたと拜するだけで充分である。其の眞心は地下の父母に必ず通するが故である。

特信者が石碑面まで改むる場合には、菩提寺や神官（神職）や警察署までも届け出でねばなるまいと思ふ。

これは決して祖先の意志を枉げ、祖先の靈を瀆す意味には成らぬ。而して其の改名を子孫たる人々が認識すれば宜しく、一家圓滿、子孫繁昌は祖先の靈も之を喜ぶに相違無いからである。

埼玉縣比企郡松山町に、如何なる難病でも全治させる老大家があつて、令息達は皆帝大醫科卒業、夫々顯要の地位に立たれて居るが、其の老大家がどうしても直らぬ青年の病者に出會ひ、段々調べて、父母が相剋名なるを確かめ、其の青年を編者の許に紹介して呉れ、諡の改名によつて全治せしめた實例がある。

科學のみで救はれぬときは靈理の力を假りる。これが本當の國手なりと轉た尊敬の念を大ならしむるものである。それにつけても、東京本郷蓬萊町の醫學博士森田正馬（三十二畫）が『人は病氣に罹らば醫藥に頼れ、而して死んだなら夫れまでの運命也とあきらめよ』と暴言してゐて、二十歳の一人息子に死なれ、三年後には四十幾歳かの夫人に死なれて、全く一人ボツチの寂寞となる、横暴の靈罰、哀れといふもおろかなる次第なり。

吉凶の實際

我が國開闢以來昭和の今日に至るまで、夫婦名の善良（即ち相性）から生れた善良名者が、國家貢獻、社會奉仕の誠意を捧げ、皇運を扶翼し奉るに反して、不徳義を働き、不忠不孝を敢てし、國家の進運を阻害する者、悉く自身凶名なるか、又は夫婦名の凶惡（即ち相剋）より生れたるを見るとき、眞に我が家を愛し、國家を念頭に置く者は、子女の命名は勿論、自身の夫婦名もすべて靈理順應にすべしと聲を大にして絶叫する。

■幸徳秋水でも、難波大助でも、昔の足利尊氏でも、芳川鐙子でも、何れも皆父母は陰陽でない相剋名であるが、これは會長の他の著書にゆづつて此處には略す。

弓削道鏡と北條義時との二人の父母名がわかると、是までに日本國にあらはれた不忠不孝者の出所は全部判明するが、圖書館に二日通つて調べても未詳なるは遺憾である。後の篤學者の研究を熱望する。

● 兒玉 誠 13 14 27 昭和八年九月から十月の初めにかけて十日間も各新聞紙上にぎはした大連の殺人事件の夫婦で、誠 14 勝 12 ● であり、関係者は全部凶悪名であつた。

● 兒玉 誠 13 14 27 博士は大連を去つて新潟醫大病理學教室に移り「嗜眠病と原體」の研究を續けて居られたが、不祥事件の三年半後に、急性腦膜炎で逝去の事(12 23)の各紙に報道された。博士を先天的に不運の人もといふ勿れ。不運は生れつきではなくて見らるゝ通り、富士子といふ夫人を迎へたからで、誠 14 富 12 ● の凶悪であつたからである。

(四十四歳死亡といふ先天運は無し)

× ● 増子 菊善 18 24 42 昭和十年十一月「奏任校長毒殺さる。職員四十九名の俸給三千三百圓を奪はる。白晝淺草雷門明治製菓喫茶部の格事」と題する記事の校長で、菊 12 イ 2 ● の凶悪であつた。(四十八歳にして毒殺されるといふ先天運は無し)又曰く、菊の御紋の禁止である事、校長先生は御承知の筈です。家には紋章の大事なるが如く、人には名前が大切であるに、菊の字をつけておいた事、アママリであつた。御成佛なされ。

▲ ● 鶴野洲吉次郎 38 22 60 右毒殺犯人の兩親。淺草區千束町二丁目の足袋商で、新聞には遠州屋と出たが、小祝副會長(淺草區花川戸二ノ二五)が州の字は間違也との靈感により、直接行つて見ると、遠洲屋の三十二畫であつたといふ。個人に用ふる三十二畫は家號にしても凶悪である。

(殺人の息子を出したのだから)

犯人▽鶴野洲武義 38 21 59 七 是 鶴 18 武 8 (天地衝突) 必ず家庭運を破る凶格にして、姓名の59は常人の爲し

得ぬ不埒放行數で、斯かる大それた未曾有の大不祥事を現出したのである。記事重複御仁免を乞ふ。

(囚みに) 59畫の處にのせておいた齋藤彌吉は四十八歳の時、窃盜前科十二犯、西茨城郡岩瀬町大字本郷と報ぜられ、また後藤官兵衛は、昔、常陸國久慈郡和久村の庄屋で、黃門光圀公の西山莊を見舞ふ度に、如何にも長座に迷惑する義公は「長いもの三間槍に秋の月、天下野の洞に和久の官兵衛」と狂歌されたさうな。自己の業務を怠りての上に領主にひまとりを掛けるは良き役人ではない。子孫は吉兵衛と稱して、2畫少なく7畫である。(脱線多謝)

× ● 石田 吉藏 10 24 34 石田吉藏は昭和十一年五月「エログロ殺人事件」「主人殺し、局部切取りの珍事件」などと報ぜられた被害者で、夫婦名頭字の ● ● から姓名合數までも端數

同格の凶悪であつた。

▲ ● 阿部 重吉 19 15 34 右局部切取り犯人阿部定(天地衝突大凶)の兩親。人妻のカツは凶名で、ヤハリ端數

同格の大凶である。

× ● 松方 勝彦 12 21 33 (11 12 19) 各、松方巖氏令息棚から轉落死亡と報ぜらる。公爵家に生れても、自身は(天地斜線衝突)大凶、夫婦名頭字 ● ● 大凶、夫婦名端數同畫大凶といふ、

大凶の三重奏に凶運がめぐつて来たのであつて、決して先天運、宿命ではない。兩親の名も見るべきである。

▲ ● 松方 巖 12 23 35 前記勝彦を生んだ頃から其の成長時代は公爵家であつたが、皇室の御經費を預り奉る十五銀行破綻を來し、辭爵平民となられたは、巖 23 保 9 ○ ○ に因るものにして

決して先天運、宿命ではないのである。夫婦名の相剋忌むべきである。

たかの問題になると、其の子石童丸が 加5 石5 (天地衝突) 必ず家庭運を破るの靈理に支配されたものである。
 穴賢や。

子の名凶格の爲に

夫婦の名は相性でも、子の名が凶格の爲に不運となる者が多数にある。二・二六事件で命を殞した渡邊總監には恭二といふ令息がある。恭は10畫ゆゑ下の二を加へて12畫となり、渡の12畫と(天地衝突) 必ず家庭運を破るので、母上が鈴子と署名して鏡太郎と夫婦名を相性にしても無効に了つたものである。

斯かる事實が幾百家庭もある。左記も其の一例である。

●櫻内	幸雄	25 20 45	(13 3 16)	各、元商相櫻内幸雄氏夫人逝去、五十七歳と報ぜらる。我等は「實用姓名學」二七頁に圓滿にして名譽の夫婦と掲げておいたので、この記事を見て身を斬られるやうに感じたが、死亡廣告を見て胸をなでおろした。それは御長男の乾11の1が 櫻21の1 と天地衝突であり、御次男は見らるゝ通り、姓名端數衝突にして兩名共に家庭運を破るの凶格であつたからである。靈理學の「天地の順逆」信すべきなり。
○貞子	貞子	25 12 37	五七	
○長	乾雄	25 23 48		
○次	義雄	25 25 50		

子の名は善良でも

近頃は姓名學が盛んになつて來たので、我が子は幸運にたく思つて、良名を付けるけれども、夫婦名には心付かず、凶運を招く者が、新聞には幾百家庭も報道される。

父母の名が相剋であると、如何ほど子の名を善良に付けても家庭運が破れるから、「三代名相圖」は是非々々守つて戴きたし。實例幾百名中からホンの一例をあげる。

死	○鈴木	清二	17 13 30	(12 3 31)	日、死亡廣告、日本橋區濱町三ノ四〇 ヘルツ丸本舗
○男	○國夫	常磐	17 26 43		■鈴木國夫は三十二畫だから日本國中の姓名學(靈理學派以外)に照して見るに良名の管なれども……清11 常11 ○○で父は四十七歳死亡。
×	○今井清一郎	美枝	8 22 30	(13 5 23)	各、石井柏亭畫伯邸内に絞殺の女を投げ込む。荒川區日暮里町九丁目
○長	健夫	健夫	8 15 23	三九	山久商事取締役今井氏の夫人が絞殺されたのである。
■	○子	美9	○	○	○で夫婦名は相剋である。

二度目の夫婦

×死亡 ◎圓滿

改名して凶運となり、二度目の夫人で圓滿なる者。

○伊藤	俊輔	伊藤	博文	25 16 41
○野村	スミ子	伊藤	スミ子	25 14 39
○山縣	狂介	山縣	有朋	19 14 33
○石川	友子	山縣	友子	19 12 31

改名して凶運の例

◎圓滿 ×死亡(注意して見られよ)

我等の見聞、改名して凶運となりたる幾十夫婦中の二三を左に

◎桂 小五郎 10 17 27 × ○木戸 孝九 8 11 19 夫婦共改名、端數同畫となり明治10 五月四十
●幾松 10 20 30 四歳を以て病歿せらる。

× ○松田 耕扶 13 17 30 昭和九年の夏、日本姓名學會(東京本部)創祖○原一二と名のる方が御出になられて、
○フミ子 13 7 20 松田耕扶といふ名の判断を請はれた。良名の事をお答へすると、松田は熊本縣八代町

で同會の支部長をやつて居られたが、改名間もなく、五十二歳で死亡された由。それでは妻子の名が相剋になつて居たからですと言ふと、こゝに掲げた通りである。或ひは文字であつたかも知らぬ。○原は其の後自身の名をば凡聖と改めたが、頑迷にして選名法は改めず。夫婦名頭字は今尙ほ陽々、陰々とならざるさうである。

× ●下田 昌司 8 13 21 舊名はきかぬが、右の松田の義弟で、夫婦共ヤハリ本部長○原凡聖の改名の由。
●惠代 8 17 25 松田の死亡後を引き受けて、熊本支部長をやつて居たが、(13 4 8) 消防手とし

て町内の火事に出動し、歸宅後頓死された。年は四十九歳といふ事である。夫婦名の事重んずべく、
■木戸侯も松田氏も、夫婦名の六善の第二項を犯したる禍ひである。

◎ ○小木謙太郎 7 31 38 規義 7 24 31 上は本名、下は改名、
●ナカ 7 4 11 × ●ナカ 7 4 11

右は(11 7 25) 天満宮御祭り當日の各新聞に『醫學博士、夫人を刺殺して自殺す』と報ぜられた。博士も夫人も靜岡縣岩田郡光明村出身で、當時荏原區中延町一二六八光明醫院々長で、今回の三日四夜に亙る防空演習のために、神經衰弱を昂めて、斯かる不祥事を發作的に突發したるもの也と記されてあるが、我等より見れば、看板にも掲げた規義の名(新聞に看板の寫眞版がのつてゐる)が夫人と相剋のためである。

而かも舊名は◎印の通り、三十八畫にして何處にも缺點無き良名であるから、其の身相當の成績はあげられて居たにちがひ無いが、より以上の發展を望むが人情の弱點で、生兒の命名を依頼して

▲小木雪郎と雪の字を付けられた其の時(雪郎は父母が今いふ無理心中をとげた其の時六歳ゆる六年前)小木家はすでに凶運を孕み、博士は郎は十四畫だから四十二畫の凶名也と欺かれて、改名させられ、夫人は元のまゝであつたから、高橋是清氏が秀幸と改名しても夫人シナ子(品子とも書いた)と相剋の爲に横死を遂げたと同様の、否小木家はそれ以上の凶運となりたる事(●崎氏も新聞紙上で御承知の筈)此の一事を以てしても●崎式姓名學は實に國民を禍ひするものである。雪霜露などの文字は熊崎氏のイハユル舊式姓名學では忌字であるから、これは熊崎式命名にちがひ無し。熊崎式の人々は當然自身からアヤマリの學説をすて、正學に轉向すべきである。我等は一日も早く其の實行を切望す。■小木博士の改名は31の1が夫人の姓名11の1と相剋であつた。

(又曰く) 神經衰弱などいふは實に贅澤である。身分相應に安んじて業務に勵めば、決してそんなものにかゝる事は無い。たとへ不眠不休といふ様な場合に際會して多少精神の疲勞する事ありとも、夫婦名相性の人は常に慰安とか休養とかいふ靈威が戴けて居るので、間もなく快復して平素と何等の異りも無きに至るものである。夫婦名の事尊重すべく、我等は誠意を盡して、謹んで博士夫婦の英靈を弔し、聲を大にして夫婦名の尊重を高唱する矣。

秦任校長夫人撲殺事件

正名閣埼玉支部長 正名大學士 佐藤 艸 觀

埼玉縣入間郡名栗村小學校校長從七位勳八等加藤芳次氏は、平素婦人問題で素行治まらず、常に家庭の風波絶えず、去る六月十五日夜同校職員一同三峯山へ旅行決定、旅費十圓支出の事より夫人と激論の未、遂に夫人を撲殺したとの記事が各新聞にあり。八月二日の讀賣新聞所載の夫婦名は左の如し。(×は死亡)

▽	加藤 芳次	24 14	38
○	加藤 芳次	5 19	8 8
×	富士子	24 18	42

天地は二重の不順大凶ゆゑ必ず家庭運破れる凶格、○○●●陰陽別々は事業と健康と一致を缺く凶惡で、

夫婦名頭字 芳8 富12 ●●相剋大凶が夫人撲殺といふ不祥事を生んだものである。

攫はれた妙子ちゃんの母自殺す

同人

去る六月十日(昭和十四年)上野松坂屋に於て愛兒妙子さんをさらはれて以來すでに二ヶ月餘、司法當局はもとより民間一般をあげて遂には千六百圓の懸賞までもかけて其の行方をたづねたにも拘はらず查として判明せず、事件以來極度に心痛せられた母親の貞子さんは責任の重きにたへず遂に自殺せられた旨各紙に報ぜられ、未曾有の慘事に世の同情を駆り立てて居るが、之を靈理學に照らせば世にも稀なる凶惡姓名の一家でありました。

○	中山 政成	7 16	23
○	火金 金	7 12	19
○	貞子	7 15	22
○	長男 中山 良宗	7 15	22
○	長女 久美子	7 15	22
△	妙子	7 10	17

家庭運を見る天地は不順大凶、陰陽は陽偏多大凶、五行三一最大凶惡で、私の驗證上は急變突發の難にあふ者多し。天地凶惡の二十三畫亦大凶運なり。殊に夫婦名頭字の政9 貞9 ○○は最大凶惡。夫人の十九畫は大凶惡。子供さん達の二十二畫は揃うて大凶、おどろくの外はなく、妙子さんの名は10畫にして年若くして家庭に0ゼロを生ずる大凶惡の暗示ありしを、思へば靈威の恐ろしさに今更ながら畏み懼る。

■編者曰く、靈理學を知らぬ多數の人々は、凶運に終つた者を見聞するとき、さういふ運命であつたでせうとて、運命の二字に片付けて了ふが、靈理學の篤信者は、凶運を免れて幸運に恵まれる事は、いくらでも出来るといふ確信をもつて、家人一同に實行してほしいものである。

◎相性の夫婦

○	若槻禮次郎	24 34	58
○	徳子	24 18	42
○	鈴木貫太郎	17 26	43
○	タカ子	17 8	25

濱口氏、井上氏、團氏等と共に度々狙はれても、いつも無事にして、男爵の榮譽を擔ふに至る。禮18 徳15 ●○

侍從長、二・二六事件に齋藤子、高橋氏等と同時に叛亂軍のために射たれ、止めの一刃を刺されんとした時、夫人はどうぞ……と其の手にすがつたので助かり、五十日にして全快出仕の喜びを得られた。貫12 タ3 ●○

若槻男は島根縣土族奥村氏に生れて、若槻家を嗣ぎたるもの故、最初からして天地端數衝突ではなかつたのである。

またすべて一人を見る時と夫婦として見る時との運命の相異を考ふべし。
 編者は昭和二年一月から今に十四年間、若槻男の夫婦名相性の事を宣傳して居るので、男に若しもの事があらば、世をいつはり人を欺いた罪を以て、イサギヨク断然と姓名學界を退いて了ふ覺悟であつたが、平素信仰する神佛の御加護によつて、靈理學の益々發達するを、國家の爲めに慶賀するものであり、男を本會の名譽會員に推薦し得たる事を、同じく國家發展の爲に慶賀するものである。

◎ 大井 成元 7 11 18 ◎ 壽々子 7 20 27 ◎ 湯淺 倉平 23 15 38 ◎ 松平 太郎 13 14 27 ◎ 川崎 幸彦 14 17 31 ◎ 弘子 14 8 22	陸軍大將 成7 壽14 ○ ●	◎ 入江 爲守 8 18 26 ◎ 信子 8 12 20 ◎ 吉田 清風 11 20 31 ◎ 八重子 11 14 25 ◎ 榎本 健一 19 12 31 ◎ 花島喜世子 18 20 38	御歌所長 爲12 信9 ○ ● 米國公使 子爵 清11 八2 ○ ● 人氣俳優エノケン 健11 喜12 ○ ●
--	--------------------	---	--

普頭をとつて……(夫婦名頭字 幸8 弘5 ●○○也)

■物事すべて一千以上に達すれば、統計歩合は何割何分何厘と厘位まで出て

統計確實

と認めらるるものなるに、我等の記録は(14十二月末)に於て

夫婦吉凶	二萬七千六十夫婦
三十二畫	凶 運七千五名
二十三畫	凶 運三千三百十九名
熊式譯見	暴露二千百三十八名

昭和十五年庚辰一月二日調査

に達し、尙ほ毎月毎月増加してゐる。眞に國家の福祉を希ふ者は靈理篤信實行の舉に出でられたく、

今後の姓名學書には必ず夫婦名の吉凶を載すべきである。

第三篇 破邪顯正

第三章 破邪門 (現代姓名學界短評)

我等が通讀精査せる百七十餘種の姓名學書には、いろ／＼の謬見と妄説とがある。この批評は人を憎んでするにあらず。國民が禍ひさるるを救ふがためである。御賢察あれ。

- 一 三十二畫を大吉とする事 (名前や姓名としては實際は日本一の大凶である)
- 二 二十三畫を譯け無しに大吉とする事 (くはしき内譯を要す、本書の畫數の解を見られよ)
- 三 十六畫を譯け無しに大吉とする事 (姓名には大凶也、本書の畫數の解を見られよ)
- 四 三十五畫と三十八畫に就て (三十五畫は吉數、三十八畫は大名譽數也)
- 五 三水四畫説は邪道也 (三水は3、オホザトも3、草冠は4……である)
- 六 姓名の五行に就て (普通業者で姓名四字以上ならば五行は三種以上が良し。二種大吉説を信する勿れ。)

また命名の五行を、生年の五行に合せねばならぬと思ふ者もあるが、姓名學は姓に對して命名するのであるから、命名は生年の五行には無關係であることを確信せよ。

七 夫婦の選名に就て 縦の方面から天地陰陽を調べるは祖先尊崇、子孫長久の靈理的順道にして、横の方面から夫婦相列ぶの陰陽は、其の一家を繁榮ならしむる所以である。織物にたとへると、縦糸と横糸との關係である。熟考すべし。

八 婦人の子の字に就て (あるものは必ず3畫として加ふべし)

九 生命の有無説 これは東京淺草の東洋哲學士と名のる某氏の邪説也。それによると、澁澤榮一 東郷平八郎 大倉喜八郎 頭山滿 徳川家達……等幾十幾百の人々は「人間の符牒にして何の役にも立たず」となる。素人に向つて邪説をなすは赤兒の腕捻りと同様其の罪實に大也。其の説はあの方法を見れば誰にも判るのだから、我等に質問する前に、各々知人について試めし見られよ。

一〇 八拂ひ六拂ひ法 この法にすると、◎弓削道鏡 平宗盛 今川義元 明智光秀 丸橋忠彌 伊庭想太郎 妻木松吉……等は善良名となり、▲徳川家康 本間久四郎 宮内英熊 望月軍四郎 高村光雲 鍋木清方 櫻井兵五郎 大内球三郎……等は凶惡名となる。これが邪論妄説の明證である。

一一 韻鏡反切法 これは弊害の大なるもの也。筆者が昭和十一年の夏「花押作成法」を作りて、今に賣品として居る事は全く此の弊害を除く精神である。「人名反切法の有害」は三錢切手をそへて筆者に申込みば無料進呈す。

一二 音靈の説 和田年弘といふ人が始祖らしい。「姓名の神秘」「名相と人生」などにも請賣してあるが、國民を禍ひする迷説である。依つて我等は採用せず。我等は専ら音韻の良否に注意するものである。

一三 四十二畫に就て改名して四十二畫になれば幸運也とは「姓名は怪物である」といふ標題からして

人を喰つてゐる書物にある。研究不足なる者は之を信じて改名に用ひ、凶運者を多数に出してゐる。困つたものも。而して其の不合理なる事、本書42畫の處にくはし。

一四 實例の無き吉凶 實例の無き吉凶!! 何といふ人を馬鹿にする記述であるか?

昭和六年の夏、伊信事報(福島縣信夫郡飯坂温泉釜場十四番地社長兼主筆石塚直太郎)が三十二畫幸運の實例を知りたしとて、熊崎健翁、林充胤の兩氏を名ざして、度々紙上にこれを促したれども、兩氏は遂に發表せなかつた。惟ふに其の實例は無かつたであらう。

『姓名學大觀』『姓名學自在』等には千人の調査也とて 19 24 27 34 35 …… 畫等を皆無と記しながら、本文には吉凶の意味を麗々しく掲げておく。調査上無きものの吉凶をどうして知りました?

而して八十一畫七人と記す。我等は三十餘萬の人名を調査しても八十一畫は二名しか無い。審議員佐藤神觀が昭和十三年の夏『全國會社重役大株主姓名調査』(ダイヤモンド社發行一萬五百七十名)には七十五畫が二名に止まり、七十六畫以上は一名も無い。僅かに千人の調査にして八十一畫七人とは虚偽也と斷言して憚らぬ。

事實で無い事を事實の如くに發表する●崎健翁など其の最たるものであるが、渡部某の二十四畫大凶説も亦この類であつて、今の姓名學者の批評は、大抵は事實に基づかずに、好い加減の素人ダマシが多いのである。

近頃、眞木原玉葉(四十二畫)といふ威張り屋が、『人生幸運・名つけ字引』から姓 15 名 24 の人は長男に終薄くなるとか、八白土星の人には博の字は凶也とか、トの發音は凶運也とか評するので、質問したら今は思ひ浮ばすなどと逃げてゐる。尤もトの音に就ては自身の説に、クリスト マホメット オームト(大本か)をあけておくので、今川義元 片桐且元 土方久元 等は凶運としても、決してトの音の爲めではなく凶凶は他にある

也。わかもと 味の素 六孫王經基 徳川家達 は如何かと反駁したるに答へが無い。

我等は實例の無き吉凶をば云々せず。姓名學は事實を事實としてなすべしと要求する。

無いものを事實の如く説話して非を理にかざる男の子ごさかし

實例の無き吉凶を唱ふるは夢妄想と何ぞ探ばん

幻滅の悲哀とならぬそのうちに自我をば去りて事實調べよ

一五 名頭字三五九大凶の説 森有禮が西野文太郎に殺され、石田吉蔵が阿部定に殺されたが如き、明智光秀、

石川五右衛門、丸橋忠彌……等幾千幾百の姓名を見るべく、代用教員から身を起して首相となり樞相となりたる

清浦奎吾伯は9畫、『本間様には及びも及ぶないがせめてなりたや殿様に』とうたはれる本間久四郎は3畫、

元帥東郷平八郎は5畫である。吉凶ともに名頭字の畫數に依らず、原因は他にあるなり。

一六 名前の水性大凶の説 三井八郎右衛門(四億富豪) 岩崎彌太郎(四億富豪の祖先) は金満家番附の

兩横綱である。大川平三郎 川崎八右衛門 土井八郎兵衛 原富太郎 原邦造 高梨兵左衛門 國井伴之丞 新

實八郎兵衛……等何れも聞えた金満家で、名頭字は水性であるが、財産流失ではなく、何れもが長男に縁薄しと

もきかぬ。

一七 名前に陰陽無きは大凶の説 これも赤兒の腕捻りである。時平 秀次 秀頼 忠彌 秋水 傳藏

慶次郎 五右衛門……等幾百幾千の人々と 正風 矢一 實則 千秋 伸顯 大觀 玉堂 晴明 定家

武藏 有朋 論吉 栖鳳 十畝 喜八郎……等幾百幾千の人々を見るべきである。

一八 人名の誤記 ●崎健翁氏は平沼麒一郎(實は麒)芥川龍之助(實は介)の判斷文を掲げたので、

都新聞記者に當る者のみ當るであらうと批評されたは、姓名學界の不名譽である。其の他の書にも、菅原道實、伊達正宗、大石義雄、曾根荒助、吉田松蔭、阿部貞任、伊庭惣太郎、佐郷屋留吉……等々なか／＼に多數あり。姓名學としては實に遺憾なり。

一九 刑罰定數 梶原某の著書には『自殺數』といふのがある。又『刑罰定數』といふのがあり、犯罪者には必ず左の數を有す(と必ずの二字を入れて) 4 9 10 12 14 19 20 22 26 28 34 40 44 49 50 以上(十六數)と記す。世の實際に徴するに、實に愚論の甚だしきものである。

二〇 流年法に就て 『流年法』『衝突年表』などと稱して、其の年齢の年を大凶とする者がある。これは姓名畫數に九を加へ或は九を減じ、又別に三を加へる時もあるが、當るあり、當らぬありて、悉くは信ぜられぬに依つて我等は採用せぬ。但し判断の際、その年齢に就て注意を與ふるは罪惡ではあるまい。

二一 土性文字 『土性専用文字』と題して、カ行に屬する孝幸賢憲希喜勘幹……の如き約三百字をのせておく書が多數にある。ナルホド(和) (クワ木) 會(クワイ木) 惠慧(ケイ木) 行(カウ木)……等の文字も多數にあるが、それは發音が異なるからである。字性はすべて日本化したる字音に従ふべし。

二二 金土接續 これは姓名の接續部が、金性土性の文字であると、金が土のために腐蝕するから大凶也といふ説である。愚にもつかぬ迷論といふべし。黄金は土中にありても腐るものでないことを御承知あつて、赤兒の腕捻りはよして下さい。

二三 熊崎式姓名學 五聖關主熊崎健翁氏の唱道するところである。氏が姓名尊重の鼓吹によりて、姓名學を隆興ならしめた其の功績は確かに之を認むべきも、國民を欺きおびやかして、姓名學も當てにならぬと評す

る者を生ぜしめた方が、功績よりも多い事を考へると、むしろ罪惡の大なるを責めねばならぬ。

氏は其の學説を『五格剖象』といふが、五格剖象とはいはば、頭は頭、胸は胸、腹は腹、手足は手足と五つに分けて了ふ事で、斯く五つに分ける事は、一個の人間として活動の出来なくなる暗示にして、それが一番に凶惡であり、我等が五大原則綜合の判断及び命名の靈理學とは全く以て大々的に異なる、實に不祥の學問であつて、人格(姓名接續部の二字の合畫數) 4 9 10 19 20 を短命數と稱して、我等同胞をおびやかす事は無上の罪惡である。細評は『姓名學大綱』『姓名の支配力』『實用姓名學』『男女の相性』等にゆづり、こゝには最近の三つの例をあげて、熊崎式有害の實證とする。

(年月日) 12月17日よ 父 北野安五郎 17 24 41 25 六七五(六) 發狂者父を刺殺す。

見らるる通り熊崎式では良格ですが、子は天地衝突、父は天地逆數、共に家庭運の破るる大凶名也。

(14 9 1) ホ 父 加藤盛藏 33 25 58 32 六三二(三) 發狂の父仕事用のノミで我が子を突き殺す。

これも熊崎式では無上の良名であるが、父は陰陽別々の大凶、子は姓24名12天地合半、必ず家庭運破るる大凶也

(14 10 31) ホ 父 村井宏行 11 13 24 13 一一三(三) 主家を怨んで三人斬りといふ記事、

兩名共に熊崎式では善良名であるが、我等の靈理學では△加害者は村7 宏7 天地衝突大凶、×被害者(重傷)

は陰陽挾撃大凶である。幸運を願ふ者は誤成格の姓名學を信する勿れ。■(新聞保存)

■特記、熊崎式姓名學は、上が20下が17の二字姓の三十七畫には如何にしても善良名を付けられぬ事が大缺點也。

二四 死 數 といふ事 熊崎健翁門弟也と稱する京都の某の著『皇道家系名相學』といふ書物にあり。熊崎式の短命數におなじ。而して、三水四畫、草冠六畫……也といふ昔の邪説を、熊崎師の創見也と稱揚するが、其的中率、前の九項にあげた『生命の有無説』と同程度の薄弱さである。讀者よ、みだりに邪説に迷ふ勿れ。

大海を知らぬ蛙は井の中を廣く思うてうたふなるらん

間違ひが手柄となりて永遠に世にのこられて堪るものは

二五 姓 名 占 象 法 高木 10 といふ人の唱ふる所。其の講座と稱するもの第一講から第三講迄上下二巻

づつ計六巻。半紙判膠寫版印刷並製で一卷五〇頁標準、計三一二頁であるが、當てにならぬ記事のみである。

二六 先 天 運 説 姓名學秘旨(昭和 11 六月、膠寫版印刷、菊判)は姓名學の書物でありながら、先

天運は力強く如何共する事は出来ぬ。良名をつけて開運を望むは全く徒勞である云々と述べてある。姓名學の書物として何たる不見識きはまる暴論であらうか。■尤も本書の著者勝山某は元高木 10 氏の門人であつた由。

人事の百般が、姓名占象法や姓名學秘旨の記すが如く、先天運(宿命や遺傳等)にありとせば、三字經に掲ぐる『性相近し習相遠し』といふ語も嘘になり、『優生學』も成り立たぬ事になつて了ふ。

筆者の親戚に、三十年前、家では短命の血統であるから、自分も若死にするではあるまいかと、大層心配するらしい人があるので、筆者はいうた、御母上が三十八歳の死亡は黒澤クラといふ三十二畫大凶のためであり、其の外五十歳位の方々も皆凶名に因るのである。あなたは姓名も善く、夫婦名も良いから、六十歳以下などで死ぬ様の事はあり

ません、御安心成さいと。ところが其の人は慶應元年丑の生れで今年七十六歳、夫人も七十歳かで共に健在、孫様も大勢あつて、家庭大いに賑うて居る。

これはホンの一例を述べたにすぎぬが、『幸運者は良名也』の確證である。

運のめぐらし方に就ては、靈理順應の改名を信すべく、その靈理靈驗の尊さは山なす禮狀に依つて知るべきも、その禮狀は茲には略す。

めぐる運めぐらさずして凶運になやみ苦しむ人のはかなさ

運命はめぐり来るなり 姓名の善に善運 惡に惡運

二七 四柱推命學に就て 伊藤10月の不都合を廣島縣から長々と訴へて來た者がある。高木 10 著の四柱推

命學には、著者(高木 10)の長男が十七歳の死亡と次男が早大卒業實際の死亡とは、著者の生年月日に子を剋す星があつた先天運によるもの也と記しておく。御自身の高木 10 は天地衝突大凶、本名の清水〇教(金金木木)は五行二種大凶に思ひ及ばぬは困つた運命學家である。

自慢らしく同書に掲げた知名人士の判断が十名程あるが、全部はづれたはどうした事か?

運命の元は名前の善惡ぞ 生れ月日に吉凶は無し

誠無き人の豫言が當りなばゆでた玉子が時を告げなむ

二八 名 靈 通 この書には文字畫數及び讀み方の無定見が約三千五百字中に約四百五十字の多數あり。假名

には一から五十まで番號をつけて、其の番號の數によつて吉凶を判断する滑稽までもあり。これまた十名試みてはづれが七名もある無用の長物也。

二九記述の杜撰

靈理學派以外の書籍は、皆さうであるが、姓名と人生、名相と人生、姓名學原理、

五氣性情理解、姓名大學、開運姓名鑑、姓名占象法講座……何れも何れも杜撰きはまるものである。「姓名大學」の『粘績格』は吉凶判断の困難なる事天下無類である。一見したき御仁には貸して上げますから、書留小包料十

三錢をおくらるべし。批評は五頁や七頁にはつくされぬ長文であるからです。

三〇 曆の大小に依る吉凶説 これは大の月の數を大吉、小の月の數を大凶とする也。24畫の天地陰陽良格の凶運

者は未曾有なるを(實例一名も無くして)大凶也といふ。この虚偽こそは道德上實に大なる罪惡である。

三一 出生兒の男女豫知法 信夫といふ人ならば其の陰陽によつて初めは男子、次は女子、誠三郎といふ人は初め女子、二番目は男子、三番目は女子……といふのであつて、萬一それに反すれば其の生兒は短命也とおびや

すが、喜八郎といふ人に初めから男子ばかり生れて一人も缺けず、文曆といふ人に最初に男子が生れて無事なる

を何と説明するにや? 少しでも多く信用を得ようとの人氣取り説は中るもあり外れるもあり。あの『流年法』と同様なれば、あま

りに感心するには及ばぬのである。

三二 (姓名文字) 上下同畫大凶の説(原脩次郎の如き)

三三 () 同 () 下の同畫大凶の説(鏡木清方の如き)

三四 () 同 () 意義に關せずといふ説(熊崎式の暴論)

三五 (天地の差) 小は大吉、大は大凶の説(天子堂の謬見)

三六 (天地合計) 八畫、十二畫、大凶の説(○理派の某氏)

三七 (忌字に就て) 名頭字三五九の外に福登昇治勝繁彌進榮壽清順喜常國敏健章芳忠武幸良利秀伴定吉米庄

友文元嘉守憲……等約八十字をあげたる哲理派の書物は何といふ事にや。

三八 (女名に就て) (ヨシ アヤ マサ クニ の發音の名を大凶といふ説)

三九 (姓氏の解釋) 石田、小林、長谷川、加藤……等の謬見、(第一原則姓名の意義を見られよ)

四〇 (名前に依て) 色の黑白が判るとか、毛髮の赤黒が判るとか、藝人の音聲の良し悪しが判るとか、身長の高

低が判るとか、肥え形か瘦せ形が判るとか……海老名、桑田等の著書にあり。その愚昧棄すべし。

四一 畫數ばかりの短見 下に付けて悪い字は上に付けても善い筈は無し。命名文字上下の關係無しといふ

暴論は、眞木原玉葉の言ひ草である。彼れは畫數ばかりで見ることであらう。

我等は忠義といふ字を上下にして義忠と名づけても、それを不忠義なりとはせぬ。それは福利、利福、見識、識見……などが同意味に通用すると同理也と見るからであるが、▲兒島忠義と○兒島義忠とは運命に於ては雲泥

の差を生ずと見るものである。

而してまた『仁』の字や、農業に従事する人々の『誠 松 吉』の字を下に付けた者や、世の實際に照して

▲來栖浩良 ▲小野義友 ▲鈴木鎮正……等の多數の凶運者を見る毎に○來栖良浩 ○小野友義 ○鈴木鎮正……

……であつたならばと命名同字の上下を思ふや切なりである。

四二 正名法 小林○高といふ三十二畫の人の唱ふる所。五字姓名の ○○○○、○○○○、を最良の

運格とするが、世の實際には凶運者が多い。くはしくは本文にあり。

四三 印判の事 印判の用法を誤るときは、名譽も財産も危うくなるのだから、その大切なる事は今更に言ふ

までもないが、さりとて【花押作成法】の説を土臺として、命運愛敬智慧福德眷屬降魔莊嚴住所の八ヶ條を印判の輪廓に割り當てて、近頃盛んに唱道する【印章の神祕】【實印の吉凶】……などといふ著書や宣傳の如くに、決定的窮屈に考ふべきものではない。

熊崎健翁氏は大層に賢い人で、昭和十三年十月の御自身の機關雜誌に、初めて發表して、天運愛情明智福祿家族希望善積住居といふ文字を用ひてゐる。

それで説をなす者は曰く、印材は柘植に限る。實印は黒水牛か象牙が良い。水晶や金屬は悪い。水牛と象牙の繼ぎ印は悪い。寸法の悪きは二分、四分、九分、一寸、一寸二分、一寸四分……（これは姓名學の數の吉凶によるらしい）實印に姓名を彫るは悪い。實印には横に名前ばかり、認印には縦に姓ばかりを彫るべし。四角印は財産をへらす。水晶印は短命となり易し。刻字は必ず輪廓に附けるがよく、文字と文字とも連絡すべし。書體は篆書を用ふべし……と。

大體右様であるが、我等は「人はパンのみにて活くるものにあらず」の語を味はひ、「趣味と嗜好」をも尊んで、認印の如きは篆書のみには限らず、楷行草の三體は勿論、或は隸書でも差支無し。印材もまた人々の好みによつて、金屬でも水晶でも、或は石材でも陶製でも、寶玉でも差支無しとし、印判といふときは、印は丸形、判は四角形に定まつて居る様であるが、認印は楕圓形が却つて良いと思ふものであり、刻字も姓名全體でもよろしく、輪廓につかぬからとて凶惡也とはせぬのである。

東京大阪名古屋などの人々の説の如くに、其の説者御自身の彫刻でないものは幸運は得られず、開運の望み無しなどとは言はぬが良いと思ふ。是までの幸運者の印が果して其の説に合うたものばかりはあるまいと思ふから

である。

刻字が輪廓に附いても附かぬでも、四字でも六字でも（會社印などは九字、十字或はそれ以上でも）印形の中に刻字が美的に納まつてゐるものは、良き印判也とする横田憲著『實印の神祕』の記事を我等は穩當也とするものである。

祖先や父兄の印材を削りて彫り直し、それを使用するは凶也との説には我等も同意を表す。また朱肉は昔は身分によつて用ひさせず、徳川時代に士農工商の人々は黒肉を用ひたれども、今日は何れも任意にして、俳諧師などには青漆をさへ用ひて居る者もあり。ゴム判などには用色隨意也とするものである。

佐藤紳観が印材の水晶は落せば破損の患へあり、水牛象牙の繼ぎ印は繼ぎ目から分離の虞れあれば、印材は黃楊、水牛（眞持ならば殊に結構）、象牙の三種を良しとし、實印の寸法は直徑五分の丸形が良からうとの説と、實印と稱するからには其の人の使用する姓名全體を彫る事が合理的であらうとの意見は、洵に其の當を得たるもの也と信ずるものである。

本會々員では目下の處、佐藤紳観、福島瑞峰、小寺觀象の三名が『印章の研究』に熱心にして、共に造詣深く、殊に福島は自用の印章は、全部自身印文を作りて、之を専門家に彫刻させ、又他人の依頼によつて印文を作られたものも多數にある。其の印影を見たき方には『姓名運勢鑑定要綱』と共に切手六錢で贈られるであらう。まづは紹介までに。

四四 門 標 の 事

門標即ち標札も亦大切である事論を俟たず。『門標の神祕』などいふ書物を見ると、材は木曾山中に産したる物を良しとし、それ以外は全部を凶惡なりとし、書體は榮養系の肥滿者は楷書、筋骨系の

體格者に行書、心性系の瘦せ形の者は草書と記してある。

我等は前の印刷の處に述べたと同様に、人々の好みによつて、大理石でも陶製でも、樺でも、杉でも、櫻でも、竹材でも、或は彫刻物でも、象眼螺鈿の如きでも、材料が清淨ならば何等差支無しとするものであり、讀み易き文字ならば、隸書でも差支無しとするものであつて、ただ改名の場合は舊名を記さず、新名ばかりを掲ぐべしとするものである。(親戚や知人等には前以て改名の通知をする事は勿論である)

(11412)の例會に、向審議員の發表したるものは好き参考である。

表札掲げ方吉凶 1 左右に傾かぬ様に正しく掲ぐる事 2 文字の處に釘を打たぬ事 3 過大の板を用ひぬ事 過小の文字を記さぬ事 4 名刺を代用せぬ事 5 一枚の板に數名併記せざる事 6 改名又は誤記の場合に一二字だけ貼り紙せぬ事 7 古くなりて文字不明とならば書き改める事 8 一字づつ書體異なるは凶也 楷書ならば全部楷書の事 但し女名の草書行書は可なり 9 故人となりたる者の表札は永く掲げざる事 10 兄弟數名の表札を掲ぐるときは段々と左方に(日本文をよむが如くに)兄弟順にする事 以上

四五 同姓名で同運命でないのを不思議がる事 同姓名にして同運命でない者があるから、姓名學は當てにならぬとて、姓名學を攻撃する人がある。しかしながら「人は環境に支配せらる」といふ語の通りに、親戚や友人や交際範圍の人々の姓名がちがひ、殊に父母妻子兄弟等の名前がちがふのであるから、同姓名必ずしも同運命ではない筈である。

▲松村任三といふ不運の軍人があるかと思ふと、◎松村任三といふ幸運の理學博士があり、▲塚原末吉といふ大泥棒捕はると報道せられた時に、同じ市内に◎塚原末吉といふ名望高き校長先生があつたりする。

我等は之を『三代名相關』と稱して何れの書にものせておく。父母と自身と妻子と、三代揃うて同名といふは無いのだから、「人は環境に支配せらる」の語を味はうて下さい。

四六 姓名學字典に就て

菊判和装で、扉に「神宮館講師松田定象著、東京神宮館藏版」とある此の書の第五版までに、6971の兩頁に高井蘭山先生…とあるを、第六版後は根本國通先生原稿と改むる事に、神田區淡路町二ノ十一神谷泰治氏の御盡力によつて決定したに就て、是まで世に出てある第五版までの書に對して一言する。

1 七一頁から一六八頁までの九八頁に、誤字や誤植が七十三字ある。これは(13123)謄寫版に附し「人生豫言」14一月號に綴り、また本文に對しては(1436)洋半紙六枚(十二頁)に互つて細評し、これは四月號に綴つて、當時の本會員及び松田定象、神宮館主木村茂市郎、神谷泰治の諸氏にも贈呈した。それをここに一々あげる事は出来ぬが、其の大意をいうて見れば

2 場と場、櫃と櫃とが入れかへになり、【強】11とあるが、11の正字はツクリの上ガムにしてロではない。ロにするは十二畫で實は俗字である。

3 クワン つらぬくは母(正方形)が正字なるを、此の書には母とある。正しく母とすべきである。

4 振假名を正すべきもの 外 杵 杏 金 俄 徇 括 拯 峻 捶 堤 推 衆 莖 蠅 齋、
黄 預 寢 搜 禍 翠 兢 磨 擡 閔 釐 懶 麒 壞 嬢 饌 攪 鯨……
いづれも右様に正すべし。

5 誤植を正すべきもの 12 美やすし(羨うらやむは13也) 13 椴 駄 甍(一二七の五行に菓菓菓と同字が

三字あるが一番下のは稟なり) 14 楹 穀 舉 15 頤 19 齋 23 鏡 24 艶 26 體 (かうべ、あたまは骨偏也馬偏は非) 尙ほ 24 の艶は實は豐18と色6との合成文字也。

■要するに、此の書の字典は根本四通書の「名つけ字引」より採つたものであるから、訂正が面倒也と思ふ者は、名つけ字引によるが宜しい。

■此の書の一七二頁から二一三頁まで四二頁にわたつて擧げておく約四千條の「姓名陰陽畫數」は實に「無用の長物」である。ナゼならば實際に當つては其の四千條を探してそこで引き出すよりも自分で書いて見る方が早いからである。本文(字典でない處)には枚を八、榮を九、之を四、貫を十一、實を十四……とし、三十二畫を大吉、二十三畫を譯け無しに大吉、三十畫を凶數、五行二種(五行三一)を大吉とするなど、其の他是までの間違ひの書と全部大要同様なる事、遺憾多大の書物にして、我等は字典の部以外には責任を有せざるものである。妄評多謝。

右四十六項以外にも、イロ／＼の邪論妄説を唱へる人があつて、今の姓名學界は實に百鬼夜行の有様で、判断を請ふが最後、實例の無きに關せず、他の命名には何とか彼とかケチをつけて、更に改名料金を巻き上げようとそれは／＼實に虎視眈々たるものがある。

筆者はいつも三つの名を選んで、採用は其の人の任意にしてあるが、筆者の選名したる「舜觀」といふを見て、舜の字はアサガホとよむから短命に終ると評した姓名學者が、北海道芽室町にありといふ。

姓名學者は「同字異義の事」も辨へておくべく、この人は「朝顔は朝な／＼にさきかへて盛り久しき花にぞありける」といふ古歌も知らず、また(6 12 31)遷化されたる權大僧正石川舜台 8 17 25 師が九十一歳の高齢であつた事などは知らぬであらう。プーアなる哉。

本書を見らるる各雅には、靈理學の如何なるものであるかを心得られて、他の邪説にだまされぬことを切望する。

赤誠謹言。

第八章 顯正門 (運命開拓赤誠發露)

一名士の改名

古來我國の諸名士は多くは改名されて居る。

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 源 義經 (牛若丸) | 羽柴秀吉 (藤吉郎) | 徳川家康 (竹千代) | 前田利家 (大千代) |
| 加藤清正 (虎之助) | 福島正則 (市松) | 片桐且元 (助作) | 榎本武揚 (釜次郎) |
| 大山 巖 (彌助) | 野津道貫 (七次) | 島津久光 (三十三畫) | 伊藤博文 (俊輔) |
| 山縣有朋 (狂介) | 大隈重信 (八太郎) | 乃木希典 (無人) | 徳川家達 (龜之助) |
| 頭山 滿 (乙次郎) | 田中光顯 (顯介) | 宇垣一成 (專平) | 大井成元 (菊次郎) |
| 東郷平八郎 (仲五郎) | | | |

右は實に其の大要をあげたものである。中には改名凶格のために凶運に終れるあり。家庭運の良からぬもあり。凶格にして無事なるは妻子の名を見れば充分には判明せぬものもあるが、何れにしても昔の人は何れも身分相應の名を用ひられたものである。我等は靈理相應の改名ならば、容易に許可される法令の一日も早く出現を望むもの也。

二 改名後の實際

これは前にも一寸記したが、靈理相應の改名は、事業不如意が順調となり、怠惰が勤勉となり、虚弱が強壯となり、

不^〇治^〇と^〇観^〇じ^〇た^〇重^〇症^〇が^〇忽^〇ち^〇に^〇全^〇快^〇し^〇、家庭不和が圓滿となり、注意散漫が記憶確實となりて、學業の成績が頗^〇に向上したる者等山の如くに多數あり、子の無かつた冷え性の奥様が改名後體温高まりて、丈夫の男子を二人までも生んだ實際があり、息子が両親の言付けを守らず親子喧嘩の絶え間無かつたのを、改名後はよく父母の言付けを守る様になり、また自から進んで快活に働くので、某夫人の如きは、家庭の不和は醫藥では直りません、靈理學は本當に家庭を朗らかにする有り難い事ですと、靈理學を宗教視して、大々の靈理教信者となられた實際がある。

我等は我が靈理學は確かに運命改造を爲し得るもの也と確信する。それは我が靈理學には前にも述べたる通り、夫婦名の六善と、三代名相關といふ、是迄の姓名學には無かつた尊き靈理を特授せられてあるからであつて、兄弟姉妹の逆名と女性名の凶惡とを改むべき特殊の注意までも明らかにして、是等の事項を有縁の各雅の御家庭に御傳への出来るを大なる欣快とするものである。左記何卒御一見下さい。

靈理學の靈威

(14930)稿

人が病氣になると、科學(醫術)では其の當人を診察し、其の當人に藥用させる。これは當然爾うあるべきである。ところが幾ら藥用させ、看護を遺憾無くつくしても、而かも年若^〇死亡して^〇了^〇ふ事實もなかく^〇に多數ある。

これは我等の唱道する靈理の存在を知らぬからである。

靈理學から見ると

人の運不運は皆姓名の良否にあり、同一家庭内に凶名者があると、其の凶名の靈罰が誰に向つて祟^〇るか知らぬのである。

それゆゑに從來の姓名學によつて、其の當人を改名してやつても、尙ほ依然として開運とならぬ者も多數あるために、高木乘氏や勝山某などは御自身の姓名學書に、改名の無効をさへ論じてゐる滑稽でもある。まことに遺憾の次第ではある。

我等の經驗(信念の實現)

妹が改名して姉が全快し、兄が改名して弟が全快し、幼兒を改名して家業繁昌となり、母が改名して子供が全快したるが如き事實が山ほどある。

右様のことをいふと、科學者は夢物語りと思ふか知らぬが『論より證據』『事實は雄辯なり』で否定を許さぬ。

世田ヶ谷の近藤といふ二十七歳の青年、二度改名したが決して開運せぬとて改名を申込んで來た。直接拜見すると何れも良名である。しかし達ての改名希望ゆる改名してやり、著書一冊を進呈し、且つ言うた、御宅には片假名に書くと五畫の女があるのです。なぜかといふに近藤の27畫姓で5畫の名は姓名が三十二畫になるからです。といふと、母マサ妹トヨと二人あつた。そこで近藤は(木火)であるから五行を考へて(五行三種以上)になるやうに、そして三十二畫にならぬやうに自分で選名して御覽なさいというてやつたら、喜んで歸り結局一家三名の改名をして、其の青年は事業順調になつたとて、近頃禮狀がまゐりました。左記は

本會理事 正名大學士 今井浩一郎の直話

●今井金七郎 8 20 28 三
○ツネ 8 7 15 三

東京市下谷區金杉下町八七、ツネは結婚後一年にして今年八歳になる長女を生んでからすぐに脊髄病にかかり病床につかぬ日とはなく即ち寢續けでアラユル醫藥と信心等を熱心にしたが全快とならなかつた。夫金七郎は七人兄弟(五男二女)の長兄であるが、

天地逆數必ず家庭運の破るる凶格であり、全黒の二十八畫は大凶であるから、改名して今井欽之輔 8 29 37 を使用させたら、五月の末に改名して八月から妻の病ひは快方に向ひ、秋の彼岸には遠方なる今井家の多摩墓地まで墓参が出来て大層に喜んで居ります。そして今では普通人とかはらぬ健康體となられましたと。

靈理學をアヤマリなく應用すれば、右様の事は誰にも出来る。

打てば響き 叩けば音がする

とやら、「字畫正見の大略」といふ所にあげた福島新氏が、齋藤恆中將を博洲と御改名申し上げたは、齋藤中將は荒木大將と同期生で、主として支那に在り、張作霖を爆死させて、世界の耳目を聳動したる大英傑であるが、當時の首相田中義一男の旨を受けて、中將止まりに退官して了はれた。元帥ともなるべき技倆を以てして中將止まりは凶名の致す所なりといふ福島氏の言を納れられたものである。

今井浩一郎の説話も亦同様に、今や靈理學の確實性が各所に知れて来て、曾て東郷元帥の砲術長であられた、小山田少將が今井にあはれて、今後孫共の命名はお願ひしませうとの御言葉であつた由。斯くして我が靈理學の段々と世に弘まるを、我等は衷心より喜ばしく感ずるものである。

三 正學の良書

我國戰國時代、英雄雲の如くに起り、劍客林の如くに立ちたるも、信長の雄圖、武藏の修練に及ぶもの無きが如く、尾崎學堂氏が『舉目天地小屈指英雄稀』といふも決してホラではないと等しく、すべてに曲多くして直の少なきが常なるも、殊に我等の姓名學界には前陳の如く、邪說妄論のみ多々續出して、正論の寥々として晨星の如くなる、實

に吾人の慨して慨し盡さざる所である。さりながら顯正門に入るべきもの皆無にあらず。我が會長幾多の著書及び

- ◎日本一正確の選名術 (大教正清水英範著)
- ◎果して改名も出来るか (著者同上)
- ◎戸籍面の改名も出来るか (著者同上)
- ◎實用姓名學 (姓名研究會發行)
- ◎趣味の姓名學(最も名前の付け方) (本會理事 徳田浩淳著)
- ◎姓名學への認識 (著者同上)
- ◎正しき開運の鍵 (本會副會長 小説 啓圓 共著)
- ◎姓名學開運の鍵 (聖名大學士 小林 覺道 共著)
- ◎男女の相性 (會員八名 八ヶ所より發行)

以上の書は、眞に國家福祉の見地に立脚したるものにして、殊に、開運の鍵は畫數吉凶の説明詳細をきはめ、斯界未曾有の良書である。左記

姓名學上の一大信念
 姓名學上の五大發見
 天來の救済主

と併せて精讀(心讀)せられなば、判斷にも、選名にも斯道大家となり得る事、堅く々々保證するもの也。

四 姓名學上の一大信念

數は天意也

靈理學派姓名研究會副會長審議員長 正名大學士 小 祝 啓 圓 講話

忘れもせぬ(昭和10.3.10)日露戦役三十週年記念日、大元帥陛下 靖國神社に御参拜あらせらる。この日第二日曜に當り、我が姓名研究會第二十七回(三九の乗積)例会日となりたるもイハユル數は天意也か。朝來の快晴に乘じて、編者も遙かに 陛下の御英姿を拜し奉り、後淺草觀世音に詣で、公園内、池ノ端消防署前なる氏の出張宣傳所に其の講話を聴く。氏は聽講者に曆を示して言はるるやう、御覽成され、國家の大祭祝日、十二ヶ日、何れも我が靈理學上の大吉數であることを、

四方拜	一月一日	元始祭	一月三日	新年宴會	一月五日
紀元節	二月十一日	春季皇靈祭	三月廿一日	神武天皇祭	四月三日
天長節	四月廿九日	秋季皇靈祭	九月廿四日	神嘗祭	十月十七日
明治節	十一月三日	新嘗祭	十一月廿三日	大正天皇祭	十二月廿五日

數意數靈といふものは全く天意に出づるものであるから、其の天意を畏こみて天運に順應し、御同様は良格の姓名を使用して、天授の幸運を體得し、イハユル『得手に帆を揚げる』の順調に活動すべきである。凶格姓名に心付かず凶運に苦しんで居るは、其の人は勿論、國家の爲にも成らぬ事であると。編者は先きに、將棋盤の三十八畫と、東郷平八郎の三十八畫と、其の戰爭地の三十八畫(日本海19畫は我と敵と兩

方より見て三十八畫)なる奇縁を感じてゐたので、茲に小祝氏の講話をきいて益々其の感興を深くしたり。

我等の學問はいつも陰陽調和に立脚して、其の研鑽を積んでゐるものであるに、此の日の(10.3.10)が23數で、陰陽23、調和23、結婚23、將棋23、此一戰23に好縁あり、此一戰の三文字は上が6下が16で全く同格であり、中央の一を争うて一を得れば陰陽調和となつて第一位に達するを、特に注意して見るべく、東郷元帥は此一戰といふ三字の爲に天意によつて生れてゐた人であるかと實に々々感慨無量である。

後に此の事を向理事(現審議員)に物語ると、氏曰く數は天意也 15 2 4 13 3 三十七畫、小祝啓圓 13 24 37 三十七畫で實に好縁あり。

數は天意也との信念は、姓名學者たるものは誰しも心に抱かぬ者はないが、其の實證を示して強調する所に力の發生を見る。小祝氏の力説唱道は實に我が靈理學派の爲に慶賀すべき事ですと。

向氏又曰く、姓名學者は誰でも責任選名をなし、運命改造を以て任せぬものはないが、現今の姓名學界に於て、眞に責任選名をなし、運命改造をなし得る者は、實に根本會長であるが、この三者が何れも同畫數であるも、小祝氏のイハユル數は天意也と我等は常に力強く感じ居るもので、責任選名と根本會長の姓名とは陰陽調和し、運命改造となつて、其の語自身が陰陽の調和するを見るべきであると。併せ記して、我等が姓名學上の一大信念とするものである。

責任選名 39 畫 根本圓通 39 畫 運命改造 39 畫

斯くいへばとて、他の人々が責任選名をせぬといふではなく、運命改造を爲し得ぬといふではない。たまく會長が同畫の好縁であるといふのみである。誤解なき様には向審議員談話の概要である。

五 姓名學上の五大發見

1 三十二畫大凶の理(將棋盤上の説明)

本會元理事 谷 本 匡 章

姓名學上の數理は九九八十一數に出來たものゆゑ、將棋盤と同様に圖の如くなるものである。先づ任意の一角より周圍を一巡するとき、最後の行き詰りは32である。

第二コースは33に發して56に終り、第三コースは57—72、第四コースは73—80であつて、81は中央に卓立してゐる。

出發點(1335773)は何れも陽(生の5畫)
決着點(32567280)は悉く陰(死の6畫)

であつて、運動競走的に解しても、第一コースは距離が一番に長いから疲労の大なるを思ふべく、コース一周終焉數、32567280の四つ(四は死也)の數理は終局、即ち終極、滅亡、死の暗示で、前記が陽に生れて陰に死するをも見るべく、一周したる〇即ち零の數性を兼有し、空虚暗黒の凶意義である。今32567280の凶數を、姓名學上最凶惡の4(即ち死)にて除するときは

25	26	27	28	29	30	31	32	1
24	51	52	53	54	55	56	33	2
23	50	69	70	71	72	57	34	3
22	49	68	79	80	73	58	35	4
21	48	67	78	81	74	59	36	5
20	47	66	77	76	75	60	37	6
19	46	65	64	63	62	61	38	7
18	45	44	43	42	41	40	39	8
17	16	15	14	13	12	11	10	9

$$\begin{array}{r} 8 \\ 4) 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 14 \\ 4) 56 \\ \underline{48} \\ 16 \\ \underline{16} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 18 \\ 4) 72 \\ \underline{48} \\ 32 \\ \underline{32} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 20 \\ 4) 80 \\ \underline{80} \\ 0 \end{array}$$

となり、即ち4にて0となる(死にて靈となる)事不思議也。

■人間が水死(10の零數)すると土左衛門といふ三十二畫の名前に改名されるも以上の理から出たものではなからうか?

(編者曰く) 谷本元理事は第四圖までを用ひて、論理的に有興味に説明され、如何なる人でも、三十二畫の大凶なるを認識すべき様に記されてあるが、こゝにはホンの大略を記したものである。

▲熊崎健翁氏は三十二を(三三二と記して)二陰三陽抱合の大吉祥數也と曲筆するが、二陰三陽では五の數にしかならぬを。人を馬鹿にする横暴の説話で、二陰三陽抱合の語は、二人の女と三人の男とが抱き合ふ風俗墮亂を喜び楽しむ様でもある。其の凶惡意義、實に實に忌むべきである。

「人生は戰場也」とは誰の言にや、眞理の一片がこの語の中にとせば、人間生活運命の事は宜しく將棋盤上に於て説明すべく、谷本元理事の説は、實に姓名學上の一大發見と稱すべく、詳しく知らうとする者は谷本氏(住所巻末にあり)に申込んで印刷物を送らるゝか、又は一圓五十錢(送料十五錢)を奮發して「姓名の支配力」を見られたきものである。此の書は四六判五二〇頁紙クロス金文字入の美本で昭和十五年一月迄に我國に出た姓名學書では一番にくはしく、材料豊富の割合に一番に安價なるものであるを保證す。

(編者附言) 將棋盤上に駒の並べ方上手なるものは、決して王のつむ事は無いが、駒の配列下手なるものは、始終敵より苦しめられ、遂には王もつむ事になる。この理は姓名學上の名前の吉凶即ち運命の善し惡しに、よく當てはまる。再考熟慮すべき重大事ではある。

2 二十七畫は吉數也

本會理事 正名園熊本支部長 正名學士 竹 島 資 陽

(編者曰く)我等の會員は何れも至誠熱心の研究を續けて居るものであり、竹島が年鑑より順次に調べた一千名中27畫四十餘名の實際を記して『二十七畫は吉數にあらずや』との出題―提議―は(昭和11.4.12)の例會であつた。

27數は3倍すれば81(斯學の全能)となれば27は凶數でない事、首肯する、次第で、會員多數の研究によつて遂に標題の確定となしたるものなれども、提議年月日の27數である事、實に不思議といふべく、これも天意であらうと信ぜられる。

3 姓名學 三大約則

審議員 心理學士 向 徹 也

一 意。 26 一番に大切なる姓名の靈(精神)である。平易にいへば其の姓名を見たときの文字の感じ、聞きたるとき音聲のひびきである。

二 畫。 27 斯學の最も重んずる天地、陰陽、字畫といふも、結局は畫數其の物に外ならず。三大約則の中央にあるだけ範圍最も廣し。

三 音。 28 音韻の事、他の運命學では深く論ぜられず、また従来の姓名學書にも、さほどに重くは見られぬ事、その記述無きに依つてわかる事なるが、我が靈理學に於て、最も重きをおく五行の所屬といふは全く音韻其の物である。(熊崎式では少しもかまはぬといふけれどもそれは短見也)

昔の陰陽博士安倍晴明が名のセイメイの音韻は、生命の大切なるが如くに姓名は重んずべしとセイメイといふ、人の運命を指示してやるには暗れて明らかなる精神でなくてはならぬとて、其の音韻と意義との兩方面を重んじたものであると聞く。

弘法大師が命名に就て『聲字分明而現實相』と仰せられたる大識見は實に我等の宗とすべき所である。

(編者曰く)此の記述は簡單なれども、實に姓名學の全體を包括されてゐる。我等が前に 26 27 28 81 見られよ三數の合計は斯學の全能 81 畫となる事を、この三數(26 27 28)は決して凶にあらずといふたは、竹島理事の提議に基づく向審議員の卓見を稱したるものにして、顧みれば、此の三大原則と、夫婦名と、三代名相關とを合せて、五大原則としても宜しきものである。

4 五行三一にも吉運あり

故正名閣横濱支部長 正名學士 小 野 貴 愛

五行三一とは、姓名四字にして、同性三字と異性一字の構成をいふ。會長が是迄の著書には全部大凶としてあつたが、小野學士の熱心なる研究によつて ▲名前同性大凶 ◎名前異性吉運 を各々百餘名づゝ寄せられたるは『論より證據』の明證であり、斯學上實に大なる功績である。約三百名中から實例として五名づゝを

◎五行三一の名前異性吉運

- 上杉鷹山 10 27 37 (金金土金) 昔の米澤藩主、節儉興家 上杉憲章 10 27 37 (金金木金) 舊米澤藩主、從三位伯爵
- 細川興増 14 31 45 (金金木金) 男爵八十九歳、熊本市 小倉常吉 13 17 30 (金金金木) 東京 一千万富豪
- 新井章道 17 24 41 (金金金火) 神理教權大教正(京都)

▲五行三一の名前同性凶運

- 豊臣秀次 24 13 37 (水金金金) 二十八歳自殺 本多忠朝 11 20 31 (水火火火) 三十四歳戰死
- 須貝昇司 19 13 32 (金水金金) 二十八歳樵死 木村純三 11 13 24 (水金金金) 水泳溺死
- 平井照子 9 16 25 (水金金金) 五歳空死、淺草雷門易者の娘

他は略すが、名前の異性吉運も、姓名の五行はたしかに二種なるを以て大吉とはせず、半吉とすべし。但し半吉は

他の條件良格ならば大吉となるものである。

5 鑑別法五則の起原に就て

(昭和14.10.5) 審議員 正名園崎玉支部長 正名大學士 佐藤 艸 觀

禮記の禮運篇に『人者天地之徳 陰陽之交 鬼神之會 五行之秀氣也』とあり。今日までの著書(各派のものを含む)には何故に鑑定上、天地陰陽五行姓名の意義畫數等に別けて是を行ふや、其の旨を明らかにしたるもの無かりしも、右の記述にて積年の疑ひ氷解せり。鬼神の會とは鬼神が即ち善惡の精神となり、姓名は人格なるが故に、其の意義を鑑して、人物及精神の如何を察する蓋し至當の事なるべし。

宜なる哉、易經にも『與鬼神合其吉凶』とあり。是を要するに人は精神が第一なるも、天地の聖徳を享受し、陰陽の調和を得、五行の配有宜しく、且つ數畫の威力全くこそ、志望の達成、目的の貫徹も爲し得るものにして、自己の力即ち人間力のみを以て、一小事と雖も成し遂げ得るものにあらざることを、深く々々覺るべきなり。而して身心健全にして神佛を尊信し、事業に精勵し、上下禮節を守り、信義を厚くし、忠孝の大道を全くするは是れ人としての本分と言ふべく、生存の意義始めて價値づくもの也と信す。

尙ほ某派の天地乾坤五氣と稱するの誤謬も、右記述によりて一目瞭然なり。

編者曰く、從來我等の精讀せる百七十餘種の姓名學書、我等及び我が靈理學派の人々の著書までには、殆んど二百種ともいふべき多數に、何れも右の記述は無いのである。しかるを佐藤審議員の篤學なる、能く斯學の名稱の起原を發見せられたる事、我等が 皇紀二千六百年の記念事業としての、本著發表に先だたれたるは、實に々々欣快の至りである。希くば會員諸氏、今後ますます靈理學の研鑽に精進せられんことを。

禮記發行の年代(附)五行說に就て

禮記といふ書物の發行はいつ頃でせうかと問ふ者がある。

『辭苑』二二二八頁に、『禮記』は五經の一にして、周末から秦漢時代の諸儒者の古禮に關する説を集めたる書。初め漢の武帝の時河間の獻王が、古典採輯二百十四篇に述したるを、戴徳が削つて八十五篇とし、宣帝の時其の甥戴聖が更に削つて四十九篇となる。前者を大戴禮、後者を小戴禮といふ。大學中庸典禮内則王制月令禮運樂記緇衣等の四十九項より成るとあり。

(因みに) 五經とは易經詩經書春秋禮記で儒學尊重の五つの經書である。

國史大辭典年表によれば、我が神武天皇紀元元年は周の惠王の十七年に當る。

劇の太閤記十段目に『周の武王は殷の紂王を伐ち』とある。惠王は武王より十七代目なるが故に、殷周の世は我國の神代に當つて大層に古い事である。

周末の支那は群雄割據の戰國で、互に覇を争つてゐた。聖人孔子は此の時代(神皇正統記によれば我國では第二代綏靖天皇の三十一年、周の二十三代靈王の二十一年)に生れ、七十三歳の壽を保たれたが、生前、魯衛齊曹宋鄭陳蔡楚等の國々に往つて其の志を達し得なかつた。

第七代孝靈天皇の四十二年(紀元四一二年)に周は八百六十七年、三十七代赧王の時に亡び、

秦の始皇帝の世となりて三十七年、二世皇帝三年、合せて四十年にして、第八代孝元天皇の八年に秦は亡び、

同九年(紀元四五五年)に漢が起つた。漢の武帝は第九代開化天皇の十八年(紀元五二二年)、宣帝は第十代崇神天皇の二十五年(同五八八年)に當る。